

目 次

巻 頭 言

1. 巻 頭 言	小玉 正智	1
2. 巻 頭 言	谷 徹	2
3. 巻頭言 2017	浅井 徹	3
4. Trust is built brick by brick	谷 眞至	4
5. 良き先輩、良き外科医に恵まれて	花澤 一芳	5
6. 巻 頭 言	平野 正満	7
7. 巻 頭 言	来見 良誠	8
8. 巻 頭 言	遠藤 善裕	9
9. 外科医が絶滅危惧種になる? 鍵を握るのはICTとAI!	井上 修平	10
10. 巻 頭 言	白石昭一郎	11

2016年度 同門会各賞受賞コメント

1. 同門会賞受賞	山口 智弘	13
2. 理事長賞受賞	大塩 恭彦	14
3. 奨励賞受賞	木下 武	15
4. 若手医師奨励賞受賞	児玉 泰一	16
5. 若手医師奨励賞受賞	賀来 良輔	17

同門会便り

1. 愛知県がんセンター中央病院	安 炳九	19
2. がん研究会有明病院	大竹 玲子	20
3. 湖東記念病院	高島 範之	21
4. 武田総合病院	鈴村 雄治	22
5. 地域医療機能推進機構 滋賀病院	内藤 弘之	23
6. 東近江総合医療センター	赤堀 浩也	24
7. 日野記念病院	仲 成幸	25
8. ベルランド総合病院	土橋 洋史	26
9. University Heart Center Hamburg	内藤 志歩	27

新入会員紹介

消化器・乳腺・一般外科	森 治樹、寺田 好孝	28
心臓血管外科	寺田 真也、鉢呂 康平	28

教室業績

滋賀医科大学外科学講座 (消化器・乳腺・一般外科)	29
滋賀医科大学外科学講座 (心臓血管外科)	49
滋賀医科大学外科学講座 (呼吸器外科)	58
滋賀医科大学総合外科学講座	61
滋賀医科大学臨床看護学講座	65

関連病院業績

1. 赤穂市民病院 外科	67
2. 宇治徳洲会病院 外科	67
3. 大津赤十字病院 呼吸器外科	68
4. 近江草津徳洲会病院 心臓血管外科	69
5. 近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科	70
6. 音羽病院 呼吸器外科	70
7. 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科	71
8. 岸和田徳洲会病院 腹膜播種外科	73
9. きづきクリニック	73
10. 岐阜赤十字病院 麻酔科	74
11. 京都医療センター 呼吸器外科	74
12. 京都第一赤十字病院 乳腺外科	75
13. 京都市民医連中央病院 消化器外科	75
14. 甲賀病院 呼吸器外科	76
15. 古賀病院 21	77
16. 草津総合病院 一般外科・消化器外科	77
17. 草津総合病院 呼吸器外科	80
18. 滋賀県立成人病センター 呼吸器内科	81
19. 静岡県立静岡がんセンター 大腸外科	84
20. 高井病院 乳腺外科	86
21. 武田総合病院 呼吸器外科	87
22. 帝京大学医学部附属溝口病院 外科	87
23. 暁生会脳神経外科病院 外科	89
24. 第一東和会病院 内視鏡外科	90
25. 豊郷病院 外科	91
26. 長浜市立湖北病院	91
27. 長浜赤十字病院	91
28. のじまバスキュラーアクセスクリニック	95
29. はえうち診療所	96
30. 東近江総合医療センター 外科	97
31. 東近江総合医療センター 呼吸器外科	100
32. 日野記念病院 外科	103
33. ベルランド総合病院 外科	104
34. ベルランド総合病院 乳腺外科	104
35. 南京都病院 呼吸器外科	105
36. 野洲病院	106

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

1. 役員一覧	107
2. 定款	108
3. 賛助会員一覧	111
4. 広告掲載ご協力	112

卷 頭 言

- | | | | |
|------------------------|-----|-----|-------|
| 1. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事長 | 小 玉 | 正 智 |
| 2. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 谷 | 徹 |
| 3. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 浅 井 | 徹 |
| 4. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 谷 | 眞 至 |
| 5. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 花 澤 | 一 芳 |
| 6. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 平 野 | 正 満 |
| 7. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 来 見 | 良 誠 |
| 8. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 遠 藤 | 善 裕 |
| 9. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 井 上 | 修 平 |
| 10. 一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 | 理事 | 白 石 | 昭 一 郎 |

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

理事長 小玉 正智

会員の皆様におかれましてはご清栄のことお慶び申し上げます。

当外科同門会は、両外科教室の同門会が合同して発足して14年、さらに一般社団法人になり5年目を迎えており、次第に充実してきております。

今回は、変わりつつある医学教育について私見を述べたいと思います。

近年、全国の医学部は、米国から2010年10月1日に発せられたECFMGの受験資格が、「2023年以降には国際基準による医学教育の分野別評価受審し、認可された医学部の卒業生に限定する。」の条件に対応することが緊急の課題となり、滋賀医科大学では精力的に検討され、関連病院を含めた新しいプログラムが準備されてきています。2015年12月に一般社団法人日本医学教育評価機構が設立され、全国80の医学部・医科大学が分野別評価の受審をうける計画がすすんでいます。したがって、今後日本の医学部の卒前教育が、一応世界的な基準に適合したものになると思われます。

一方、卒後教育では専門医制度が平成30年4月より開始が予定されています。外科では日本外科学会が、外科専門医資格を、学会に5年以上の所属と認定施設での350手術症例数以上（うち120例は術者として）、さらに試験選抜することを提案しています。手術は消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科等の全般的症例が含まれており、いずれかの領域の症例数が不足の場合は大学附属病院か、大きな病院での研修が必須となります。従って大学の外科教室では、関連病院と地域の病院を含めた短期間の研修希望医の受け入れなどを考慮した卒後研修システムを計画することが必要となります。現在、このように卒前・卒後教育が、大きな変換期を迎えており、この機会に卒前の外科教育と外科医の育成について再構築する良い機会と思われれます。

近年、全国的に外科医への希望者が減少しており、外科医は、手術適応、手術、術後管理、予後管理と他科に比較して、労働時間も多く、今後は外科専門医のインセンティブ、女性外科医への対策、手術後管理の業務内容の改善等が必須と考えられます。当外科同門会が卒前・卒後教育にどのように貢献できるか考えていますので、会員の皆様から良い提案を頂きたいと思えます。

◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 バイオメディカル・イノベーションセンター

特任教授 谷 徹



今年は、真夏日が多い五月となっている中、臨床研究棟の改築が現実化してきた。もうすでに一部の医局が引っ越しし、工事の空間が設けられている。この工事は数年かかると言われており、この間順々に各科が引っ越し、改修し、元に戻ることを繰り返されていく計画と聞く。この間代替えの研究場所や居場所を確保することが極めて難しいらしいし、改修後も部屋の広さは広がることはない。

一方、国立大学が独立行政法人となつてすでに十数年、大学法人格を有して口座開設が可能となった。つまりやりたい事があれば、競争的資金や寄付を得て、自前で財源を確保し、自前の計画を立て執行する自由および権限を与えられたことになっている。一方で、年率1%の交付金削減は積算すると10数%におよび大学の財源を圧迫していると聞く。独自の活動をするためにも大学を活性化するためにも人材と場所が必要となるが、新潟大学や、北大では任期切れ教官の新たな補充をしないことで、マスコミで話題となった。

本学では人材はともかく場所がないと言われている。ということは物理的に大きくなれないことを自ら宣言していることになり、医科大学の発展のためにも建物と場所の確保が喫緊の課題と言える。これに対して大学が打つ手がないとなれば、各人が学外から資金を集めてくるか、卒業生の同窓会や各科の同門会等の活躍が期待されるところである。

我々の滋賀医科大学外科同門会は統合されて久しく、また一昨年からは法人格を持つことになった。昨年も述べたように卒業生の同門会と外科同門会が本学発展のために互いに手を携え、強力な運動として行く段階に入るべきではないかを感じる。そのためにも我々の同門会が外科のみならず大学の育成も含めた大きな将来ビジョンを構築し、提案・実行できる組織に育ってほしいし、またそうなりつつあると信じている。また来年の新年会では、懐かしい顔と、多くの話題の交換で、楽しく皆さんとお目にかかると同時に、この様なテーマについても議論されることを期待したいと思っております。

◆ 巻頭言 2017



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座(心臓血管外科・呼吸器外科)

教授 浅井 徹

2017年ゴールデンウィークに渡米して、ニューヨークで僧帽弁手術の世界的エキスパートが集まる Mitral Conclave に faculty として出席し2つ講演をし、ボストンでは100周年の AATS 米国胸部外科学会で名門クリーブランドクリニックの演題に対する指定質問者として討論を展開した。滋賀医大で展開してきた新たな心臓血管外科手術に対する蓄積をようやく世界にアピールし、認識される所まで来た感がある。こう述べると、独りよがりの自慢話に聞こえるかもしれないが決してそうではない。

1993年サンディエゴの学会で当時 NYU レジデントであった自分は心筋保護法の動物実験データで Award Finalist として発表した。繰り返し練習した英語の発表は座長から褒められたものの、質問者の厳しい突っ込みに文字通り手も足も出ず沈黙し一言も答えられなかった。このことに私はひどく落胆したが、それ以来この「サンディエゴの屈辱」をはらすためあらゆる機会をうかがい努力した。まずは欧米人と debate しても負けない徹底的なロジックの訓練。そして何よりもどこにも負けない高い水準の心臓血管外科臨床の創造。1990年代半ばに登場したオフポンプバイパスを全国どこよりも早く標準術式に導入しただけでなく、滋賀医大に来た翌年の2003年に動脈グラフトのみのオフポンプバイパスの成績を引っさげサンフランシスコで行われた ISMICS で演題発表した。「サンディエゴの屈辱」10年目であった。これはかなりの反響があり Award を獲得しただけでなく多くの友人をも得た。さらにその8年後の2011年宿命の地サンディエゴで行われた STS で今度は滋賀医大で開発考案した僧帽弁形成バタフライ法を発表した。この新術式も初めは海外一流専門誌からたった一人の査読者の2行のコメントでリジェクトされかなり落胆したが、諦めずデータを解析して説得力あるメッセージを発信できた。我々にはさらに、心室中隔穿孔閉鎖の新術式、革新的な大動脈弓部置換術式など、滋賀医大発の世界に発信したい進んだ臨床がまだまだある。

外科医を目指して30年、滋賀医大に来て15年、実は平坦でない挫折そうなき良い人に出会い、仲間に助けられ運良くここまで来た感がある。同門会員特に若い外科医に伝えたいことは、落胆やプレッシャーと向き合う力を持ってほしいことだ。ストレス下における正しい判断 decision と行動 action は実力ある外科医の証である。運も実力の内というが、運を呼び込む人間には、粘り強さ persistence、集中力 concentration、そして謙虚さ humility が不可欠だ。外科学講座の一人一人が、同門会員の皆さんが臨床、研究、そして社会において真の成功者となることを心から祈ってやまない。

◆ Trust is built brick by brick.

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 外科学講座(消化器・乳腺・一般外科)

教授 谷 眞 至



滋賀医科大学外科同門会の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は消化器・乳腺・一般外科の診療・研究・教育に多大なるご理解とご協力を頂戴し誠に有難うございます。

先日、第117回日本外科学会定期学術集会在横浜市で開催されました。GW前の4月27日から29日であったことから、同門の先生の中で参加された先生方もたくさんいらっしゃったことと思います。今回の定期学術集会の会頭は群馬大学大学院の桑野博行教授でしたが、群馬大学の過去の1件のこともあり、開催に関しては昨年の社員総会でも厳しい意見があったことも事実です。しかし、過去の問題点を見出し、必死に改善してこられた姿勢は学ぶことが多く、ある意味画一化しつつある学会の中で歴史に残る定期学術集会ともいえるように思います。

今回の定期学術集会のテーマは「医療安全 そして 考える外科学」でした。しっかり足元を見つめ真摯に考えることが大事であることを教えてくれたような気がします。この精神は医療安全だけでなくすべてのことに共通しています。会頭講演をきかれた方もいらっしゃると思いますが、アメリカ外科学会が掲げている American College of Surgeons Code of Professional Conduct に関する講演がありました。これは8か条から構成されていますが、最後の8番目には Trust is built brick by brick. という文章が書かれています。わたしたち教室員は同門会会員の先生方を含む多くの先生方が、Brick：煉瓦を積み上げるようにして築きあげられてきた信頼の上に立って、日々の診療・研究・教育をしているということを忘れてはならないということです。たった一人の心もとない者の不注意で折角の築き上げたものが、音を立てて崩れ落ちるということを本学会から再認識するとともに、教室員が心一つとして未来へ向かって進んでいけるよう精進したいと思います。

◆ 良き先輩、良き外科医に恵まれて



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
医療法人社団昂会 日野記念病院
院長 花澤 一芳

日野記念病院に院長として就任してから10年目の節目となります。本年4月より仲成幸先生が院長代行として就任され、消化器外科に一層活気がでて参りました。

本年3月にふとした事（麻酔科医に相談事有りて）で手術場に立ち寄ると、執刀医 児玉先生が東田先生の第1助手の下に鼠径ヘルニア手術（腹腔鏡下：TAPP方）の真最中でした。執刀医の冷静沈着な剥離把持鉗子操作と東田先生の泰然自若の指導に、チームワークの重要性を再認識したのであります。誠に清々しい光景でした。その場では一言も発する事が出来ませんでした。むしろ程よい緊張感がそうさせたのでしょう。

標準的で適切な治療を患者に提供できる医師像と教育指導、即ちこれから始まる新しい専門医制度の仕組みを地域の病院で垣間見た瞬間でした。後日、児玉先生が助手となり能登川病院の油木先生の執刀を垂直指導し、ヘルニア手術を完璧に終えたと聞いて更に興奮致しました。おそらく東田先生が外回りで後方支援していたものと思われます。岡藤太郎、柴田純祐両前院長、前副院長内藤先生方の築き上げた、日野の消化器外科における伝統の踏襲でもありましょう。

正にこの事は、私が北里大学附属病院でのチーフレジデント制で経験した再現的一幕でありました。現在とは違って、迷うことなく卒後直ぐに外科に入局致しました。同期生が同時に3か月経って小児ヘルニア手術を執刀します。卒後3年目のシニアレジデントの指導下、初の執刀（ルールは1時間以内で最期まで完遂、症例を重ねると15-20分）でありました。同時に3列でスタートして1日6例、週18-20例を10人の同期生が約1年間、小児、成人ヘルニアを70-90例近く各人が経験します。入局後6ヶ月目に、体表手術、虫垂手術を70-80例、ヘモ等30例を残りの6ヶ月で経験します。2年目に甲状腺、乳腺、下趾静脈瘤手術約80例、胆石、総胆管結石、胃切除（良性）、大腸（良性）100例、3年-4年目大腸（悪性を含む）、胃全摘、甲状腺悪性、抹消血管手術を講師、助教授の指導の下に80-120例、4年目、5年目の6-9ヶ月の間隔をあけて放射線科（胃透視、注腸、腹部血管造影、PTCD）、内視鏡（胃、大腸、ERCP）を単独で施行できるまで指導頂きました。麻酔科ローテーションは主に卒後3年目に6ヶ月間で全麻400-500例経験し、5年目には指導者に恵まれると腹部大動脈瘤手術、肝臓、脾臓、食道手術を経験させて貰えたものです。直腸手術がチーフレジデントの謂わば卒業試験となります。他科ローテーション中は勝手に当直室で泊まり、救急患者を見ると、力量に応じて順番に多数の手術をさせて貰えました。

チーフレジデントはサブチーフ（卒後4年目）を3人従え、以下ジュニアレジデント約15名で編成し2病棟の内1病棟を担います。当時、正に5年間の屋根瓦教育の雛型であったのでしょうか。チーフレジデントは2病棟の一つを任され手術予定、術者を独自に決定する立場になります。

講師、助教授も、勿論2チーム（2病棟）に完全に分かれます。教授はA病棟を木曜日に、B病棟を金曜日に回診され、各病棟約60名の報告をチーフレジデントが約45分間でフローチャートを用いて説明の後、ベッドサイドへ向かいます。ポリクリの学生を含む総勢約40人の病棟回診で有りました。レジデントは回診終了後外来、手術場に一齐に向かいます。因みに外来は卒後3年目から単独で担当し、手術入約はチーフレジデント2人が均等に2病棟に振り分け、術前ICはスタッフの見守るなかレジデントが行います。2年目以下のプログラムの手術のICは、チーフレジデントが立ち会います。採血、ルート確保は1年目の仕事で、朝5時からレジデントのノルマです。CVPライン確保も1年目のノルマ。合併症の胸腔ドレーン挿入も責任行為でありました。チーム医療なので主治医は、当直帯は一切呼び出されません。チーフレジデントは月曜から土曜の連日、手術場と病棟を往復し、不眠不休にて6ヶ月交代で勤めます。残りの6ヶ月は休養を兼ねて前述の放射線科、内視鏡をローテーションします。同期のチーフレジデントの邪魔にならないようにとの工夫されたシステムでありました。

当時吻合の糸もカットグット（腸腺）の時代でした。吻号途中で切れやすく、第一助手の講師、助教授（九州大学、慶応大学、東大、名大）の先生によく叱っていただきました。その後反省会兼ねて1-2時間の術後管理に付き合っていたいただいた昭和の外科医の良き時代でした。年に1泊2日のバスの貸し切り旅行。酔っぱらって教授の頭をひっぱたいても、翌日島送りとはならない良き徒弟制度でありました。因みに当人はその後東大救急部教授（彦根東高校出身）となられ、違う意味でのご褒美となりました。

時は移り変わっても、脈々と上下関係は良き伝統の下に引き継がれているのです。症例数に恵まれた昔と違って、症例数の限られた地域医療の最前線の関連病院としてその責任を重く受け止めています。若い先生方の働き甲斐のある病院としてどのように生き残るかが近々の最重要課題であります。仲、東田、籾（湖東記念）、児玉、油木（能登川）先生の総合力に期待しています。

◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
社会医療法人誠光会 草津総合病院

院長 平野 正満

同門会の先生方には日々の診療や研究で大変お忙しい日々をお過ごしのこととご推察申し上げます。新専門医制度もようやく動き始めましたが、専攻医の位置付けや学会と専門医機構の関係も不明瞭で、今後の動向に注視していかなければならないと思います。

さて、最近、われわれ医療者が無視できないデータが厚労省から発表されました。皆さんも新聞やテレビ報道でご存知かもしれませんが、国立社会保障・人口問題研究所が2065年の予想される日本の人口を公表しています。現在の日本の人口は1億2709万人ですが、2053年に1億人を切り、2065年にはなんと8808万人まで激減するとのデータです。この減少のペースは毎年、徳島県や福井県が消滅していくことを意味しています。人口の減少の一方で平均寿命の延伸は着実に進み、2065年には男性が85歳、女性は91歳を超え、少子化とともに超高齢社会が定着します。日本老年医学会が高齢者の定義を65歳から75歳に引き上げるよう提言していることも納得できます。

このような社会背景や人口動態の変化の中で、われわれ外科医もこの状況に無関心ではられません。最近の学会でも高齢者に対する至適治療はなにかについて取り上げることも多くなってきました。(特集;高齢者における外科治療の低侵襲化と至適管理:日本外科学会誌117;165-221,2016)外科医は観血的治療、すなわち手術で患者を救うことを生業としています。病に侵され先が見えない患者を自分のスキルで苦しみから解放することが外科医の仕事です。当然患者は高齢化していきますから、手術となると様々なリスクとの戦いとなり、一歩間違えばリスクのために逆に患者を苦しませることもなりかねません。残念ながら死に至る状況も覚悟しなければなりません。最近の手術症例に対する全国登録(NCD)の報告では、胃がん手術において年齢が手術関連死に関与する有意な因子であることが明らかとなっています。患者や家族のために努力したことが結果に結びつかない事例が存在するのです。私たち外科医には権威主義に凝り固まった医師主導のパターナリズムの治療から、時代背景や世代の変化、医学の進歩に対応しながら、患者に最適な治療は何なのかを提示でき柔軟な治療を選択できる総合力が求められています。そのためにも外科医は日々の自己研鑽とともに、医療の原点である患者に寄り添う姿勢を見直すことも重要と思われます。私も高齢の父が病院でお世話になっていますが、人間の一生の“生老病死”のうち、“病とは”“死とは”の意味を医師の立場から強く意識するようになりました。

患者とともに外科医も確実に高齢化が進みます。外科医をどこまで続けるかは悩ましい問題かと思いますが、最近の内視鏡手術の普及は外科医の寿命を確実に伸ばしているともいえます。我々外科医の定年延長が社会貢献に繋がればいいのですが、気が付けば、高齢者の患者をほぼ同じ高齢の外科医がメスを振っている、そんな時代が訪れるかもしれません。さて、皆さんが患者になったら、どのような外科医に手術をお願いしますか。

◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学同門会 理事
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院

院長 来見 良誠



平成 28 年 4 月より、当院は滋賀医科大学の地域医療教育研究活動拠点として 4 学年の学内型臨床実習を担当することになり、現在 2 年目になりました。毎日 5 名の学生が午前 8 時過ぎに、当院の実習生の控室に集合し、8 時 20 分から開始される総合診療カンファレンスに参加した後、そのうちの 1 名が外科にローテーションしてきます。地域医療教育研究拠点から指導医 2 名（乳腺外科：梅田朋子准教授、消化器一般外科：内藤弘之准教授）が当院に出向し、診療しながら学生の臨床実習の指導を担当してもらっています。また、学生時代から外科に慣れ親しむ環境が必要と考え、内視鏡手術トレーニングラボを開設し、手術以外の時間帯で、指導医の管理の下ではありますが、自由に利用してもらっています。臨床実習を開始してこの 1 年間で感じたことは、以前にも増して外科系志望が減少していることです。学生自身の高齢化も一因となっていますが、さらに修業年限の長さを気にしている学生もいるようです。

病院内を大局的に見ると、これまで Major 診療科といわれていた診療科が総 Minor 化したように見えてきます。外科同門会は、大講座としての優位性を発揮するためには、4 つの診療科がそれぞれ「消化器外科」「乳腺一般外科」「心臓血管外科」「呼吸器外科」として各領域の専門性を追及するとともに、お互いに共通部分を見つけ出して更に連携する仕組みも必要かと思えます。企画（教育・学術）担当の学内委員と連携しながら、学生実習に強力的に関与できる施設（JCHO 滋賀病院・NHO 東近江総合医療センター）の一つとして、いい提案ができるようにしたいと思っています。

JCHO 滋賀病院に異動して 2 年が経過しました。2025 年問題やこれからの地域医療構想など問題点が多い中、新専門医制度の導入や留まることのない技術革新による医療制度の変化に適切に対応しながら、外科医の増加に貢献したいと思っています。



◆ 巻 頭 言

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
滋賀医科大学 臨床看護学講座

教授 **遠藤 善裕**



この度、第12回国際アフエシス学会（International Society for Apheresis, ISFA）と第40回日本アフエシス学会（Japanese Society for Apheresis, JSFA）の合同大会の大会長を仰せつかりました。2019年10月17日～20日、京都国際会議場で開催を予定しています。

1996年、同じく京都国際会議場で第1回のISFAが開催され、同時にISFAが産声をあげました。ISFAは、小玉正智名誉教授、谷徹名誉教授が主体となって設立から、事務局運営までを滋賀医大外科で担当し、私も事務局運営に携わってまいりました。現在は、世界43ヶ国から約600名の会員を有するまでに成長しております。この度、コペンハーゲンで開催されたISFA2017において、ISFAの理事長を拝命しました。

Apheresisとは、血中から有害物質を除去することを意味しており、血液透析以外の血漿交換や血液吸着、二重膜濾過血漿交換などの体外循環を用いた治療法が含まれます。また最近では、救急集中医学講座 江口 豊教授を中心に発展してきた、PDF療法も含まれます。旧第一外科が中心となり保険収載された術後肝不全に対する血漿交換療法は現在も臨床で行われていますし、谷徹名誉教授や花澤一芳元准教授が中心となり開発されたポリミキシンB固定化繊維（エンドトキシン吸着療法）は、東レよりトレミキシンとして上市され、現在日本を含め世界のクリティカルな現場で使用されています。

臨床の患者を救うべく、本学外科において研究開発されてきた、これらの成果が評価され、ISFA・JSFA2019合同大会の大会長となることは、誠に名誉なことであります。

しかしながら、現在、学会開催に関わる社会情勢は、一段と厳しさが増しています。

外科同門の皆様におかれましても、暖かいご支援を賜りますよう、お願いいたします。

◆ 外科医が絶滅危惧種になる？ 鍵を握るのは ICT と AI ！

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

院長 井上 修平



今年発表された第 111 回医師国家試験の合格者は 88.7% とこの 10 年間で最低な結果となりました。滋賀医大の内訳は新卒者が 119 人中 102 人合格 (85.7%)、既卒者が 9 人中 7 人合格 (77.8%) であり合わせての合格率は 85.2% であり全国平均を下回り国立大学でも最低の成績となりました。滋賀医大では今春の研修医の採用がフルマッチの快挙でしたが、実際は採用者の減少となってしまいました。

一方、2004 年 4 月にスタートした臨床研修制度はプライマリケアを中心とした幅広い診療能力の習得を目的とし、2 年間の臨床研修の義務化となりました。その後、小児科や産婦人科の医師不足が社会問題化し待遇改善等の施策が行われ徐々に増加傾向に転じましたが、外科医は減少傾向が顕在化しなかったため対応が遅れ、実際には 2010 年に外科後期研修に入った医師数を 100 とすると 2014 年には全国平均 73 まで落ち込んでしまいました。この傾向は滋賀医大でも著明であり、このままでは外科医が絶滅危惧種になり、外科医が担っている救急医療の現場にも大きな影響を与えると思います。以前の初期研修制度の見直しで外科が必修科目から選択必修科目に変更されたことも大きな影響を与えていて、次回の見直しでは再度、外科と精神科を必修化するようにと四病協が要望書を出しましたが間に合うでしょうか？このままでは外科医は高齢化しても引退できずにボケない限り頑張らないといけません。そこで鍵を握るのが情報通信技術 (ICT) や人工知能 (AI) の技術革命の進化ではないでしょうか？外科医がどこにしようがバーチャルゲーム対戦のようにダヴィンチのような器械を操作して得意な手術をこなしていく時代になるのでしょうか？一方、AI の技術革新は診断や治療法の決定にも貢献することは間違いなく、総合内科医の役割は AI に取って代わるかもしれません。

日本の少子高齢化傾向には歯止めがかからず、今の中学生の半分は 100 歳以上まで寿命があり、50 年後には男性の平均寿命は 84.95 歳、女性は 91.35 歳まで伸びますが、人口は 8800 万人まで減少するという試算が発表されました。このかつて経験したことがない人口減および高齢化社会に過酷な労働条件ではあるものの医師としての使命感と倫理観で立ち向かっている我々は耐えられるでしょうか？次世代の外科を担う若者が我々の技術を継承しなければ外科医不足から医療崩壊が起こることを危惧しています。



◆ 巻 頭 言



一般社団法人滋賀医科大学外科同門会 理事
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 心臓血管外科

部長 白石昭一郎

同門会の先生方におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年、理事に就任させていただき一年が経過致しました。私が、昭和60年に滋賀医科大学を卒業し、心臓血管外科になった頃、手術を行う患者は多くが60～70歳台で80歳以上の開心術はほとんど無く、90歳以上の手術はありませんでした。医師となり30年を経過した今日、開心術患者の平均年齢は80歳で、90歳以上の患者も稀なことではなくなりました。

医学の進歩とともに、日本人の平均寿命は著しく伸びています。それとともに私たちが加療する患者の年齢は高くなり、それに伴う手術のリスクも高くならざるを得ません。

「2025年問題」が取りざたされています。私が、医師になってちょうど40年目にあたります。「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）に達する事により、介護・医療費等社会保障費の急増が懸念される問題です。2025年には高齢者人口は、約3,500万人（人口の約30%）に達すると予測されています。低い出生率と高齢化が進行して厳しい社会保障費負担社会の到来が予想されます。

介護や福祉分野の需要はますます増え医療費などの社会保障費が急膨張するなか、医療・介護のサービス体制の抜本的な見直しが行われます。医療・介護サービスの強化、医療・介護サービスの需要と供給、医療提供体制の機能強化に向けた取組みや診療報酬の改定、医療保険制度の強化、高額療養費の見直し、介護職員の処遇改善、介護納付金、高齢者保険料の低所得者対策、介護給付金・介護報酬の改定などが想定されます。

3年後の2020年には「東京オリンピック・パラリンピック」が開催され、2025年問題と同様に世界が注目しています。今から3年後、8年後を見据えると世代交代の時期がやってきます。人材の確保や次代を担う人たちへの啓発なども必要不可欠です。

今後の日本は海外医療手法の応用、企業参加による医療・福祉サービスの競争、国民の負担増、出生率の低下など課題が山積みですが世界で超高齢化社会の対策国として先駆者的な存在となるべきであると考えます。滋賀医科大学外科学同門会も、益々発展し、外科学の発展や会員各位の外科医としての向上を図り先駆者の育成に寄与する存在であればと考えます。滋賀医科大学外科学同門会理事としてその一端を担うことができればと微力ながら尽力する覚悟でございます。

2016年度 同門会各賞受賞コメント

1. 静岡県立静岡がんセンター 大腸外科 医長
同門会賞受賞
山口 智弘
Learning curve for robotic-assisted surgery for rectal cancer : use of the cumulative sum method.
2. 滋賀医科大学 呼吸器外科
理事長賞受賞
大塩 恭彦
Cancer-associated fibroblast-targeted strategy enhances antitumor immune responses in dendritic cell-based vaccine.
3. 滋賀医科大学 心臓血管外科
奨励賞受賞
木下 武
Off-Pump Bilateral Skeletonized Internal Thoracic Artery Grafting in Patients with Chronic Kidney Disease.
4. 医療法人社団 昂会 日野記念病院 外科
若手医師奨励賞受賞
児玉 泰一
小腸癌を契機として診断された Lynch 症候群の 2 例
5. 滋賀医科大学 呼吸器外科
若手医師奨励賞受賞
賀来 良輔
Simultaneous resection of pulmonary tumor following cardiovascular surgery.

◎ 2016年度同門会同門会賞受賞



静岡県立静岡がんセンター 大腸外科 医長

山口 智弘 (平成 12 年卒)

同門会の先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、同門会賞という大変名誉ある賞を頂き、心より感謝いたします。

受賞対象となりました私の研究は、直腸癌におけるロボット手術（ダビンチ手術）に関する臨床研究です。従来型の腹腔鏡下直腸癌手術は、先端が曲がらない鉗子を使用するため、深く狭い骨盤内では技術的難易度が高いとされています。最近報告された開腹と腹腔鏡下の直腸癌手術を比較した二つの大規模 RCT の結果においては、予後を反映する病理学的因子は腹腔鏡下手術の方が悪く、腹腔鏡下手術の開腹手術に対する非劣性が証明されませんでした。これに対して、先端がよく曲がる鉗子、安定した 3D 高画質画像を使用するロボット手術は、難易度の高い直腸癌手術において特に有用であると期待されています。

当院は、年間約 560 例の原発性大腸癌手術のうち約 130 例の直腸癌に対してロボット手術を施行しています。これまで施行した総計約 580 例のロボット手術の短期成績・予後を学会・論文で報告して参りました。その結果は、開腹手術と比較して、出血量・合併症・機能障害・局所再発が少なく、在院日数が短くなりました。腹腔鏡下手術と比較しても、出血量・機能障害・開腹移行率が少なく、在院日数が短いという結果でした。

また、Learning curve が腹腔鏡下手術と比べて短いことも判明いたしました。すなわち、腹腔鏡下手術よりも早く上達することを意味しますが、この傾向は、腹腔鏡下手術経験が浅い医師の方が顕著であったことも既に報告されています。本検討は、Surgical Endoscopy に「Learning curve for robotic-assisted surgery for rectal cancer: use of the cumulative sum method」という形で掲載され、同門会賞を頂きました。

私がこのような研究を行う環境を与えていただいた、バイオメディカル・イノベーションセンター特任教授 谷 徹先生、そして現環境を支援していただいています外科学講座（消化器外科 乳腺・一般外科）教授 谷 眞至先生には、心より感謝申し上げます。また、同門会の先生方には、日頃ご指導を賜り、誠にありがとうございます。この栄えある受賞をきっかけとして謙虚な気持ちを忘れず、襟を正して、常に努力していく所存です。今後とも、どうぞご指導のほどよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

◎ 2016年度同門会理事長賞受賞



滋賀医科大学 呼吸器外科
大塩 恭彦 (平成 14 年卒)

この度はこのような栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。

私たち呼吸器外科のラボでは肺がん、乳がんに対する樹状細胞ワクチン療法を先進医療で行っていた関係で、如何にしてがん免疫治療の抗腫瘍効果を高めるかを主なテーマとして研究を行ってまいりました。というのも樹上細胞ワクチン療法をはじめとするがん免疫治療の効果は未だ十分に満足できるものではないからです。その要因のひとつとして、これらの治療法が基本的には腫瘍細胞のみをターゲットとしていることが挙げられます。

腫瘍組織は単に腫瘍細胞の集団ではなく、様々な腫瘍間質細胞との複合体を形成し、これらが複雑に関係し合っているため、より効果的な治療法の確立には、がん細胞とともに間質も阻害することが重要ではないかと考えています。今回着目したのは主要な間質細胞のひとつであるがん間質線維芽細胞で、制御性 T 細胞や骨髄由来抑制性細胞の誘導を介して担がん宿主の抗腫瘍免疫応答を抑制する性質を持っていること、がん間質線維芽細胞を阻害することで併用した樹状細胞ワクチンの抗腫瘍効果が相乗的に増強することをマウスレベルで確かめたものが、今回賞を賜りました、私の学位論文の内容です。

大学院生としての研究環境を与えてくださった花岡先生、手塚先生、浅井先生に感謝いたしますとともに、細胞培養の基礎から動物実験、複雑な腫瘍免疫応答の評価法など実際の実験の指導を頂きました寺本先生に、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。院生時代に得た思考の過程がその後の臨床現場での出来事に新たなものの見方を与えてくれたことは、何物にも変えがたい財産となりました。このことが後輩にも伝えられるように頑張っ参りたいと思います。

現在は臨床に復帰し病棟医長としての立場を任せて頂き、まだまだ未熟で日々の業務をこなすことで精一杯ですが、今回の受賞を機に一度基礎研究にも力を入れて参りたいと思います。また微力ではございますが、同門会のさらなる発展にも尽くしてまいる所存ですので、今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い致します。

◎ 2016年度同門会奨励賞受賞



滋賀医科大学 心臓血管外科

木下 武 (平成 16 年卒)

このたびご評価いただいた論文は慢性腎臓病患者に対する冠動脈バイパス手術のグラフト選択に関する研究成果であり、2015年8月のアメリカ胸部外科学会雑誌 (Off-pump bilateral skeletonized internal thoracic artery grafting in patients with chronic kidney disease. Kinoshita T, Asai T, Suzuki T. J Thorac Cardiovasc Surg. 2015 Aug 150(2); 315-21) に掲載されました。

冠動脈バイパス手術は、心筋還流を担う冠動脈に生じた狭窄病変により虚血状態に陥った領域に、同一個体から採取した血管グラフトを用いて血行再建を行う手術です。血管グラフトとして内胸動脈、橈骨動脈、右胃大網動脈、大伏在静脈の4種類が存在し、これらを様々な組み合わせで用います。冠動脈(前下行枝、回旋枝、右冠動脈)が支配する3つの還流領域のうち、心機能と予後の最も影響を与える前下行枝領域に対して長期開存性に優れる内胸動脈グラフトを用いることは必須の選択になってはいますが、そのほかグラフトの取捨選択は外科医によって大きく異なります。冠動脈バイパス術は心臓外科の中で最も症例数が多い手術であり、グラフトの組み合わせ、採取方法、吻合血管の選択などが生命予後に影響し得るため、これまで多くの臨床研究がなされてきた研究分野です。

一方、慢性腎臓病 (chronic kidney disease、CKD) は冠動脈疾患の発症と進展に深く関与し、かつ強力な予後不良因子であることが示されています。CKD有病者の急増に伴い、当施設で冠動脈バイパス手術を受ける患者の半数近くが軽度から中等度のCKDを合併しています。また近年の研究によってCKD患者においては冠動脈バイパス手術で全ての虚血領域に血行再建を行っても生命予後が悪いことがわかっており、CKD患者の成績不振の原因究明と対策立案が急務とされていました。本研究は、開存性に優れた内胸動脈グラフトを2本使用することを軸にしたバイパス手術がCKD患者の生命予後に与える効果を検証したもので、類似研究がこれまで存在していなかった点が査読委員に評価されたのだと考えています。

心臓血管外科教室では多くの若手医師が臨床と研究の両立を目指して努力しています。1日も早く執刀医になることだけを夢みてひたすら臨床に打ち込んでいる若手外科医にとってわざわざ苦勞して論文を書くことの意義は何なのか。ひとつは故きを温ねて新しきを知る精神だと思っています。仮にNeuesを見出せなくても、膨大なデータを丹念に真摯に振り返る作業自体が外科医としての糧になるはずです。滋賀医大の過去2000例の冠動脈バイパス手術を詳細に知り尽くしておくことは、仮に自分が執刀していなくても極めて貴重な経験になるはずです。二つめは論理的思考の鍛錬に有用である点です。この思考技術は日常臨床で常に要求され、鑑別診断、診療方針の選択・実行などで活用されています。刻々と状況が変化する術中に、常に安全な最短経路を論理的に取捨選択する能力、合理的に判断する能力が良い手術に結び付くと考えています。最後に英文で論文を世に残すことができれば、現時点では少しの価値しかなさそうな論文でも、もしかしたら世界中の誰かが研究を発展させ素晴らしい治療方法に発展させてくれるかもしれません。心臓外科の歴史もそんなことの積み重ねだったようです。

◎ 2016年度若手医師奨励賞受賞



医療法人社団 昂会 日野記念病院 外科

児玉 泰一 (平成 20 年卒)

この度は若手医師奨励賞を賜り、誠に感謝しております。

今回表彰していただきました日本臨床外科学会雑誌に掲載された「小腸癌を契機として診断された Lynch 症候群の 2 例」の論文は、比較的珍しい Lynch 症候群関連の原発性小腸癌の症例を滋賀医科大学病院で短期間に 2 例経験しましたので論文報告したものです。他の先生方の受賞論文とは異なり、日本語の学会雑誌の症例報告ではありますが、今年度より新設された若手医師奨励賞という大変名誉な賞をいただき、大変うれしく思います。

当時私は大学院生として研究をしておりましたが、Lynch 症候群関連小腸癌の症例を発表してみないかとの打診があり学会で発表させていただきました。以前に先輩から「学会で 100 回発表するより、1 本の論文を書くほうが大事だ」と教わってきておりましたし、当時は当直のバイト先で書く時間もありましたので、発表後はすぐに論文を書いて上司の先生の指導をいただき投稿しました。学会発表の準備の段階から同時に論文を書き始めることは簡単なようではなかなか難しいことですが、それをしないとすぐに時間が経過してしまい、論文を書くのがしんどくなってお蔵入りしてしまうことは僕自身何度か経験があります。今回の賞をいただき、学会発表してすぐに論文投稿すれば良いことあるよと改めて教えていただいたと思っております。

私は現在、大学院を修了し日野記念病院で勤務しておりますが、日々の診療をしておりますと時間が経つのがとても早く感じます。それは恐らく外来、病棟業務、手術などをして、仕事をした満足感に満たされているからだと自覚していますが、論文を書くという仕事を忘れてしまいがちなことも自覚しています。若手医師奨励賞をいただいたからには、実臨床において希少性のある症例の報告や医学的意義のある報告を多く発表し、それを論文にするという姿勢を今後も続けていきたいと考えております。

最後になりましたが、論文の作成にあたりご指導いただきました先生方にお礼を申し上げます。これからも精進して頑張りますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

◎ 2016年度若手医師奨励賞受賞



滋賀医科大学 呼吸器外科

賀来 良輔 (平成 21 年卒)

この度、若手医師奨励賞をいただきましたこと、誠にありがとうございます。このようなすばらしい賞を得られましたのも、諸先輩方にご指導いただきましたことと感謝しております。

Asian Journal of Surgery に掲載された「Simultaneous resection of pulmonary tumor following cardiovascular surgery」について、ご評価いただきました。この論文では、心臓血管手術の術前精査時に、偶発的に見つかった肺癌症例に対して、心臓血管手術と同時に肺部分切除術を施行した症例について検討しました。この検討では他病死が多かったため、重篤な併存症のために肺癌に対する根治切除が困難な症例でも、肺癌に対する肺部分切除で病勢制御が可能となり、臨床経過に貢献した可能性が示唆されました。

今回の検討を経て、患者さんにとっての最善とは何かを改めて考えさせられました。それぞれの患者さんの全身状態や併存症、社会背景にも気を配った上で、治療を組み立てていくことが肝要と考えました。これからも、患者さんにとっての最善を目指し、精進していきたいと思っています。

この論文をご評価いただき、名誉ある賞をいただきましたこと、心から感謝しております。また、論文作成にあたりご指導いただきました先生方にも、お礼申し上げます。今後も引き続き、ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

同 門 会 便 り

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1. 愛知県がんセンター中央病院 | 安 炳九 |
| 2. 公益財団法人 がん研究会 有明病院 | 大竹 玲子 |
| 3. 医療法人社団 昂会 湖東記念病院 | 高島 範之 |
| 4. 医療法人 医仁会 武田総合病院 | 鈴木 雄治 |
| 5. 独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院 | 内藤 弘之 |
| 6. 独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センター | 赤堀 浩也 |
| 7. 医療法人社団 昂会 日野記念病院 | 仲 成幸 |
| 8. 社会医療法人 生長会 ベルランド総合病院 | 土橋 洋史 |
| 9. University Heart Center Hamburg | 内藤 志歩 |

● 愛知県がんセンター中央病院

消化器外科部シニアレジデント 安 炳 九 (平成 12 年卒)

愛知県がんセンターは昭和 39 年 12 月に設立された、病院と研究所を併せ持つ県立としては日本初のがん専門施設で、平成 26 年には 50 周年を迎えた歴史ある施設です。がん対策推進基本法による都道府県がん診療連携拠点病院の指定を平成 19 年に受けて以来、愛知県のがん診療連携拠点病院の中心的役割を果たしています。

東名高速道路の名古屋インターチェンジから西へ約 15 分、地下鉄名城線自由が丘駅からは徒歩 7 分の小高い丘の上にある当センターは、地上 9 階、地下 1 階建て、病床数 500 床、9 室の手術室を有し、専門性の高い最先端のがん治療に日夜取り組んでいます。

私は 2004 年から 2 年間、当センター消化器外科レジデントとして、さらに 2007 年から 2 年間、当センター研究所リサーチレジデントとして消化器がんについての研究に勤しんだ後、一般病院で外科医として実臨床に携わってきました。しかし、日々の臨床に取り組んでいく中で、専門化が進んだ消化器外科分野でより高い技術や知識を身につけるには改めて専門施設での研修が必要であると考え、一念発起しシニアレジデントとして消化器外科部に再び赴任させていただきました。現在は主に食道癌を中心とした研修を行っております。レジデントとしては少々(?) 歳をとりすぎている感は否めませんが、消化器外科スタッフならびにレジデントの先生方に温かく仲間として迎えていただき、大変感謝しております。

当センター消化器外科部は清水泰博副院長・兼消化器外科部長のもとスタッフ 12 名、レジデント 9 名の総勢 21 人で、消化器がん全般の外科診療を行っています。昨年手術件数は 845 件(食道: 87(66)件、胃: 242(92)件、大腸: 333(103)件、肝胆膵: 183(19)件。())は鏡視下手術)で、いずれのチームも鏡視下手術などの低侵襲・機能温存から拡大根治手術まで幅広く、がん専門病院ならではの“Specialty”と“Quality”の高い手術を患者様に提供しております。さらに最新で最良の外科治療を提供するために様々な臨床試験に参加し、手術方法や術前・術後の抗がん剤の使用法などの新しい治療法の開発に積極的に取り組んでいます。また院内では消化器内科部・内視鏡部・放射線診断部・放射線治療部・薬物療法部と日頃から連携し精度の高い診断と効果のより優れた治療を患者様に提供できるよう日々診療に取り組んでいます。

今回、2 年間という限られた期間ではありますがこのような恵まれた環境で研鑽を積める機会をいただいたことを感謝し、今後の診療に役立てたいと考えております。引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



● 公益財団法人 がん研究会有明病院

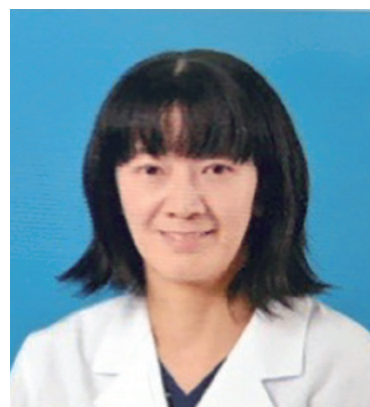
消化器外科レジデント 大竹 玲子 (平成 22 年卒)

滋賀医科大学を 2010 年に卒業し、同大学で 2 年間の初期研修を経て 2012 年に入局しました。滋賀医大病院・京都第一赤十字病院・東近江総合医療センターで研修した後、外科学講座 教授 谷 眞至先生にご推薦いただき 2017 年 4 月より東京都江東区にあるがん研究会有明病院で消化器外科レジデントとして修練しております。

がん研は長い歴史と伝統を持つ high volume center です。そこで培われてきた高度な技術・知識を他施設の医師が享受できる機会として、全国から選抜された施設の医師に対し手術見学や講義を行う癌研アカデミーという研修会がありますが、これに参加させて頂いたことががん研での修練を希望するに至ったきっかけでした。

がん研の年間手術件数(2015 年)は、食道癌 110 件、胃癌 562 件、大腸癌 700 件、肝胆膵癌 366 件、乳癌 962 件、肺癌 294 件、と多く、また手術治療以外でも内視鏡治療 (胃癌 450 件、食道癌 168 件、大腸癌 169 件)・薬物治療 (治験 199 件)・放射線治療も全国有数の症例数です。全国から症例が集まるため希少な疾患を学ぶ機会にも恵まれています。各症例の治療方針を十分に検討するため各科のカンファレンスが厳密に行われるのは当然のこと、多科参加のカンファやキャンサーボード、また経験症例から学ぶための外科内科病理の合同カンファ等も定期的に行われ、活発に議論が行われます。カンファに出席することで直接症例に関わらなくとも知識として蓄積することができる機会が多いのは魅力の一つです。

消化器外科レジデントの研修は 3 年間のプログラムで、1 年目は病理・化学療法・上部内視鏡・下部内視鏡・肝胆膵内科のうち、病理と化学療法は必須で他 2 部門を選択しローテート、2 年目以降に消化器外科のローテートとなっています。同期のレジデントは 6 人でそれぞれローテートしており、私は現在病理部で研修中です。手厚い指導の下、切り出しや組織診断、希少な疾患等、これまで経験してこなかった多くのことを学べ、充実した修練の始まりを実感しています。スタッフの先生方は高名な先生も多く教育熱心で、指導を受けられることを有難く思います。がん研は腫瘍外科医となるべく修練を積むには質も量も保証された最高の環境です。



〒135-8550 東京都江東区有明 3-8-31 電話：03-3520-0111

● 医療法人社団 昂会 湖東記念病院

心臓血管外科医長 高島 範之 (平成19年卒)

医療法人社団 昂会 湖東記念病院は、平成12年10月に循環器疾患、脳疾患を中心とした救急疾患に対し地域に対し充実した医療を提供するという理念のもと設立されました。平成16年12月には滋賀ガンマナイフセンター、平成17年4月には心臓血管センターが設立されました。姉妹病院である日野記念病院、能登川病院とも連携して、東近江地域全体の医療を担う施設となっています。

平成26年に新病棟開設、手術室増設、心臓カテーテル室増設、リハビリテーションの拡充が行われ、平成26年4月から心臓血管外科も開設となりました。現在、滋賀医科大学外科学講座から、高島範之、森本政憲の2名が常勤医として診療を担当しており、開心術の際には浅井教授や鈴木准教授に手術の指導に来ていただいております。

平成27年4月には下肢静脈瘤の血管内高周波焼灼術(RFA)を導入、同年9月から腹部ステントグラフト内挿術(EVAR)、平成28年9月から胸部ステントグラフト内挿術(TEVAR)も実施可能となり、対応可能な症例も増えてきました。症例数も年々増加傾向にあり、平成28年は開心術86例(内TEVAR1例)、腹部大動脈瘤30例(内EVAR8例)、末梢動脈疾患5例、下肢静脈瘤179例(内RFA176例)でした。平成27年からは常勤麻酔科医も赴任したことから、緊急手術にも対応可能となってきました。

当院は病床数129床(内SCU6床、CCU5床)と小規模な病院ですが、その分各部門との距離も近く、密接な連携が取りやすい環境にあります。実際、術前カンファレンスでは、手術室・病棟看護師、理学療法士、検査技師、薬剤師なども参加し、症例の情報を共有しています。また、なによりも循環器内科との強い協力関係が自慢です。週1回の合同カンファレンスや、心臓リハビリカンファレンスだけにとどまらず、外科症例のカテーテル検査を内科指導の下、外科医が施行したり、手術症例に内科医も参加したりと、症例の相談なども気軽にできる関係であり、まさに「ハートチーム」で診療を行っています。

365日24時間体制での診療を目標としていますが、それにはまだ十分な体制が整っているとはいえない状態です。病院全体として経験値は確実に積み重ねていますので、さらに地域に信頼される診療科となるべく日々精進していきたいと思っております。

● 医療法人医仁会 武田総合病院

呼吸器外科部長 鈴木 雄治 (平成元年卒)

医仁会武田総合病院は、1976年に開院し、79年に総合病院指定を受け、以来38年にわたり伏見区東部の中核病院として地域医療を支えています。病床数は500床で、20の診療科と、26の専門外来、消化器センター、糖尿病センター、救急医療センター、脳卒中センター、総合リハビリセンターを配置しており、救急センターは、ICU、CCUを構える24時間の救急医療体制を敷き、内科、外科、小児科、循環器内科、脳神経外科、産婦人科の6診療科のDr+研修医が毎日当直しております。当院は臨床研修指定病院で2年目の研修医6人、1年目研修医も6人います。みなさん元気はつらつとしております。現在の院長は、H13年から7年間、滋賀医大副学長、附属病院長をされておりました滋賀医大放射線科名誉教授の森田陸司先生がH20年4月より就任されております。当科以外では、放射線科と整形外科が滋賀医大からの先生です。呼吸器外科はH7年に新設され当時は京大の先生がいましたがH13年から滋賀医大の関連病院となりH15年4月から私が赴任させていただきました。今年度で15年目となります。当初年間30例ぐらいであった手術件数は100例を超え去年は121例でした。初めは一人で赴任し手術の時だけ大学から助手の先生を派遣して頂いておりましたが、2年目から常勤を2人にいただき、手術症例が100例を超えてからは3人にいただきました。現在のスタッフは北村先生と石田先生で充実した毎日を過ごしております。今年度は呼吸器外科学会の関連施設から基幹施設への変更申請をする予定です。現状に満足することなくスタッフ全員が臨床外科医として成長できるように頑張りたいと思っております。



〒601-1495 京都市伏見区石田森南町 28-1 電話：075-572-6331

● 独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院

消化器外科部長 内藤 弘之 (昭和 62 年卒)

本年 4 月より独立行政法人 地域医療機能推進機構 滋賀病院 (JCHO 滋賀病院) に赴任致しました、滋賀医科大学 7 期生の内藤弘之です。卒後、研修医や大学院などの 8 年のあと、大学病院勤務 12 年、その後医療法人社団昂会で 10 年 (日野記念病院 8 年 7 カ月、能登川病院 1 年 5 カ月)、そして今年度は医師となって節目の 31 年目になります。その節目に JCHO 滋賀病院に勤務することとなりました。

実は当院は私にとっては極めて地元の病院に当たります。生まれは穴太(あのうと読みます)、京阪電車石坂線の日吉大社近くの終点坂本駅のふたつ前の駅です。石積の穴太衆で有名なところ。滋賀大学附属幼稚園、小中学生時代は穴太から錦駅まで乗車、膳所高時代は膳所本町まで乗車していました。そして当院の最寄りの駅は膳所本町から石山よりに三駅の粟津駅です。穴太に住んでいた際、家族のかかりつけ医はもと当院の外科部長で、何かあれば当院に紹介され祖父母とも手術を受けています。

昨年度、滋賀医科大学と JCHO 滋賀病院は「地域医療教育研究拠点」に関する協定を結び、すべての学生が当院に実習に来ることになりました。また日野記念病院時代から堅田看護専門学校 of 消化器疾患の講師を務めてきましたが、堅田看護専門学校の実習先が JCHO 滋賀病院です。何かと縁深い JCHO 滋賀病院で、微力ながら地域の地域医療に貢献するとともに、滋賀医科大学の学生教育の一端を担えたらと思っています。滋賀医科大学はじめ、地域の病院、開業医の先生方のお力添えをお願いするかと存じますが、何卒宜しくお願い致します。



〒520-0846 大津市富士見台 16-1 電話：077-537-3101

● 独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター

消化器外科医長 赤堀 浩也 (平成 11 年卒)

2013 年 4 月に 320 床の急性期病院となった東近江総合医療センターは、2017 年 4 月現在、47 名（うち外科系医師は 25 名）の常勤医による診療体制のもと、①中核病院としての地域医療、②「滋賀医科大学 地域医療教育研究拠点」として良質な医療従事者の育成のための教育研修、③滋賀県および東近江市が進める「がん診療拠点病院」としての機能 といった使命を果たすべく、日々の診療に臨んでいます。

今年秋に病院機能評価審査を受ける予定で、全職員が一丸となって病院改革を進めています。そのほかにも「地域がん診療連携拠点病院」、「地域医療支援病院」、「災害拠点病院」等の指定病院になることを今後の目標としています。

外科（消化器・一般外科）は目片副院長はじめ 6 名のスタッフで、平成 28 年度は年間 409 件（全身麻酔 245 件）の手術症例を担当しました。個々の症例に対し、消化器内科や放射線科との合同カンファレンスを定期的に行い、最新・最適な医療が提供できるよう心掛けています。この 4 月からは医局のさらなる協力のもと、肝胆膵ならびに乳腺疾患の手術症例を積極的に増やすことを目標とし、滋賀医科大学外科学講座にとって重要な関連病院となることを目指したいと思います。さらに充実したスキルズラボを活かして、当センターでの修練中に内視鏡技術認定が取得できるようなカリキュラムを構築し、若手医師にとっても魅力ある病院となるよう努力したいと考えております。

また臨床研究にも積極的に参加することで、研修にくる若手医師や研修医だけでなく常勤医も、日々進歩する医学を実感できる環境を作るとともに、大学病院主導の臨床研究に少しでも貢献できればと考えています。

ハード面の整備にソフト面が追いつきつつある病院にあって、目標を明確にそして限界を作ることなく、日々精進して参りたいと思います。同門の先生方には今後も変わらぬご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



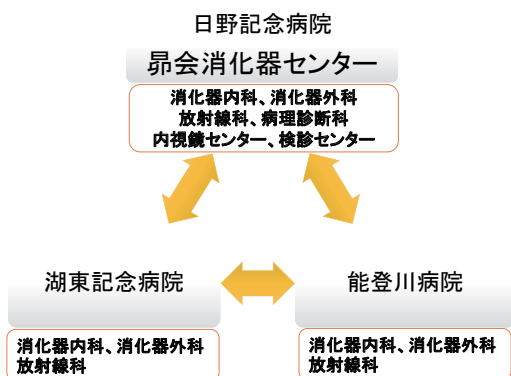
● 地域より質の高い先端医療を提供する

医療法人社団 昂会 日野記念病院
院長代行 仲 成幸 (平成2年卒)

日野記念病院は昭和60年に開設され、22診療科、常勤医師29人を擁する150床の病院です。人口23万人の東近江医療圏（日野町、竜王町、東近江市、近江八幡市）で地域に密着した医療を提供しています。外科は、相馬俊臣理事長、花澤一芳院長、仲 成幸院長代行、迫 裕孝院長代行、東田宏明副院長、児玉泰一医長が消化器外科・一般外科においてそれぞれの役割を担当しています。消化器外科では胃がん、大腸がんに対してはほとんどの症例に対し腹腔鏡下手術を施行しており、腹腔内温熱化学療法（HIPEC）も施行しています。また、肝切除や膵切除等、肝胆膵症例にも力を入れています。また、一般外科では迫 裕孝院長代行の赴任により乳腺手術および甲状腺の手術症例が増えています。

「昂会消化器センター：SUBARU Center for Digestive Diseases (SCDD)」を平成29年6月1日より日野記念病院内に設立しました。日野記念病院、湖東記念病院、能登川病院が協力してあらゆる消化器疾患を専門体制で受け入れ、地域より質の高い専門医療を提供することを目的としています。食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆道・膵臓などの消化器疾患を24時間体制で、診断から治療に至るまで、消化器内科・消化器外科・放射線科・病理診断科・内視鏡センター・検診センターが一つになり対応します。特に、消化器内科・内視鏡センターでは内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）などの低侵襲治療を行い、総胆管結石・悪性胆道狭窄などの胆道疾患に対するドレナージ術・切石術を行っていきます。消化器外科では腹腔鏡下胃切除、腹腔鏡下大腸切除、腹腔鏡下胆嚢摘出術をはじめ鏡視下手術による低侵襲治療を行い、肝がんに対して肝切除、膵がんおよび胆道がんに対しては外科的切除および化学療法を積極的に行います。さらに、急性腹症、腹部外傷などの救急疾患も24時間体制で受け入れ、腎外傷、骨盤外傷では泌尿器、整形外科と協力して治療にあたります。その他、化学療法部、放射線科でのIVR、検診センターでの症例の拾い上げ等協力体制を構築していきます。

昂会は日野記念病院、湖東記念病院、能登川病院の3病院で構成され、各々の特徴を活かしながら一体として運営されています。手術数でわかる「いい病院2016」（週刊朝日ムック）によれば、滋賀脊椎センター（日野記念病院）の脊椎の手術件数は県内で一番多く近畿圏でも4番目となっています。また、心臓血管センター（湖東記念病院）のカテーテル治療件数、脳神経外科センター（湖東記念病院）の脳腫瘍に対する手術件数がそれぞれ近畿でも有数の症例数としてランキングに入っています。昂会消化器センターも同様に3病院で協力し、地域に密着しながら、質の高い先端医療を広く提供できるように発展していくことが求められています。今後とも外科同門会の先生方をはじめ皆様のご指導ご助力を賜りますようお願い申し上げます。



● 社会医療法人生長会 ベルランド総合病院

外科部長 土橋 洋史 (平成10年卒)

ベルランド総合病院は大阪府堺市（人口83万人）にあり、南大阪の医療を担う中核病院です。民間病院でありながら、DPC II群（大学病院本院に準ずる機能を有する）病院に指定されており、大阪府がん診療拠点病院や地域周産期母子医療センター、基幹型臨床研修病院をはじめ、行政、学会よりさまざまな指定、認定を受けています。病床数477床、診療科22科、常勤医師数145人からなり、24時間365日対応の救急医療を含む高度な急性期医療を提供しています。1982年の開設以来、病院機能の拡充が続けられてきましたが、より時代に即した最新の医療技術を提供するため、平成26年9月に新病院に全面建て替えされました。

外科は、亀山院長以下、11名のスタッフで構成されており、滋賀医科大学出身は川崎外科部長を含め4名在籍しています。外科スタッフは皆、出身大学や経歴はさまざまですが、連携をとりながら、食道から肛門までの消化管と、肝・胆・膵、さらには後腹膜や骨盤臓器など、腹腔内全域における、あらゆる疾患の外科診療に当たっています。外科の年間手術件数は1000件を超え、主な疾患の内訳は、食道癌2例、胃癌73例、結腸癌121例、直腸癌60例、肝切除34例、膵切除22例、胆嚢摘出術199例、虫垂炎84例、ヘルニア149例となっています。

悪性疾患に対してはガイドラインに基づきながらも、常に新しい情報を取り入れ、個々の患者にとって最適の治療を提供できるよう努力しています。胃・大腸癌には低侵襲治療として腹腔鏡手術を標準化し、局所高度浸潤癌に対しては適宜、十分な説明をさせていただいた上で、手術を主体に薬物・放射線療法などの集学的な治療を行っています。隣接臓器浸潤を伴うような病変に対しても、他科と緊密に連携しながら根治切除を目指した手術を行っています。

地域医療においては、急性虫垂炎や急性胆嚢炎、消化管穿孔等の急性腹症の救急患者を24時間体制で受け入れており、年間の緊急手術件数は300件を超えています。最近では、急性虫垂炎や急性胆嚢炎等の急性疾患、また鼠径ヘルニア等の良性疾患に対しても、積極的に腹腔鏡下手術を取り入れており、患者さんにとって低侵襲となるように心がけています。



私もこの4月に当病院に赴任したばかりですが、これから地域医療を支える中核病院の一員として微力ながら頑張っていきたいと考えております。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

● University Heart Center Hamburg

心臓血管外科 Assistantärztin 内藤 志歩 (平成 22 年卒)

ドイツ・ハンブルク大学病院の付属施設であるハートセンター、University Heart Center Hamburg に 2016 年 3 月より勤務しています。半年間客員医師として主に研究に携わり、同年 9 月より成人心臓外科所属の Assistantärztin (専門医をとるまでの研修医) として勤務しています。

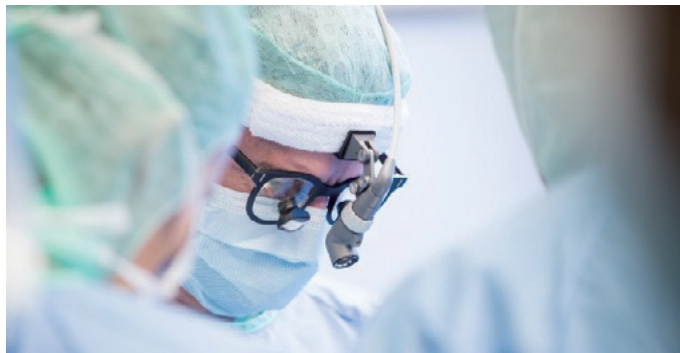


ハートセンターは心臓外科、血管外科、循環器内科 (インターベンションチーム、不整脈チーム)、小児循環器科、小児心臓外科からなります。

Reichenspurner 教授率いる成人心臓外科チームでは年間約 2000 件の開心術を手掛け、また循環器内科インターベンションチームと合同で年間 400 例の TAVI (Transcatheter Aortic Valve Implantation) を施行しています。TAVI においてはドイツ国内でも特に最新モデルの臨床治験などにも積極的に参加し、またほかにも数々のレジストリにも積極的に参加しています。開心術では僧帽弁形成には積極的に MICS (Minimul Invasive Cardiac Surgery) を施行し、若年者の大動脈弁閉鎖不全に対しては大動脈弁置換術ではなく形成術を施行しています。また心臓移植や心室補助デバイス植え込みなども行われるドイツでも屈指の心臓外科施設の一つです。心臓外科と血管外科が共同で German Aortic Center Hamburg を連携して運営し、2017 年 10 月には Aortic Live というライブセミナーを開催予定です。

ハートセンターと隣接する大学病院全体の研究棟では各部門で研究が盛んにおこなわれています。心臓外科だけでも数々の研究プロジェクトが進行中です。私は主に大動脈二尖弁患者の Biomaterialbank プロジェクトに携わっています。アメリカの NASA との共同研究なども行われています。

診療だけでなく大学病院として研究も活発に繰り広げられる当施設では私以外にも外国人医師が数多く勤務し国際色豊かな職場です。外科医としてこの病院に勤務し貴重な経験ができることに感謝してやみません。最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださった浅井教授、ご指導いただいた外科医局の諸先生方に深くお礼申し上げます。



MARTINISTRASSE 52, 20251 HAMBURG

電話：+49 40 741053990

● 新入会員紹介

消化器・乳腺・一般外科



森 治樹

出身大学：滋賀医科大学
(平成 22 年度卒)

2016 年 10 月より消化器外科
でお世話になっております。
皆様のお力になれるよう頑張
ります。今後とも御指導頂き
ますようお願い致します。



寺田 好孝

出身大学：自治医科大学
(平成 22 年度卒)

2016 年 4 月より消化器外科で
お世話になっております。
4 年間僻地での内科勤務を経
て、現在外科研修に奮闘中で
す。まだまだ駆け出しですが、皆
様のお力になれるよう頑張
りますので、ご指導ご鞭撻の
ほどよろしくお願い致します。

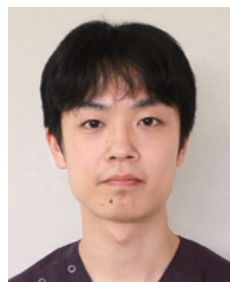
心臓血管外科



寺田 真也

出身大学：島根医科大学
(平成 15 年卒)

島根県出身ですが、北は北海
道、南は沖縄と転々として参
りました。この度、滋賀医科
大学外科同門会に入会させて
いただくこととなり、少しでも
会の発展に貢献できるよう努
力していきたいと思っております。
ご指導の程、何卒よろしくお
願いいたします。



鉢呂 康平

出身大学：滋賀医科大学
(平成 26 年卒)

2016 年 4 月より心臓血管外
科で働かせて頂いております。
日々精進して参りますので、
ご指導、ご鞭撻の程よろしく
お願い致します。

教室業績

滋賀医科大学外科学講座（消化器・乳腺・一般外科）

【著書】

谷 眞至

肝胆膵高難度外科手術 第2版

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度委員会編集(5)膵切離 医学書院；84-88, 2016

【論文】

〈英文学術論文〉

Takebayashi K, Sonoda H, Shimizu T, Ohta H, Mitsuaki M, Mekata E, Endo Y, Tani T, Tani M.

Pyomyositis at the surgical site in a patient with chronic myeloid leukemia a case report and literature review.

World J Surg Oncol. 14; 116, 2016

Tuy H D, Shiomi H, Mukaiishi K I, Naka S, Shimizu T, Sonoda H, Mekata E, Endo Y, Kurumi Y, Sugihara H, Tani M, Tani T.

ABCG2 expression in colorectal adenocarcinomas may predict resistance to irinotecan.

Oncol Lett. 12(4); 2752-2760, 2016

Yamamoto H, Maeda K, Arima H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata E, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Miura K, Kadowaki M, Tani M.

Perioperative Adiponectin Measurement is Useful for Prediction of Postoperative Infection in Patients with Colorectal Cancer.

Ann Surg Oncol. 23(Suppl 4); 540-545, 2016

Murata S, Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Ishida M, Kodama H, Takebayashi K, Shimizu T, Miyake T, Tani T, Kushima R, Tani M.

Viable Cancer Cells in the Remnant Stomach are a Potential Source of Peritoneal Metastasis after Curative Distal Gastrectomy for Gastric Cancer.

Ann Surg Oncol. 23(9); 2920-7, 2016

Inoue A, Ohta S, Nitta N, Yoshimura M, Shimizu T, Tani M, Kushima R, Murata K.

MRI can be used to assess advanced T-stage colon carcinoma as well as rectal carcinoma.

Jpn J Radiol. 34(12); 809-819, 2016

Umeda T, Ishida M, Murata S, Mori T, Kawai Y, Itoi N, Tomida K, Tanaka A, Sakai S, Kitamura M, Kubota Y, Kushima R, Tani M.

Immunohistochemical analyses of CD44 variant isoforms in invasive micropapillary carcinoma of the breast; comparison with a concurrent conventional invasive carcinoma of no special type.

Breast Cancer. 23(6); 869-875, 2016

Maehira H, Shiomi H, Murakami K, Akabori H, Naka S, Ishida M, Tani M.

Lymphoepithelial cyst with sebaceous glands of the pancreas; a case report.

Surg Case Rep. 2(1); 98, 2016

Maehira H, Itoh A, Kawasaki M, Ogawa M, Imagawa A, Mizumura N, Okumura S, Kameyama M.

Use of dynamic CT attenuation value for diagnosis of acute gangrenous cholecystitis.

Am J Emerg Med. 34(12); 2306-2309, 2016

Eguchi H, Yamaue H, Unno M, Mizuma M, Hamada S, Igarashi H, Kuroki T, Satoi S, Shimizu Y, Tani M,

Tanno S, Hirooka Y, Fujii T, Masamune A, Mizumoto K, Itoi T, Egawa S, Kodama Y, Tanaka M, Shimosegawa T.

Committee of Clinical Research, Japan Pancreas Society. Clinicopathological Characteristics of Young Patients With Pancreatic Cancer: An Analysis of Data From Pancreatic Cancer Registry of Japan Pancreas Society.

Pancreas 45(10); 1411-1417, 2016

Kodama H, Murata S, Ishida M, Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Miyake T, Takebayashi K, Kushima R, Tani M. Prognostic impact of CD44-positive cancer stem-like cells at the invasive front of gastric cancer. Br J Cancer. 116(2); 186-194, 2017

Nagasawa Y, Okauchi H, Kojima M, Setoyama H, Hasegawa M, Mizuta H, Tsujikawa T, Tani M, Kurumi Y. Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for a duodenal neuroendocrine tumor; A case report. Asian J Endosc Surg. 2017

Iida H, Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Kon M. Assessing the feasibility of clinicopathological features of hepatic resection for hepatocellular carcinoma in patients over 80 years of age. Mol Clin Oncol. 6(1); 29-38, 2017

Iida H, Matsui Y, Kaibori M, Matsui K, Ishizaki M, Hamada H, Kon M. Single-Center Experience with Subvesical Bile Ducts (Ducts of Luschka). Am Surg. 83(2); 43-45, 2017

〈和文学術論文〉

北村直美, 清水智治, 坂井幸子, 三宅 亨, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 森 毅, 田畑貴久, 江口 豊, 谷 眞至

当院における腹部緊急手術の現状
滋賀医大誌 29(1); 40-45, 2016

今井勇伍, 井上明星, 大田信一, 高木 海, 中川達也, 友澤裕樹, 渡辺尚武, 新田哲久, 村田喜代史, 貝田佐知子, 山口 剛, 山本 寛, 谷 眞至
絞扼性小腸閉塞により Congestive Radiculopathy をきたしたと考えられる1例
日本腹部救急学会雑誌 36(4); 807-811, 2016

前平博充, 谷 眞至
特集消化器外科 術後観察&対応ポイント スグわかりイラスト+Q&A
消化器外科NURSIN(7); 90-92, 2016

竹林克士, 村田 聡, 谷 眞至
胃癌腹膜播種に対する腹腔内温熱化学療法
消化器外科 39(10); 1395-1403, 2016

谷 眞至, 赤堀浩也
早期十二指腸乳頭部粘膜内癌に対する手術術式に何を選択するか②膵頭十二指腸切除術を選択する立場から
膵・胆道癌FRONTIER 6(1); 18-21, 2016

森 毅, 北村美奈, 富田 香, 河合由紀, 坂井幸子, 貝田佐知子, 三宅 亨, 北村直美, 赤堀浩也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
リンパ行性転移が示唆されたエクリン汗孔癌乳房転移の1例
癌と化学療法 43(12); 2016-2018, 2016

貝田佐知子, 村田 聡, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
化学放射線療法後サルベージ手術を行いpCRと診断され初回 治療後5年6か月無再発生存中である進行食道癌の1例
癌と化学療法 43(12); 2007-2009, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 仲成幸, 谷 眞至
腹膜播種再発の高リスク因子を有する進行大腸癌に対する腹腔内温熱化学療法の有効性についての検討
癌と化学療法 43(12): 1440-1442, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 谷 眞至
胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討—関連病院におけるアンケート調査の結果から—
滋賀医大誌 29(1): 27-31, 2016

生田大二, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 北村直美, 清水智治, 谷 眞至
mapping biopsyで適切な肛門皮膚切除範囲が決定できたPagetoid spreadを伴う肛門管癌の2例
日本大腸肛門病学会雑誌 69(8): 441-447, 2016

平山尚史, 西田淳史, 新谷修平, 大崎理英, 園田文乃, 稲富 理, 馬場重樹, 北村直美, 園田寛道, 杉本光繁,
清水智治, 谷 眞至, 安藤 朗
症例に学ぶ 術前診断が可能であった盲腸後窩ヘルニア嵌頓の1例
日本消化器病学会雑誌 113(9): 1594-1599, 2016

竹林克士, 村田 聡, 谷 眞至
胃癌腹膜播種に対する腹腔内温熱化学療法
消化器外科 39(10): 1395-1403, 2016

山本 寛, Nguyen Trung Vo, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
【肥満手術が代謝に及ぼす影響】ブドウ糖負荷に対する糖代謝ホルモン動態の消化管の部位による違い
外科と代謝・栄養 50(4): 199-204, 2016

谷 眞至, 赤堀浩也
誌上ディベート 早期十二指腸乳頭部粘膜内癌に対する手術術式に何を選択するか
膵頭十二指腸切除術を選択する立場から
膵・胆道癌Frontier 6(1): 18-21, 2016

坂井幸子, 久保田良浩, 加藤久尚, 森 毅, 清水智治, 梅田朋子, 谷 眞至
創傷被覆保護材を用いて臍帯を上皮化しcomponents separation techniqueにて
腹壁閉鎖を行った巨大臍帯ヘルニアの1例
日本小児外科学会雑誌 52(4): 970-976, 2016

前平博充, 谷 眞至
【“これも知りたい!”+4術式の術後観察対応スグわかりポイント】膵中央部切除術(Q&A/特集)
消化器外科Nursing 21(7): 658-660, 2016

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 森 毅, 梅田朋子, 河合由紀, 富田 香, 谷 眞至
異時性4重複悪性腫瘍(男性乳癌, 肺癌, 結腸癌, 胃間葉型腫瘍)の1例
滋賀医科大学雑誌 29(1): 32-35, 2016

北村直美, 清水智治, 坂井幸子, 三宅 亨, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 森 毅, 田畑貴久, 江口 豊,
谷 眞至
当院における腹部緊急手術の現状
滋賀医科大学雑誌 29(1): 40-45, 2016

井内武和, 児玉泰一, 清水智治, 蔦本慶裕, 三宅 亨, 望月慶子, 佐藤浩一郎, 東田宏明, 谷 眞至
豊郷病院における腹腔鏡下大腸癌手術の現状と課題
滋賀医科大学雑誌 29(1): 46-50, 2016

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 安 炳九, 飯田洋也, 井内武和, 池添清彦, 一瀬真澄, 宇治祥隆, 籠 洋三, 貝塚真知子, 柿原直樹, 神谷純広, 川崎誠康, 熊野公東, 小林知恵, 佐藤浩一郎, 龍田 健, 田中彰恵, 東田宏明, 土橋洋史, 中村一郎, 西村彰一, 生内一夫, 長谷川 均, 林 直樹, 藤田益嗣, 藤野光廣, 水野 文, 八木俊和, 矢澤武史, 山口智弘, 横田 徹, 谷 眞至
原発性胃癌に対する術後抗凝固療法 関連病院におけるアンケート結果報告
滋賀医科大学雑誌 29(1): 51-54, 2016

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 井内武和, 東田宏明, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における結腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績
滋賀医科大学雑誌 29(1): 64-67, 2016

大竹玲子, 山口 剛, 村田 聡, 貝田佐知子, 山本 寛, 竹林克士, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 馬場重樹, 辻川知之, 安藤 朗, 谷 眞至
神経線維腫症1型に伴う小腸多発GISTの外科的治療後長期に経過観察できている3例
癌と化学療法 43(12): 1687-1689, 2016

山口 剛, 村田 聡, 貝田佐知子, 大竹玲子, 竹林克士, 山本 寛, 三宅 亨, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 森谷鈴子, 九嶋亮治, 谷 眞至
CY1またはP1 Stage IV胃癌に腹腔内温熱化学療法(HIPEC)を行い長期生存を得られている2例
癌と化学療法 43(12): 1954-1956, 2016

田中智基, 園田寛道, 橋本賢吾, 宮武秀光, 藤井恵美, 山根哲信, 辻田靖之, 高橋 完, 谷 眞至, 江口 豊
S状結腸癌穿孔腹膜炎術後に対してPMX-DHPとAN69ST/PMMA-CHDFを施行した1症例
日本急性血液浄化学会雑誌 7(2): 130-133, 2016

前平博充, 川崎誠康, 小川雅生, 今井敦夫, 水村直人, 山本堪介, 豊田 翔, 亀山雅男
腹腔鏡下に切除した虫垂結石を伴った急性虫垂炎の1例
日本外科系連合学会誌 41(5): 781-785, 2016

森 治樹(大垣市民病院 外科), 金岡祐次, 前田敦行, 高山祐一, 深見保之, 尾上俊介
腹腔鏡下膵体尾部切除を施行したグルカゴン産生成成分を伴う膵インスリノーマの1例
膵臓 31(2): 145-149, 2016

森 治樹(大垣市民病院 外科), 金岡祐次, 前田敦行, 高山祐一, 深見保之, 尾上俊介
イマチニブ投与中に2回 の緊急開腹止血術を行った胃GIST腹膜播種破裂の1例
日本臨床外科学会雑誌 77(5): 1083-1087, 2016

園田寛道

大腸がんの早期発見、治療等について～滋賀医科大学における先端治療～
大津市医師会誌 40N(1): 16-1, 2017

生田大二, 西村彰一, 園田寛道, 清水智治, 渡邊信介, 谷 眞至
腹腔鏡下大腸癌手術に日本内視鏡外科学会技術認定医の指導が及ぼす影響
滋賀医大誌 30(1): 18-21, 2017

植木智之, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 生田大二, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 山口 剛, 谷 眞至
腹腔鏡手術を施行した直腸S状部子宮内膜症の1例
日本外科系連合学会誌 42(1), 78-84, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

- Murata S, Kaida S, Kodama H, Yamamoto H, Yamaguchi T, Ohtake R, Tani M.
A propensity-matched analysis comparing hepatic recurrence after curative gastrectomy followed by adjuvant HIPEC to surgery alone for advanced gastric cancer. American Society of Clinical Oncology(ASCO) Annual Meeting.
Macormick Palace, 2016, Chicago, IL, USA Chicago
- Shimizu T, Obata T, Sonoda H, Miyake T, Akabori H, Tabata T, Eguchi Y, Endo Y, Tani T, Tani M.
DIAGNOSTIC POTENTIAL OF NOVEL ENDOTOXIN DETECTION METHOD FOR SEPSIS AND SEPTIC SHOCK.
The 8th Congress of The International Federation of Shock Societies, 2016, Tokyo
- Naka S, Yamada A, Tani S, Murakami K, Tokuda J, Hata N, Morikawa S, Tani T.
MR Image Guided Surgical System with MR Compatible High Definition Flexible Endoscope—Initial Animal Study—.
Interventional MRI Symposium, 2016, Baltimore
- Naka S, Dang TK, Tani S, Yamada A, Murakami K, Tani M, Tani T.
Initial Assessment of Microwave Scissors in an Animal Model.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Murata S, Yamaguchi Y, Kaida S, Takebayashi K, Akabori H, Iida H, Sonoda H, Miyake T, Shimizu T, Yamamoto H, Tani M.
Adjuvant Hyperthermic Intraperitoneal Chemotherapy(HIPEC)Prevents Hepatic Recurrence after Curative Gastrectomy for Advanced Gastric Cancer.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Mori T, Tomida K, Kitamura M, Sakai S, Akabori H, Kawai Y, Yamaguchi T, Sonoda H, Shimizu T, Tani M.
Magnetic resonance imaging shrinkage patterns following neoadjuvant chemotherapy for breast carcinomas with an emphasis on the radiopathological correlations.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Sonoda H, Shimizu T, Miyake T, Ueki T, Ohta H, Takebayashi K, Iida H, Kaida S, Akabori H, Yamaguchi T, Tani M.
Is oxaliplatin-containing adjuvant chemotherapy necessary for Japanese stage IIIb patients?
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Miyake T, Sonoda H, Ueki T, Kaida S, Iida H, Akabori H, Ohta H, Mekata E, Endo Y, Tani M.
The Clinical Implication of Procalcitonin In Colorectal Cancer.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Shimizu T, Obata T, Sonoda H, Miyake T, Akabori H, Tabata T, Eguchi Y, Kaida S, Yamaguchi T, Iida H, Tani M.
Diagnostic significance of endotoxin scattering photometry(ESP)for sepsis and septic shock following emergency gastrointestinal surgery.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Iida H, Tani M, Akabori H, Maehira H, Kitamura N, Sonoda H, Miyake T, Kaida S, Shimizu T, Shiomi H, Naka S.
Prediction of Pancreas Fistula after Pancreatoduodenectomy by using CT imaging.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto
- Sakai S, Kato H, Kaida S, Miyake T, Iida H, Akabori H, Yamaguchi T, Sonoda H, Mori T, Shimizu T, Tani M.
Successful Management of a Large Lingual Foregut Cyst with an Ex Utero Intrapartum Procedure(EXIT).
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Sakai S, Kato H, Kubota Y, Tomida K, Kawai Y, Mori T, Umeda T, Shimizu T, Tani M.
Successfully management of a large lingual foregut duplication cyst with an ex utero intrapartum procedure.
The 49th Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons, 2016, Koloa, Hawaii

Takebayashi K, Murata S, Kaida S, Yamaguchi T, Miyake T, Ueki T, Sonoda H, Iida H, Shimizu T, Tani M.
Surgery-induced peritoneal cancer cells in gastric cancer patients.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Kaida S, Yamaguchi T, Ohtake R, Takebayashi K, Murata S, Miyake T, Iida H, Sonoda H, Shimizu T, Naka S, Tani M.
A trial for classification of the shape of remnant stomach after Billroth-I(B-I) reconstruction following distal gastrectomy for gastric cancer and long term nutritional evaluation.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Akabori H, Kojima K, Mobley AJ, Grizzle EW, Bland IK, Chaudry HI.
Estrogen modulates cellular prosurvival pathway in the hypothalamus following traumahemorrhage.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Yamamoto H, Murata S, Kaida S, Yamaguchi T, Tani M.
Presence of cancer cells in periarterial tissue from patients with advanced gastric cancer.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Mori T, Aburagi J, Terada T, Tomida K, Kato H, Sakai S, Miyake T, Kaida S, Iida H, Akabori H, Yamaguchi T, Sonoda H, Shimizu T, Tani M.
Tendency of inguinal hernia treatment in Shiga prefecture over the past 6 years.
The 12th International Congress of the Asia Pacific Hernia Society, 2016, Tokyo

Murata S, Kaida S, Kodama H, Yamaguchi T, Takebayashi K, Ohtake R, Yamamoto H, Tani M.
Intraoperative Adjuvant HIPEC Prevents Hepatic Recurrence As Well As Peritoneal Recurrence After Curative Gastrectomy For An Advanced Gastric Cancer.
10th International Congress on Peritoneal Surface Malignancies, 2016, Washington DC

Iida H, Akabori H, Kitamura N, Mori H, Maehira H, Naka S, Tani M.
Significance of serum procalcitonin after pancreaticoduodenectomy as early prediction of postoperative infectious complications.
Kobe University Graduate School of Medicine, 2017, Kobe

Mori H, Iida H, Akahori H, Kitamura N, Maehira H, Naka S, Tani M.
Significance of muscle mass decreasing on prognosis after pancreatic cancer surgery.
Kobe University Graduate School of Medicine, 2017, Kobe

Murata S, Kodama H, Kaida S, Yamaguchi T, Takebayashi K, Ohtake R, Yamamoto H, Tani M.
Survival benefit of patients with adjuvant HIPEC after curative surgery for advanced gastric cancer.
89th Annual Meeting of the Japanese Gastric Cancer Association, 2017, Hiroshima

Kodama H, Murata S, Ishida M, Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Miyake T, Takebayashi K, Kushima R, Tani M.
Prognostic impact of CD44-positive cancer stem-like cells at the invasive front of gastric cancer.
89th Annual Meeting of the Japanese Gastric Cancer Association, 2017, Hiroshima

〈全国学会・地方会〉

山口 剛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

森 毅, 富田 香, 加藤久尚, 坂井幸子, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎, 北村直美, 河合由紀, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 梅田朋子, 仲 成幸, 谷 眞至
術前非浸潤性乳管癌と診断した症例におけるセンチネルリンパ節生検の検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

山本 寛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
肥満患者に対する消化管手術のマネージメントと血中アディポネクチン測定: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

大竹玲子, 山口 剛, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
高度肥満症に対する腹腔鏡下胃袖状切除術における術前減量と糖尿病寛解に関する検討: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 谷 眞至
腹膜播種を伴う原発性大腸癌に対する術中温熱化学療法の有効性についての検討
食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 三宅 亨, 村田 聡, 山本 寛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌に対する幽門側胃切除術Billroth I法再建後の残胃形態分類の試みと縫合不全との関連性についての検討: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

植木智之, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 赤堀浩也, 谷 眞至
当院において治療した大腸癌Stage IV M1a・M1b症例の病理組織学的因子・予後の検討: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

油木純一, 村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 横井俊浩, 新田信人, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌腹膜播種性転移に対する, 髄腔内化学療法の経験: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

村田 聡, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 仲 成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 三宅 亨, 児玉泰一, 油木純一, 新田信人, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 梅田朋子, 森 毅, 河合由紀, 竹林克士, 谷 眞至
消化器癌治療手術後の再発メカニズムと再発予防に関する研究: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

塩見尚礼, Hoang Dinh Tuy, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 仲 成幸, 谷 徹, 谷 眞至
Kol43によるABCG2の阻害が大腸癌細胞におけるイリノテカンの効果を増強する: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

村上耕一郎, 仲 成幸, 山田篤史, 赤堀浩也, 北村直美, 三宅 亨, 貝田佐知子, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 清水智治, 谷 徹, 谷 眞至
レイトレース法に基づく3D標的シミュレータの肝癌症例への使用経験: 食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

清水智治, 仲成幸, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷眞至, 山田篤史, 谷徹

携帯型マイクロ波エネルギーデバイスと抗焦げ付き表面加工の開発：食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

梅田朋子, 石田光明, 森毅, 河合由紀, 村田聡, 児玉泰一, 坂井幸子, 富田香, 山口剛, 園田寛道, 赤堀浩也, 三宅亨, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至

Invasive micropapillary carcinoma(IMPC)(混合型)におけるCD44s, CD44v6, v9の発現—リンパ節転移の有無に関連する統報—：食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

赤堀浩也, 仲成幸, 村上耕一郎, 水野文, 前平博充, 北村直美, 塩見尚礼, 新田信人, 園田寛道, 山口剛, 清水智治, 谷眞至

膵頭十二指腸切除術における周術期血糖値と術後経過：食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

北村直美, 仲成幸, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 新田信人, 油木純一, 貝田佐知子, 三宅亨, 太田裕之, 園田寛道, 山口剛, 清水智治, 村田聡, 山本寛, 谷眞至, 田畑貴久, 松下美季子, 江口豊

当院における鈍的肝損傷の検討：食道癌のFP療法に伴う急性腎不全と糖尿病・高血圧等に関する検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

園田寛道

術前化学療法と経肛門的腹腔鏡手術(TAMIS)により臓器温存手術を行った前立腺浸潤が疑われた直腸GISTの1例

第70回 手術手技研究会, 2016年5月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅亨, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口剛, 仲成幸, 谷眞至

術前化学療法後に機能温存手術を施行した直腸癌局所再発の1例

第26回 骨盤外科機能温存研究会, 2016年5月, 東京

坂井幸子, 加藤久尚, 久保田良浩, 森毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷眞至

当院における新生児期消化管穿孔症例についての検討

第53回 日本小児外科学会学術集会, 2016年5月, 福岡

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 森毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷眞至

当院にてプロプラノロール療法を行った乳幼児血管腫症例の検討

第53回 日本小児外科学会学術集会, 2016年5月, 福岡

谷眞至

基本的手術手技に学ぶ挑戦的な膵切除術を目指してBasic operation hand skill for advanced pancreatectomy

第28回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2016年6月, 大阪

仲成幸

外科治療領域での最新医療機器が未来を拓く

第28回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2016年6月, 大阪

仲成幸, グエンビン, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 村田聡, 寺本和雄, 小笠原一誠, 谷徹, 谷眞至

肝切除周術期におけるTransforming Growth Factor b1 吸着療法による肝癌再発抑制効果の検討

第28回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2016年6月, 大阪

赤堀浩也, 仲成幸, 村上耕一郎, 前平博充, 塩見尚礼, 谷眞至

胆管原発リンパ上皮腫様癌の2例

第28回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2016年6月, 大阪

村上耕一郎, 赤堀浩也, 仲成幸, 前平博充, 塩見尚礼, 谷眞至

肝切除術後のSSI予防における皮下ドレーンの必要性

第28回 日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2016年6月, 大阪

森毅, 北村美奈, 富田香, 加藤久尚, 坂井幸子, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅亨, 村上耕一郎, 北村直美,

河合由紀, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口剛, 園田寛道, 清水智治, 梅田朋子, 仲成幸, 谷眞至

リンパ行性転移が示唆されたエクリン汗孔癌乳房転移の1例

第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

山口剛, 貝田佐知子, 村田聡, 大竹玲子, 山本寛, 竹林克士, 油木純一, 三宅亨, 植木智之, 北村直美,

河合由紀, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森毅, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至

CY1またはP1Stage IV胃癌に腹腔内温熱化学療法(HIPEC)を行い長期生存を得られている2例

第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

貝田佐知子, 山口剛, 村田聡, 大竹玲子, 山本寛, 竹林克士, 油木純一, 三宅亨, 植木智之, 北村直美,

河合由紀, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森毅, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至

化学放射線療法後サルベージ手術でpCRと診断し初回治療後5年無再発の進行食道癌の1例

第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

大竹玲子, 山口剛, 村田聡, 貝田佐知子, 山本寛, 竹林克士, 三宅亨, 植木智之, 北村直美, 河合由紀,

赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 森毅, 清水智治, 仲成幸, 馬場重樹, 辻川知之, 安藤朗, 谷眞至

神経線維腫症1型に伴う小腸多発GISTの外科的治療後, 長期に経過観察できている3例

第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅亨, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 山口剛, 貝田佐知子,

竹林克士, 村田聡, 山本寛, 赤堀浩也, 飯田洋也, 仲成幸, 谷眞至

腹膜播種再発の高リスク因子を有する大腸癌に対する術中温熱化学療法の有効性の検討

第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

清水智治, 園田寛道, 三宅亨, 植木智之, 山口剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 谷眞至

大腸穿孔に対するPMX治療の導入基準に関する検討

第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 三宅亨, 目片英治, 遠藤義裕, 谷眞至

当科における進行直腸癌に対する治療戦略—術前化学療法の有用性

第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

山口剛, 貝田佐知子, 山本寛, 大竹玲子, 村田聡, 竹林克士, 植木智之, 三宅亨, 北村直美, 赤堀浩也,

園田寛道, 森毅, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至

十二指腸潰瘍穿孔の治療と初診時腹部CTにおける腹水評価の検討

第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

貝田佐知子, 山口剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田聡, 山本寛, 栗原美香, 植木智之, 三宅亨, 赤堀浩也, 森毅,

園田寛道, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至

腹腔鏡下スリーブ状胃切除術後2型糖尿病が完全寛解した1例

第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

大竹玲子, 山口剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田聡, 山本寛, 園田寛道, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至

Stage IV胃癌化学療法中の腫瘍出血に対し動脈塞栓術を施行した3例

第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

三宅亨, 清水智治, 植木智之, 太田裕之, 山口剛, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 園田寛道, 谷眞至

当科における左側閉塞性大腸癌に対する治療成績の検討

第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

飯田洋也, 海堀昌樹, 廣川文鋭, 田中肖吾, 和田浩志, 中居卓也, 江口英利, 林道廣, 久保正二
肝切除術後の腹壁癒痕ヘルニアに対する危険因子の検討
第41回 日本外科系連合学会学術集会, 2016年6月, 大阪

生田大二, 三宅亨, 審良静男, 谷眞至
2本鎖RNAであるPoly I:CはCD8 α 陽性樹状細胞を介してNK細胞を活性化し, 抗腫瘍効果を増強する
第25回 日本癌病態治療研究会, 2016年6月, 千葉

貝田佐知子, 山口剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田聡, 山本寛, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 赤堀浩也,
園田寛道, 森毅, 清水智治, 仲成幸, 谷眞至
食道損傷3例の経験
第109回 滋賀県外科医会, 2016年6月, 滋賀

清水智治, 遠藤善裕, 服部聖子, 木浦由梨, 長谷川千晶, 森井博朗, 千葉幹夫, 森田幸代, 醍醐弥太郎
切除不能再発膀胱癌の化学療法後に発症した難治性膀胱瘻に伴う皮膚炎びらんに対して陰圧閉鎖療法が著効した1症例
第21回 日本緩和医療学会学術大会, 2016年6月, 京都

河合由紀, 石田光明, 森毅, 富田香, 北村美奈, 糸井尚子, 北村直美, 田中彰恵, 坂井幸子, 村上耕一郎,
赤堀浩也, 太田裕之, 山口剛, 梅田朋子, 清水智治, 森谷鈴子, 村田聡, 九嶋亮治, 谷眞至
乳腺Encapsulated papillary carcinomaの臨床病理学的検討
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

北村美奈, 富田香, 坂井幸子, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 三宅亨, 北村直美, 河合由紀, 赤堀浩也, 田中彰恵,
太田浩之, 山口剛, 園田寛道, 森毅, 清水智治, 梅田朋子, 谷眞至
当院で経験した乳腺アポクリン癌15例の臨床病理学的検討
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

梅田朋子, 石田光明, 森毅, 河合由紀, 村田聡, 糸井尚子, 坂井幸子, 加藤久尚, 田中彰恵, 北村直美,
北村美奈, 村上耕一郎, 三宅亨, 園田寛道, 植木智之, 貝田佐知子, 清水智治, 森谷鈴子, 九嶋亮治, 谷眞至
乳腺浸潤性微小乳頭癌における原発巣と転移巣でのCD44s, CD44v6, CD44v9発現の免疫組織化学的比較
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

田中彰恵, 山田篤史, 梅田朋子, 富田香, 北村美奈, 河合由紀, 金子智亜紀, 清水智治, 村上耕一郎, 貝田佐知子,
植木智之, 糸井尚子, 北村直美, 園田寛道, 三宅亨, 赤堀浩也, 太田裕之, 大竹玲子, 森毅, 谷眞至
乳房MRI検出病変のSecond look USにおける検出予測範囲の検証
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

富田香, 石田光明, 梅田朋子, 北村美奈, 坂井幸子, 河合由紀, 糸井尚子, 北村直美, 田中彰恵, 貝田佐知子,
村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 山口剛, 森毅, 清水智治, 森谷鈴子, 九嶋亮治, 谷眞至
乳癌術前化学療法後の縮小パターンについての画像病理学的検討
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

森毅, 北村美奈, 富田香, 坂井幸子, 田中彰恵, 三宅亨, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 北村直美,
河合由紀, 太田裕之, 山口剛, 園田寛道, 清水智治, 村田聡, 梅田朋子, 谷眞至
当院におけるセンチネルリンパ節転移陽性例の検討
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

糸井尚子, 梅田朋子, 石田光明, 森毅, 村田聡, 河合由紀, 徳田彩, 北村美奈, 富田香, 田中彰恵, 村上耕一郎,
北村直美, 坂井幸子, 大竹玲子, 貝田佐和子, 清水智治, 森谷鈴子, 九嶋亮治, 花澤一芳, 谷眞至
術前化学療法施行による腫瘍内リンパ球浸潤の変化とトラスツマブ療法の関連
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

北村直美, 河合由紀, 富田 香, 北村美奈, 坂井幸子, 貝田佐知子, 植木智之, 村上耕一郎, 糸井尚子, 赤堀浩也, 太田裕之, 田中彰恵, 園田寛道, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至, 森谷鈴子, 石田光明, 九嶋亮治
多彩な組織像を示し乳癌卵巣転移の診断に難渋した1例
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
肝切除における, アシアロ-3D-Fusionシミュレーションを用いた機能的予後得点式の有用性
第11回 肝癌治療シミュレーション研究会, 2016年6月, 大阪

赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 油木純一, 寺田好孝, 大竹玲子, 竹林克士, 植木智之, 三宅 亨, 貝田佐知子, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 仲 成幸, 稲富 理, 馬場重樹, 安藤 朗, 九嶋亮治, 谷 眞至
当院での胆膵手術症例における術前細胞診・組織診の現状
第77回 滋賀消化器研究会, 2016年6月, 大津

山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 小幡 徹, 卯木 智, 前川 聡, 門脇 真, 古川 顕, 仲 成幸, 谷 眞至
スリーブ状胃切除術後の糖尿病改善機序におけるメタボリックエンドトキセミアの関与
第34回 日本肥満症治療学会学術集会, 2016年7月, 東京

大竹玲子, 山口 剛, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 清水智治, 大脇成広, 清水猛史, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における遊離空腸再建術の検討
第70回 日本食道学会学術集会, 2016年7月, 東京

山口 剛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 伴 宏充, 安藤 朗, 石田光明, 九嶋亮治, 谷 眞至
AFP 産生食道癌の1 例
第70回 日本食道学会学術集会, 2016年7月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 九嶋亮治, 大塚武人, 安藤 朗, 神明英明, 谷 眞至
食道fibrovascular polypに対し集学的治療を行った1例
第70回 日本食道学会学術集会, 2016年7月, 東京

竹林克士, 坪佐恭宏, 新原正大, 坊岡英祐, 島田理子
頸部食道癌における領域リンパ節と病期分類の妥当性
第70回 日本食道学会学術集会, 2016年7月, 東京

竹林克士, 坪佐恭宏, 新原正大, 坊岡英祐, 島田理子
ルビエールリンパ節転移をきたした頸部食道癌の4例
第70回 日本食道学会学術集会, 2016年7月, 東京

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 山本 寛, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
The clinical significance of procalcitonin and microbial factors following gastrointestinal surgery
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

北村直美, 清水智治, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 仲 成幸, 谷 眞至
緊急手術を施行したイレウス症例の検討
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 井上明星, 古川 顕, 門脇 真, 小幡 徹, 谷 眞至
大建中湯による腸管運動亢進と血中エンドトキシン値低下—メタボリック症候群に対する新規治療戦略の可能性—
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
CD44 陽性癌幹細胞の胃癌原発巣における局在と臨床的意義について
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 三宅 亨, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
原発性胃癌に対する術後抗凝固療法の検討—フォンダバリヌクスとエノキサパリンの比較—
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

油木純一, 村田 聡, 貝田佐知子, 横井俊宏, 山口 剛, 山本 寛, 森 毅, 清水智治, 三宅 亨, 谷 眞至
胃癌の髄膜播種における髄腔内化学療法の経験
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

村上耕一郎, 仲 成幸, 徳田淳一, 山田篤史, 赤堀浩也, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 谷 徹, 谷 眞至
肝臓局所療法における3D治療誘導システムの導入
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

仲 成幸, 村上耕一郎, 山田篤史, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 片岡一則, 森川茂廣, 谷 徹, 谷 眞至
Development of MR-NOTES system using real-time MRI navi-gation and nano-micelle contrast media,
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 井上明星, 古川 顕, 門脇 真, 小幡 徹, 谷 眞至
Changes of bacterial flora, circulating endotoxin level and in-testinal motility after LSG
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

森 毅, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
What is the advantage of anterior approach to inguinal hernia repair for general surgeon?
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

山口 剛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
Laparoscopic sleeve gastrectomy の減量効果とABCD スコアを用いた2型糖尿病改善効果の検討
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

赤堀浩也, 仲 成幸, 村上耕一郎, 油木純一, 新田信人, 前平博充, 北村直美, 塩見尚礼, 清水智治, 谷 眞至
肝切除術における周術期血糖値と術後経過
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 太田裕之, 清水智治, 貝田佐知子, 山口 剛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 谷 眞至
大腸癌手術症例における血中プロカルシトニンの意義
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷 眞至
消化器癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

金尾 亮
腹腔鏡補助下手術を行ったシートベルト損傷による小腸穿孔の1例
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

大岡直哉
状結腸に発症した異所性子宮内膜症に対して腹腔鏡下結腸切除術を施行した1例
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

伊藤貴優
上腸間膜動脈瘤破裂による出血性ショックに対し血管内治療を行い, 手術を回避した1例
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

高橋昂佑
手術的に切除し得た後腹膜未分化多形肉腫の1例
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
Stage II-III大腸癌におけるNDの意義
第85回 大腸癌研究会, 2016年7月, 大阪

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 園田文乃, 稲富 理, 河合由紀, 谷 眞至
再発直腸癌に対してセツキシマブ単剤治療中に発症した腸管気腫症の1例
第14回 臨床腫瘍学会, 2016年7月, 京都

園田寛道
開腹手術の経験を腹腔鏡手術に活かす～技術認定取得から先端手術の導入まで～
京滋奈和若手大腸外科医のためのビデオクリニック, 2017年7月, 京都

飯田洋也, 赤堀浩也, 前平博充, 村上耕一郎, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至
CT画像から見た臍頭十二指腸切除後, 臍液ろうの危険因子の検討
第43回 日本臍切研究会, 2016年8月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道,
清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃粘膜下腫瘍に対し腹腔鏡・内視鏡合同胃局所切除を施行した5例の検討
第29回 近畿内視鏡外科研究会, 2016年8月, 京都

加藤久尚, 坂井幸子, 久保田良浩, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至
卵巣腫瘍が疑われた巨大尿管嚢胞の1例
第52回 日本小児外科学会近畿地方会, 2016年8月, 大阪

北村直美, 清水智治, 大竹玲子, 山口 剛, 谷 眞至, 田畑貴久, 江口 豊
当院における非閉塞性腸管虚血,
第8回 日本Acute Care Surgery学会学術集会, 2016年9月, 大阪

清水智治, 仲 成幸, 山口 剛, 北村直美, 大竹玲子, 谷 眞至, 谷 徹
当院における非閉塞性腸管虚血
第8回 日本Acute Care Surgery学会学術集会, 2016年9月, 大阪

村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 河合由紀, 醍醐弥太郎, 谷 眞至
HIPECの殺細胞メカニズムについて
第33回 日本ハイパーサーミア学会, 2016年9月, つくば

飯田洋也, 仲 成幸, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 貝田佐知子, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨,
塩見尚礼, 谷 眞至
腹腔鏡の視野の優位性を用い、グリソン処理を考する亜区域以下の系統的腹腔鏡下肝切除
第29回 近畿内視鏡外科研究会, 2016年9月, 京都

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 生田大二, 徳田 彩, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当科における腹腔鏡下括約筋間直腸切除におけるTAMISの導入
第29回 近畿内視鏡外科研究会, 2016年9月, 京都

飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
肝切除における, アシアロ-3D-Fusionシミュレーションを用いた機能的予後得点式の有用性
第11回 肝癌治療シミュレーション研究会, 2016年10月, 大阪

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, Ngoc Pham Minh, 三宅 亨, 梅田朋子, 北村直美, 河合由紀, 山口 剛,
貝田佐知子, 竹林克士, 山本 寛, 谷 眞至
胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の存在と臨床的意義
第75回 日本癌学会学術総会, 2016年10月, 横浜

貝田佐知子, 仲成幸, Vinh Nguyen, Cabral Horacio, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 山口剛, 園田寛道, 清水智治, 片岡一則, 谷徹, 谷眞至
抗癌剤・MRI造影剤内包高分子ミセルによるvisible-DDSの開発
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

児玉泰一, 村田聡, 石田光明, Ngoc Pham Minh, 三宅亨, 梅田朋子, 北村直美, 河合由紀, 山口剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 山本寛, 谷眞至
胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の存在と臨床的意義
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

三宅亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷眞至
当院における結腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

村田聡, 貝田佐知子, 児玉泰一, 山本寛, 山口剛, 大竹玲子, 清水智治, 赤堀浩也, 三宅亨, 園田寛道, 北村直美, 森毅, 河合由紀, 仲成幸, 谷眞至
進行胃癌治療切除時のAdjuvant HIPECによる肝転移抑制効果
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

赤堀浩也, 村上耕一郎, 三宅亨, 北村直美, 河合由紀, 山口剛, 森毅, 園田寛道, 清水智治, 村田聡, 仲成幸, 谷眞至
術後仮性動脈瘤を認めた術前化学療法後に隣全摘出術を施行した局所進行腺癌の1例
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅亨, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 山口剛, 森毅, 目片英治, 遠藤善裕, 谷眞至
直腸癌局所再発に対する術前化学療法の取り組み
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

貝田佐知子, 山口剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田聡, 寺田好孝, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 赤堀浩也
腹腔鏡下幽門側胃切除術における術後早期肝障害に関する検討
第46回 胃外科・術後障害研究会, 2016年10月, 米子

飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 仲成幸, 谷眞至
肝切除における, アシアロ-3D-Fusionシミュレーションを用いた機能的予後得点式の有用性
第11回 肝癌治療シミュレーション研究会, 2016年10月, 大阪

児玉泰一, 村田聡, 石田光明, Ngoc Pham Minh, 三宅亨, 梅田朋子, 北村直美, 河合由紀, 山口剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 山本寛, 谷眞至
胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の存在と臨床的意義
第75回 日本癌学会学術総会, 2016年10月, 横浜

貝田佐知子, 仲成幸, Vinh Nguyen, Cabral Horacio, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 山口剛, 園田寛道, 清水智治, 片岡一則, 谷徹, 谷眞至
抗癌剤・MRI造影剤内包高分子ミセルによるvisible-DDSの開発
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

児玉泰一, 村田聡, 石田光明, Ngoc Pham Minh, 三宅亨, 梅田朋子, 北村直美, 河合由紀, 山口剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 山本寛, 谷眞至
癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の存在と臨床的意義
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

三宅亨, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷眞至
当院における結腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

村田 聡, 貝田佐知子, 児玉泰一, 山本 寛, 山口 剛, 大竹玲子, 清水智治, 赤堀浩也, 三宅 亨, 園田寛道,
北村直美, 森 毅, 河合由紀, 仲 成幸, 谷 眞至
進行胃癌治癒切除時のAdjuvant HIPECによる肝転移抑制効果
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

赤堀浩也, 村上耕一郎, 三宅 亨, 北村直美, 河合由紀, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸,
谷 眞至
術後仮性動脈瘤を認めた術前化学療法後に膝全摘出術を施行した局所進行膝癌の1例
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 竹林克士, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 山口 剛, 森 毅,
目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
直腸癌局所再発に対する術前化学療法の取り組み
第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 寺田好孝, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也
腹腔鏡下幽門側胃切除術における術後早期肝障害に関する検討
第46回 胃外科・術後障害研究会, 2016年10月, 米子

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 吉岡豊一, 北村直美, 田畑貴久, 山根哲信, 江口 豊, 遠藤善裕, 谷 眞至
大腸穿孔症例での急性血液浄化療法の役割
第27回 日本急性血液浄化学会学術集会, 2016年10月, 東京

森 毅, 油木純一, 清水智治, 東田宏明, 丹後泰久, 安田誠一, 一瀬真澄, 西村彰一, 八木俊和, 内藤弘之,
原田英樹, 平野正満, 神田雄史, 来見良誠, 谷 眞至
滋賀ヘルニア研究会参加施設における成人鼠径ヘルニア手術症例の検討
第14回 日本ヘルニア学会学術集会, 2016年10月, 東京

油木純一, 森 毅, 坂井幸子, 加藤久尚, 寺田好孝, 富田 香, 河合由紀, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
ヘルニア嚢内にVPシャントチューブが迷入した1例
第14回 日本ヘルニア学会学術集会, 2016年10月, 東京

山本 寛, 門脇 真, 谷 眞至
スリーブ状胃切除術によるメタボリックエンドトキセミアの改善
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

山本 寛, 村田 聡, 谷 眞至
胃癌再建法と術後メタボリックプロファイルの検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 竹林克士, 油木純一, 新田信人, 植木智之, 三宅 亨,
坂井幸子, 北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
十二指腸潰瘍穿孔の保存的治療の限界に関する後ろ向き研究
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子,
大竹玲子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 仲 成幸, 谷 眞至
関連病院へのアンケート調査による胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

三宅 亨, 清水智治, 植木智之, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 谷 眞至
当院における潰瘍性大腸炎手術症例の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 飯田洋也, 北村直美, 山本 寛, 村田 聡, 仲 成幸, 馬場重樹, 安藤 朗, 谷 眞至
炎症性腸疾患におけるcolitic cancer・dysplasia合併症例の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

植木智之, 清水智治, 三宅 亨, 太田裕之, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における大腸癌Stage IV M1a・M1b症例の臨床病理組織学的因子の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 竹林克士, 飯田洋也, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 谷 眞至
組織学的リンパ節転移陽性下部直腸癌症例の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

仲 成幸, 谷 徹, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 三宅 亨, 貝田佐知子, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 山本 寛, 谷 眞至
マイクロ波凝固切開装置による肝切除術の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

大竹玲子, 山口 剛, 山本 寛, 貝田佐知子, 村田 聡, 竹林克士, 油木純一, 新田信人, 植木智之, 三宅 亨, 北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道, 森 毅, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
ABCD scoreとDSSを用いた腹腔鏡下袖状胃切除後の2型糖尿病改善効果予測の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 九嶋亮治, 谷 眞至
進行胃癌に対する術前化学療法症例の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

村田 聡, 貝田佐知子, 山本 寛, 山口 剛, 児玉泰一, 大竹玲子, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 赤堀浩也, 北村直美, 村上耕一郎, 三宅 亨, 植木智之, 油木純一, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔内温熱化学療法(HIPEC)による胃癌治療手術後の肝再発抑制効果
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

北村直美, 清水智治, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 山口 剛, 山本 寛, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至, 田畑貴久, 江口 豊
非閉塞性腸管虚血の検討
第24回 日本消化器関連学会週間(JDDW2016), 2016年11月, 神戸

清水智治, 仲 成幸, 三宅 亨, 北村直美, 山根哲信, 藤野和典, 田畑貴久, 辻田靖之, 江口 豊, 谷 眞至, 谷 徹
携帯型マイクロ波手術機器の開発
第44回 日本救急医学会総会, 2016年11月, 東京

北村直美, 山根哲信, 藤野和典, 田畑貴久, 辻田靖之, 江口 豊, 清水智治, 三宅 亨, 谷 眞至
非閉塞性腸管虚血の予後予測スコアの検討
第44回 日本救急医学会総会, 2016年11月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における直腸癌に対する腹腔鏡下直腸固定術の検討
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 徹, 谷 眞至
当科における低位直腸癌に対するTAMIS LAP ISR の導入
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

植木智之, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
腹腔鏡手術にて治療し得たクローン病に合併した横行結腸膀胱瘻の1例
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 生田大二, 目片英治, 太田裕之, 生内一夫, 遠藤善裕, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎重症度の指標としての新しいエンドトキシン測定法の可能性
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

太田裕之, 水黒知行, 橋本京三, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 生田大二, 油木純一, 遠藤善裕,
若林正人, 生内一夫, 小島正継, 目片英治, 谷 眞至
分娩外傷による直腸腔瘻に対して会陰体修復術を施行した2例
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

生内一夫, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 生田大二, 谷 眞至, 目片英治, 太田裕之, 遠藤善裕
回盲弁より脱出して発見された小腸癌の1例
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

瀬古安由美, 永谷幸裕子, 大谷秀司, 村上陽子, 井上明星, 北原 均, 新田哲久, 村田喜代史, 村田 聡
進行胃癌の術前FDG集積と病理組織の対比検討
第56回 日本核医学会学術総会, 2016年11月, 名古屋

飯田洋也

腹腔鏡下肝葉切除, 肝区域切除の新規導入経験—いかにして安全に脈管処理を行い, 切離面の止血を行うか—
第10回 肝臓内視鏡外科研究会, 2016年11月, 東京

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
腹部外科手術周術期アディポネクチン測定の意義—手術翌日に術後感染症のハイリスク患者を抽出する—
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
メタボリックサージェリーの手術適応について
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
炎症性腸疾患に対する腹腔鏡手術の有用性と限界
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

飯田洋也, 仲 成幸, 赤堀浩也, 前平博充, 塩見尚礼, 北村直美, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛,
竹林克士, 谷 眞至
腹腔鏡の視野の優位性を用いた亜区域以下の系統的腹腔鏡下肝切除の経験
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

赤堀浩也, 谷 眞至, 飯田洋也, 前平博充, 塩見尚礼, 北村直美, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 仲 成幸
当科における脾全摘術の検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 太田裕之, 目片英治, 貝田佐知子, 竹林克士, 山口 剛, 飯田洋也,
赤堀浩也, 油木純一, 寺田好孝, 遠藤善裕, 谷 眞至
人工肛門閉鎖術に対する予防的局所陰圧閉鎖療法(NPWT)の有効性
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

仲 成幸, 村上耕一郎, 飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 竹林克士, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 山口 剛,
園田寛道, 清水智治, 山本 寛, 谷 眞至, 谷 徹
新規マイクロ波手術デバイスによる肝胆脾手術手技の基礎的検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

油木純一, 森 毅, 富田 香, 加藤久尚, 竹林克士, 坂井幸子, 三宅 亨, 貝田佐知子, 飯田洋也, 河合由紀,
北村直美, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
当院におけるCT による鼠径ヘルニア術前診断
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

北村直美, 清水智治, 貝田佐知子, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 山口 剛, 谷 眞至, 田畑貴久
非閉塞性腸管虚血の予後を予測する新たなスコアの検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

村田 聡, 児玉泰一, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 大竹玲子, 赤堀浩也, 北村直美, 清水智治,
園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌術中治療による進行胃癌の再発抑制効果
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 寺田好孝, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也,
赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡・内視鏡合同胃(十二指腸)局所切除(LECS)を施行した7例の検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 山本 寛, 三宅 亨, 植木智之, 園田寛道, 清水智治, 大竹玲子,
飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 仲 成幸, 谷 眞至
胃癌術後洗浄腹水中の癌細胞検出方法の検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

寺田好孝, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 清水智治, 山口 剛, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 飯田洋也, 竹林克士,
谷 眞至
腹腔鏡手術にて切除した腸管子宮内膜症の2例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

生田大二, 西村彰一, 向所賢一, 園田寛道, 渡邊信介, 谷 眞至
待機的虫垂切除術と虫垂粘液嚢胞腺腫の関連性の検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

植木智之, 清水智治, 三宅 亨, 園田寛道, 谷 眞至
腹腔鏡下回 盲部切除術後に再発した吻合部回 腸側の狭窄に対して腹腔鏡手術を施行したクローン病の1例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

富田 香, 油木純一, 北村美奈, 加藤久尚, 坂井幸子, 河合由紀, 森 毅, 梅田朋子, 清水智治, 谷 眞至
12歳女兒に発症した乳腺葉状腫瘍の1例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

北村美奈, 森 毅, 富田 香, 河合由紀, 坂井幸子, 竹林克士, 貝田佐知子, 三宅 亨, 赤堀浩也, 北村直美,
飯田洋也, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
乳腺扁平上皮癌の1例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

森 毅, 富田 香, 河合由紀, 坂井幸子, 清水智治, 三宅 亨, 貝田佐知子, 北村直美, 山口 剛, 園田寛道, 竹林克士,
飯田洋也, 谷 眞至
副甲状腺癌の1例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 赤堀浩也, 北村直美, 飯田洋也,
田畑貴久, 江口 豊, 太田裕之, 塩見尚礼, 谷 眞至
大腸穿孔の治療におけるSOFAスコアの意義と治療戦略
第29回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2016年11月, 東京

三宅 亨, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 飯田洋也, 貝田佐知子, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
人工肛門閉鎖術後における予防的局所陰圧閉鎖療法の使用経験
第29回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2016年11月, 東京

園田寛道

大腸がんの早期発見、治療等について～滋賀医科大学における先端治療
大津市医師会 大津市議会議員との懇談会, 2016年11月, 大津

飯田洋也, 赤堀浩也, 前平博充, 仲 成幸, 北村直美, 村上耕一郎, 清水智治, 園田寛道, 貝田佐知子, 三宅 亨,
竹林克士, 山口 剛, 谷 眞至
膵頭十二指腸切除後の感染性合併症早期予測に血清プロカルシトニン値は有用か?
第29回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2016年11月, 東京

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 飯田洋也, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
直腸癌術前化学療法が術後感染に与える影響
第29回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2016年11月, 東京

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 貝田佐知子, 飯田洋也, 竹林克士, 遠藤善裕, 馬場重樹, 安藤 朗, 谷 眞至
潰瘍性大腸炎重症度の指標としての新しいエンドトキシン測定法の可能性
第22回 日本エンドトキシン・自然免疫研究会, 2016年12月, 鹿児島

山本 寛, 大竹玲子, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
減量手術による費用対効果を検証する取り組みについて
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

塩見尚礼, 丹後泰久, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における腹腔鏡下肝膵手術の導入における問題点と対策
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年, 12月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 貝田佐知子, 飯田洋也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
進行下行結腸癌に対する腹腔鏡手術の標準化
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

飯田洋也, 仲 成幸, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 貝田佐知子, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 三宅 亨,
塩見尚礼, 谷 眞至
腹腔鏡の視野の優位性を用い, グリソン処理を先行する亜区域以下の系統的腹腔鏡下肝切除
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

山口 剛, 貝田佐知子, 山本 寛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 北村直美,
赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
肥満・糖尿病に対する内視鏡下手術の現状と展望(当院における成績)
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 飯田洋也, 赤堀浩也,
園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胃切除術における術後早期肝障害に関する検討
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

仲 成幸, 谷 総一郎, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 山田篤史, 谷 眞至, 谷 徹
腹腔鏡下肝切除術における新しいマイクロ波凝固切開デバイスの応用
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

塩見尚礼, 後藤彰彦, 高井由佳, 村上耕一郎, 太田裕之, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 清水智治, 仲成幸, 濱田泰以, 谷真至

内視鏡外科手術指導における効率的学習システムの構築～内視鏡手術シミュレーターを用いた指導から
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

北村直美, 清水智治, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 山口剛, 仲成幸, 谷真至, 田畑貴久, 藤野和典, 江口豊

当院における急性胆嚢炎に対する治療の現状
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

植木智之, 清水智治, 竹林克士, 三宅亨, 園田寛道, 太田裕之, 目片英治, 谷真至

腹腔鏡手術を施行した腸管子宮内膜症の3例
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

大竹玲子, 山口剛, 山本寛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田聡, 三宅亨, 植木智之, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲成幸, 谷真至

肥満外科死亡リスクスコア(OS-MRS)を用いた当院における腹腔鏡下肥満外科症例の検討
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

三宅亨, 園田寛道, 植木智之, 清水智治, 太田裕之, 貝田佐知子, 山口剛, 飯田洋也, 赤堀浩也, 竹林克士, 仲成幸, 谷真至

腹腔鏡補助下に切除した成人回腸重複腸管の1例
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

村上耕一郎, 仲成幸, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 赤堀洋也, 塩見尚礼, 谷真至, 谷徹

3Dシミュレーションによる腹腔鏡下肝部分切除術におけるアプローチ法決定の試み
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷真至

当科における腹腔鏡下側方リンパ節郭清術の継承
第86回 大腸癌研究会, 2017年1月, 盛岡

清水智治, 園田寛道, 三宅亨, 植木智之, 北村直美, 田畑貴久, 山根哲信, 辻田靖之, 江口豊, 遠藤善裕, 谷徹, 谷真至

大腸穿孔症例における予後因子と急性血液浄化療法の検討
第21回 エンドトキシン血症救命治療研究会, 2017年2月, 東京

飯田洋也, 谷真至, 赤堀浩也, 北村直美, 前平博充, 竹林克士, 清水智治, 貝田佐知子, 園田寛道, 山口剛, 仲成幸, 馬場重樹, 佐々木雅也

腫瘍進行度別に見た, 膵がんに対する術前サルコペニアの意義
第32回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2017年2月, 岡山

清水智治, 園田寛道, 三宅亨, 植木智之, 田畑貴久, 森治樹, 山口剛, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 江口豊, 遠藤善裕, 谷真至

大腸穿孔症例における予後予測因子の検討
第53回 日本腹部救急医学会総会, 2017年3月, 横浜

貝田佐知子, 山口剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田聡, 加藤隆之, 植木智之, 三宅亨, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲成幸, 森谷鈴子, 谷真至

外傷性脾出血後の脾真性嚢胞内への出血により発症した遅発性脾破裂の治療経験
第53回 日本腹部救急医学会総会, 2017年3月, 横浜

三宅亨, 園田寛道, 清水智治, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 赤堀浩也, 山口剛, 谷真至

保存的加療により軽快した魚骨穿通によると思われる限局性腹膜炎の2例
第53回 日本腹部救急医学会総会, 2017年3月, 横浜

竹林克士, 佐々木雅也, 松井宏樹, 飯田洋也, 貝田佐知子, 山口 剛, 赤堀浩也, 北村直美, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
脳室腹腔シヤントをもつ患者に発症した胃瘻造設部の腹壁・胃壁離開による穿孔性腹膜炎の1
第53回 日本腹部救急医学会総会, 2017年3月, 横浜

北村直美, 清水智治, 飯田洋也, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 植木智之, 三宅 亨, 園田寛道, 山口 剛, 仲 成幸, 谷 眞至, 田畑貴久, 藤野和典, 江口 豊
急性胆嚢炎に対する治療の検討
第53回 日本腹部救急医学会総会, 2017年3月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
瘻孔, 膿瘍形成を伴うクローン病手術における術後合併症の予測
第53回 日本腹部救急医学会総会, 2017年, 横浜

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 寺田好孝, 三宅 亨, 植木智之, 飯田洋也, 赤堀浩也, 園田寛道, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
胃十二指腸粘膜下腫瘍に対するLECSの有用性の検討
第89回 日本胃癌学会総会, 2017年, 広島

竹林克士, 村田 聡, 貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 三宅 亨, 植木智之, 園田寛道, 清水智治, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 眞至, 谷 眞至
胃癌における胃切除後腹腔内洗浄液の癌特異的遺伝子検出
第89回 日本胃癌学会総会, 2017年, 広島

飯田洋也, 赤堀浩也, 北村直美, 森 治樹, 仲 成幸, 谷 眞至
3cm³個以内の大腸癌肝転移に対する切除とAblation療法の比較
第19回 関西肝癌局所療法研究会, 2017年3月, 大阪

滋賀医科大学外科学講座（心臓血管外科）

【論文】

〈英文学術論文〉

Kinoshita T, Naito S, Suzuki T, Asai T.

Valve Phenotype and Risk Factors of Aortic Dilatation After Aortic Valve Replacement in Japanese Patients With Bicuspid Aortic Valve.

Circulation Journal Circ J. 80(6): 1356-61, 2016/5/25

Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Aimi Y, Asai T, Okamura T MDb.

Endothelial dysfunction of internal thoracic artery graft in patients with chronic kidney disease.

The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery 153(2): 317-324, 2016/9/23

Asai T, Suzuki T, Kinoshita T, Sakakura R, Minamidate N, Vigers P.

The direct aortic cannulation for acute type A aortic dissection.

Ann Cardiothorac Surg 5(4): 401-403, 2016

Tawa M, Kinoshita T, Asai T, Suzuki T, Imamura T, Okamura T.

Impact of type 2 diabetes on vascular reactivity to cGMP generators in human internal thoracic arteries.

Vascular Pharmacology 91: 36-41, 2017/5/14

〈和文学術論文〉

寺田真也, 田淵正樹, 山内昭彦

コイル塞栓術1年7カ月後に破裂をきたした嚢状腕頭動脈瘤の1例

胸部外科 69(11): 959-962

田淵正樹, 原田 亮, 山下暁立, 船本誠一, 橘 一俊, 宮木靖子, 高木伸之, 寺田真也, 鳥塚大介, 山内昭彦,
樋上哲哉
心拍動下冠動脈バイパス術のための新しいシャントカニューレ
胸部外科 69(12): 995-998

鈴木友彰

VI糖尿病合併症の病態・診断・治療 慢性合併症 冠動脈疾患 糖尿病に起因する冠動脈疾患の治療 coronary artery
bypass surgery for diabetic patients
日本臨床 74(2): 319-323, 2016

鈴木友彰

【最新冠動脈疾患学(上)―冠動脈疾患の最新治療戦略―】冠動脈疾患の治療 冠動脈バイパス術(CABG) CABGの適応
と特徴 CABGの合併症対策(解説/特集)
最新冠動脈疾患学(上) 74(4): 521-526

鈴木友彰, 浅井 徹

ch2. 成人心臓外科A虚血性心疾患1冠結構再建a診断と手術適応
新心臓血管外科テキスト; 74-80, 中外医学社

鹿島 裕, 石川裕彬, 鈴木壮彦, 寺田真也, 山内昭彦
高度肥満患者に対する上行大動脈人工血管置換術の経験
体外循環器技術 3(1): 32-36

木下 武, 浅井 徹

急性心筋梗塞の合併症に対する手術
ハートチームのための心臓血管外科手術 周術期管理のすべて; 398-406, メジカルビュー社, 2017

鈴木友彰

total arterial revascularizationって本当にいいの? (Pros)
ハートチームのための心臓血管外科手術 周術期管理のすべて; 423-427, メジカルビュー社, 2017

鈴木友彰, 浅井 徹

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド, 中外医学社, 2017

鈴木友彰

第1章 心臓血管外科チーム体制
滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド; 1-11, 2017

藤野 晋, 鈴木友彰

第2章 滋賀医大式心臓血管外科医療
滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド; 12-34, 2017

藤野 晋, 鈴木友彰

TOPIC1 胸骨感染, 縦隔炎手術の実際
滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド; 35-36, 2017

鈴木友彰

第4章 体外循環確立
滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド; 62-79, 2017

鈴木友彰

第5章 大動脈弁置換法
滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド; 91-111, 2017

鈴木友彰

TOPIC4 生体弁の種類 製品の構造と特性を知る：大動脈弁置換術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；112-115, 2017

坂倉玲欧

TOPIC5 PPM(Patient Prosthesis mismatch)

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；116-118, 2017

鈴木友彰

第6章 大動脈基部置換(Bentall手術)

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；119-128, 2017

鈴木友彰

TOPIC6 基部の止血について

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；129-130, 2017

鈴木友彰

第7章 大動脈基部形成(David手術)

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；131-142, 2017

鈴木友彰

TOPIC7 David手術における止血

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；143-144, 2017

木下 武

第8章 僧帽弁形成術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；145-155, 2017

鈴木友彰

TOPIC8 人工弁輪について

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；156-159, 2017

鈴木友彰

TOPIC9 連合手術 大動脈弁+僧帽弁手術の手順

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；160-161, 2017

木下 武

TOPIC10 感染性心内膜炎に対する外科手術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；162-164, 2017

坂倉玲欧

第9章 三尖弁形成術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；165-170, 2017

坂倉玲欧

TOPIC11 併施三尖弁輪縫縮はどこまで必要か

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；171, 2017

鈴木友彰

第10章 冠動脈バイパス術(Off-pump CABG)

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；172-201, 2017

鈴木友彰

TOPIC12 胸骨石灰、内胸動脈採取で胸骨の血流はどれくらい落ちるのか

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；202, 2017

鈴木友彰

TOPIC13 動脈グラフとのエビデンス

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；203-205, 2017

鈴木友彰

TOPIC14 右胃大網動脈は過小評価されている

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；206-210, 2017

鈴木友彰

第11章 心房中隔穿孔に対する右室アプローチダブルパッチ法

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；211-225, 2017

鈴木友彰

第12章 急性A型大動脈解離手術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；226-248, 2017

鈴木友彰

第13章 弓部大動脈置換術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；249-262, 2017

鈴木友彰

TOPIC15 術式をシンプルにし、冷却温度と手順を工夫することで弓部大動脈置換術は大幅に時間短縮が可能である

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；263-265, 2017

乃田浩光

第14章 循環停止を要する近位下行大動脈置換術

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；266-272, 2017

乃田浩光

TOPIC16 脊髄栄養動脈のエビデンス

滋賀医科大学心臓血管外科編 成人心臓血管外科手術スキルアップガイド；273-275, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Asai T.

External Approach for Total Arch Replacement.

24th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS) in conjunction with 9th AATS/ASCVTS Postgraduate Course, 2016/4/6-10, Taiwan

Asai T.

TBC.

24th Annual Meeting of Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS) in conjunction with 9th AATS/ASCVTS Postgraduate Course, 2016/4/6-10, Taiwan

J Lee, Kinoshita T, Suzuki T, Asai T.

Off pump CABG to tripple vessel coronary disease with low EF, Lt.subclavian artery obstruction, severe ASO and shaggy lesion of whole aorta.

16 ISMICS, 2016/6/15, Montreal

Asai T.

Surgical repair of ventricular septal rupture posts myocardial infarction.

THE 6TH NATIONAL CONGRESS OF CARDIOVASCULAR AND THORACIC SURGERY 2016 (ACTSVN 2016), 2016/6/9-11, Vietnam

Asai T.

Surgical repair of ventricular septal rupture posts myocardial infarction.

THE 6TH NATIONAL CONGRESS OF CARDIOVASCULAR AND THORACIC SURGERY 2016 (ACTSVN 2016),
2016/6/9-11, Vietnam

Kinoshita T, Tawa M, Suzuki T, Aimi Y, Asai T, Okamura T.

Contractility of the right gastroepiploic artery grafts increases at the distal portion.

EACTS 2016, 2016/10/3, Barcelona

Sakakura R.

Surgical Outcome of Acute Type A Aortic Dissection in Patients Older than 80 Years old.

ASVS2016 the 17th Congress of the Asian Society for Vascular Surgery and the 11th Asian Venous Forum,
2016/10/20-23, Singapore

Suzuki T.

Off-pump coronary artery bypass grafting with multiple skeletonized arterial conduits can improve clinical
outcome for diabetic patients.

INTERNATIONAL CORONARY CONGRESS 2016, 2016/11/11-13, India

Asai T.

Mitral Valve Repair, How I Do It?

25th Annual Meeting of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS 2017 Seoul),
2017/3/23-26, Seoul

Asai T.

CABG First Live Demo.

Ultrasonic Energy in CABG with lecture and live demos, 2017/2/23-25, Philippine

Asai T.

Use of Harmonic in CABG Tips & Tricks Benefits over Monopolar Videos Demonstrating the use of Harmonic.

Ultrasonic Energy in CABG with lecture and live demos, 2017/2/23-25, Philippine

Asai T.

Preparation for Live Demo.

Ultrasonic Energy in CABG with lecture and live demos, 2017/2/23-25, Philippine

Asai T.

Mitral Valve Repair, How I Do It?

ASCVTS2017, 2017/3/23-26, Seoul

〈全国学会・地方会・対外活動〉

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹

80歳以上の高齢者大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術の治療成績

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月14-16日, 大阪

南館直志, 坂倉玲欧, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹

多発性脳梗塞を契機として発見された活動期僧帽弁位感染性心内膜炎の1例

第199回 近畿外科学会, 2016年5月14日, 大阪

浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 南館直志, 森本政憲, 宮下史寛, 住井陽介

External SCP Introductionによる大動脈全弓部置換標準術式

第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

浅井 徹, 鈴木友彰, 乃田浩光, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 南館直志, 森本政憲, 宮下史寛, 住井陽介
脳塞栓を最小限にするExternal SCP Introductionによる大動脈全弓部置換術術式
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 森本政憲, 宮下史寛, 南館直志
EVAR 術後のtype2 endoleak に対する治療方針
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

宮下史寛, 木下 武, 森本政憲, 南館直志, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
Loeys Diets 症候群患者に発症した急速な拡大傾向を認める胸腹部大動脈瘤に対して連続する大動脈手術を
要した1例
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
85歳以上の超高齢者胸部大動脈瘤に対して開胸で大動脈瘤切除術を行いfast track recoveryを成し得た2症例
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

森本政憲, 乃田浩光, 住井陽介, 宮下史寛, 南館直志, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
当科におけるB型解離に対するTEVAR
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京
南館直志, 住井陽介, 宮下史寛, 森本正憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
高安動脈炎による上行~弓部大動脈の拡大, ARに対し, 一期的に生体弁Bentall 手術, 弓部全置換術を施行した1例
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

近藤康生, 高島範之, 鈴木友彰, 浅井 徹
開腹下腹部大動脈瘤手術におけるFrailtyを含む術前評価と術後成績の検討
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月25-27日, 東京

浅井 徹, 鈴木 友彰, 木下 武
透析患者の冠動脈疾患と弁膜症: 冠動脈バイパス術と弁手術の役割
第25回 日本腎不全外科研究会イブニングセミナー, 2016年7月8日, 京都

浅井 徹
Gemetry-oriented mitral valve reconstruction
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

鈴木友彰, 浅井 徹, 木下 武, 乃田浩光, 坂倉玲欧, 藤野 晋
最良の遠隔期成績を実現するための冠動脈バイパス標準術式を探る
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
超高齢者大動脈弁狭窄症に対して大動脈弁置換術を行いfast-track recoveryを成し得た2症例
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

宮下史寛, 藤野 晋, 森本政憲, 南館直志, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
感染性心内膜炎による僧帽弁閉鎖不全症に対する手術の1例
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

坂倉玲欧, 森本政憲, 宮下史寛, 南館直志, 藤野 晋, 乃田浩光, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
上行・弓部大動脈の高度粥状硬化を合併した僧帽弁閉鎖不全症に対する1手術例
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

鈴木友彰, 浅井 徹
温度設定と手術手順の改良で弓部全置換術は大幅に低侵襲化できる
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

藤野 晋, 鈴木友彰, 森本政憲, 宮下史寛, 南館直志, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 浅井 徹
Stanford A型急性大動脈解離に対する当科の治療戦略
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

乃田浩光, 浅井 徹, 鈴木友彰, 木下 武, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 森本政憲, 宮下史寛, 南館直志
当科における急性B型大動脈解離に対するTEVARによる成績
第59回 関西胸部外科学会, 2016年6月16-17日, 三重

森本政憲
当院におけるトルバプタン使用経験からの考察
Kyoto Water Management Conference, 2016年6月9日, 京都

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
後期高齢者に対する待機的腹部大動脈瘤開腹手術の治療成績
第79回 滋賀県循環器疾患研究会, 2016年6月18日, 草津

山本 孝, 八木典章, 松本祐一, 木村絃美, 酒井宏, 堀江稔, 森本政憲, 寺田真也, 坂倉玲欧, 木下 武, 鈴木友彰,
浅井 徹, 水野隆芳, 北川裕利
経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)を施行した2例
第79回 滋賀県循環器疾患研究会, 2016年6月18日, 草津

南館直志, 鈴木友彰, 木下 武, 寺田真也, 坂倉玲欧, 藤野 晋, 森本政憲, 住井陽介, 鉢呂康平, 浅井 徹
拡大心大血管手術を必要とした若年女性の大動脈症候群の1例
第79回 滋賀県循環器疾患研究会, 2016年6月18日, 草津

浅井 徹
ここまでわかってきた僧帽弁の病態と形成術
平成28年 富山県外科医会総会・学術講演会, 2016年6月21日, 富山

浅井 徹
胸部大動脈の低侵襲外科治療は可能か?
第132回 日本循環器学会北陸地方会, 2016年6月26日, 金沢

浅井 徹
「透析患者の冠動脈疾患と弁膜症：冠動脈バイパス術と弁手術の役割」
第25回 日本腎不全外科研究会大会, 2016年7月8日, 京都

浅井 徹
ここまでわかってきた僧帽弁の病態と形成術
第14回 Cardiovascular Surgical Live Meeting in Toyohashi, 2016年7月9日, 豊橋

鈴木友彰
大血管手術の最新知見
テルモ社員向け研修会, 2016年7月9日, 京都

木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹
Skeletonization of GEA grafts: Tips and Pitfalls
第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月14日, 福岡

近藤康生, 高島範之, 鈴木友彰, 浅井 徹
冠動脈疾患と腹部大動脈瘤を合併する症例の治療戦略
第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月14日, 福岡

南舘直志, 宮下史寛, 森本政憲, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
急性大動脈解離による左冠動脈主幹部閉塞・急性心筋梗塞に対し, PCI後に上行置換術, 冠動脈バイパス術を施行し救命し得た1例

第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月14日, 福岡

木下 武, 浅井 徹, 田和正志, 相見良成, 岡村富夫

Effect of Carperitide in Human Internal Thoracic Artery and Gastroepiploic Artery Grafts

第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月15日, 福岡

高島範之, 近藤康生, 鈴木友彰, 浅井 徹

Aorta non touch CABGにおけるin situ右胃大網動脈の役割

第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月15日, 福岡

浅井 徹

最高水準の冠動脈バイパス術を目指して

第6回 広島CVセミナー, 2016年9月10日, 広島

浅井 徹

僧帽弁形成術分野における最新の知見

Edwards Valve Seminar Advanced 2016, 2016年9月17日, 東京

坂倉玲欧, 鉢呂康平, 森本政憲, 藤野 晋, 寺田真也, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

冠動脈病変を有するASに対するsurgical AVR+CABGの成績

第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月28-30日, 岡山

浅井 徹

Mitral Valve Repair for QOL and a rest of life

第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月28-30日, 岡山

浅井 徹

複雑病変の僧帽弁閉鎖不全もMICSで可能か“con”

第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月28-30日, 岡山

鈴木友彰, 浅井 徹, 木下 武, 藤野 晋, 坂倉玲欧

低心機能奨励に対する心拍動下冠動脈バイパス術の遠隔成績

第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月28-30日, 岡山

木下 武, 田和正志, 相見良成, 浅井 徹, 岡村富夫

Vasorelaxation induced by carperitide in internal thoracic artery and right gastroepiploic artery grafts

第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月28-30日, 岡山

浅井 徹

『TAVIとTAVI時代のSAVR』

第14回 甲賀・湖南循環器懇話会, 2016年10月13日, 滋賀

浅井 徹

『僧帽弁形成術の新しい考え方』

第5回 つくば内科・外科カンファランス, 2016年11月11日, つくば

浅井 徹

Acute VSR repairはなぜ経右室「拡大サンドイッチ法」なのか

第28回 関東心臓外科手術手技研究会, 2016年11月12日, 東京

森本政憲, 鈴木友彰, 浅井 徹

急性A型解離の緊急上行置換術直後にICUにて発生したVF stormの原因が冠攣縮発作であったと考えられた1例
第30回 日本冠疾患学会学術集会総会, 2016年12月10-11日, 東京

浅井 徹

「心臓血管病 予防から最先端治療まで」

玉川学区講演会, 2016年12月15日, 草津

近藤康生, 藤野 晋, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

TAVR 後透析患者の僧帽弁閉鎖不全症と弁周囲逆流に対して手術加療を行った1例

第31回 心臓血管外科ウインターセミナー学術集会, 2017年1月25-27日, 長野

浅井 徹

冠動脈バイパス手術における蛍光血管造影の意義

がん研 蛍光イメージガイド下手術ワークショップ, 2017年1月28日, 東京

木曾田晶江, 佐藤千春, 木脇恵子, 小池雅人, 鈴木友彰, 浅井 徹

慢性心不全連合弁膜症の超高齢者透析患者に対する周術期管理チームで行う栄養管理が有効であった1例

第32回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2017年2月23日-24日, 岡山

浅井 徹

Fast Trackを極める, 心臓血管外科手術の心臓リハビリテーション

第42回 日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会および専門医・臨床医生涯教育研修会, 2017年3月4日,

滋賀

南館直志, 鉢呂康平, 住井陽介, 近藤康生, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 寺田真也, 木下 武, 鈴木友彰, 浅井 徹

心虚血を合併した急性A型大動脈解離の治療成績

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

乃田浩光, 上山克史, 浅井 徹, 鈴木友彰

当院におけるAAAに対する企業性ステントグラフトデバイス選択方法

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

近藤康生, 木下 武, 住井陽介, 鉢呂康平, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 寺田真也, 鈴木友彰, 浅井 徹

高齢者ASに対するAVRにおけるCSHA Clinical Frailty Scaleの予後予測能

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

木下 武, 田和正志, 相見良成, 鈴木友彰, 浅井 徹, 岡村富夫

Contractility of the right gastroepiploic artery grafts increases at the distal section.

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

浅井 徹

心室中隔穿孔の修復「拡大サンドイッチ法」

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

鈴木友彰, 浅井 徹, 木下 武, 藤野 晋, 坂倉玲欧

Stanford A型急性解離：手術時間短縮の工夫とその成績

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

浅井 徹

弓部大動脈瘤に対する統合的治療戦略

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

坂倉玲欧

透析患者のASに対するAVRの早期・中期成績

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

鈴木友彰

動脈グラフト多用OPCABは糖尿病症例の成績を改善するか？

第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月27日-3月1日, 東京

木下 武

Valve Phenotype and Risk Factor of Aortic Dilatation after Aortic Valve Replacement in Japanese Patients with Bicuspid Aortic Valve.

第81回 日本循環器学会学術集会, 2017年3月17-19日, 金沢

木下 武

Endothelial dysfunction of internal thoracic artery graft in patients with chronic kidney disease.

第81回 日本循環器学会学術集会, 2017年3月17-19日, 金沢

浅井 徹

最高水準を目指す滋賀医科大学心臓血管外科の挑戦

高島市医師会学術講演会, 2017年3月31日, 滋賀

滋賀医科大学外科学講座（呼吸器外科）

【論文】

〈英文学術論文〉

Igarashi T, Teramoto K, Ishida M, Hanaoka J, Daigo Y.

Scoring of PD-L1 expression intensity on pulmonary adenocarcinomas and the correlations with clinicopathological factors

ESMO Open. 1(4); e000083, 2016

Kawaguchi Y, Hanaoka J, Hayashi H, Mizusaki N, Iihara H, Itoh Y, Sugiyama T.

Clinical Efficacy of Afatinib Treatment for a Patient with Leptomeningeal Carcinomatosis

Chemotherapy. 62; 147-150, 2017

Igarashi T, Okamoto K, Teramoto K, Kaku R, Ishida K, Ueda K, Kawaguchi Y, Hori T, Hashimoto M, Kitamura S, Tezuka N, Hanaoka J.

Clinical outcome of posterior fixation surgery in patients with vertebral metastasis of lung cancer.

Molecular and Clinical Oncology. 6; 770-774, 2017

〈和文学術論文〉

石田恵子, 賀来良輔, 堀哲 雄, 川口 庸, 花岡 淳, 寺本晃治

急激な転帰を辿った肺多形癌の1例

日本呼吸器外科学会 30(2); 27(153)-32(158), 2016

鈴木雄治, 橋本雅之, 一瀬増太郎

胸郭内に進展した急性特発性胸壁血腫の1例

日本臨床外科学会雑誌 77(6); 1326-1331, 2016

岡本圭伍, 元石 充, 賀来良輔, 澤井 聡, 花岡 淳

fimAII型線毛を有するPorphyromonas gingivalis肺化膿症の1切除例

日本呼吸器外科学会雑誌 30(6); 30(686)-33(689), 2016

【学会発表】

〈国際学会〉

Nagatani Y, Hashimoto M, Nitta N, Hanaoka J, Oshio Y, Iwai K, Tanaka K, Tsukagoshi S, Kimoto T, Sonoda A, Otani H, Murata K.

Influence of Airflow Limitation on Regional Variation in the Maximal Respiratory Change in the Distance Between the Pleura and Chest Wall: A Step for the Establishment of Detection Algorithm of Localized Pleural Adhesion on Dynamic Four-Dimensional Ultra-

ATS 2016 International Conference, 2016/5/15, San Francisco, California, USA

Hashimoto M, Nagatani Y, Oshio Y, Nitta N, Masumi M, Ushio N, Tsukagoshi S, Kimoto T, Murata K, Hanaoka J. Preoperative Assessment of Pleural Adhesion Using Dynamic Four-Dimensional Ultra-Low-Dose Computed Tomography (4D-ULDCT) with AIDR 3D; a Preliminary Study.

ATS 2016 International Conference, 2016/5/15, San Francisco, California, USA

〈全国学会 口演〉

五十嵐知之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 橋本雅之, 片岡瑛子, 堀本かんな, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 手塚則明, 寺本晃治
モストグラフを用いた肺切除周術期の呼吸機能評価
第33回 日本呼吸器外科学会, 2016年5月12日, 京都

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
原発性自然気胸を疑い手術を行った女性気胸症例の検討
第20回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2016年9月9日, 東京

五十嵐知之, 片岡瑛子, 花岡 淳, 寺本晃治, 醍醐弥太郎
非小細胞肺癌における血中PD-1陽性細胞とPD-1陽性腫瘍浸潤リンパ球の関連
第75回 日本癌学会学術総会, 2016年10月6日, 横浜

片岡瑛子, 大塩恭彦, 五十嵐知之, 寺本晃治, 花岡 淳
ヒト肺腺がんにおける galectin-3 の役割
第75回 日本癌学会学術総会, 2016年10月6日, 横浜

橋本雅之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 五十嵐知之, 赤澤 彰
逐次近似再構成法応用超低線量4次元胸部CTと経胸壁超音波検査による肺腫瘍術前胸膜癒着の予測
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月9日, 横浜

大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳
肺癌術後ドレーン留置期間の予測因子についての検討
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月20日, 福岡

〈全国学会 ポスター〉

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
臨床病期2期～3A期の高齢者肺癌に対する手術療法
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月16日, 大阪

大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 花岡 淳
LCNECに対する術後補助化学療法についての検討
第33回 日本呼吸器外科学会, 2016年5月12日, 京都

赤澤 彰, 花岡 淳, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治
縦隔腫瘍に対する胸腔鏡下手術のアプローチ法の検討
第33回 日本呼吸器外科学会, 2016年5月12日, 京都

賀来良輔, 林 一喜, 元石 充, 澤井 聡
胸腺に発生したコレステリン肉芽腫の1切除例呼吸器外科
第33回 日本呼吸器外科学会, 2016年5月12日, 京都

川口 庸, 花岡 淳

自然気胸に対する単孔式手術症例の検討

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月23日, 名古屋

五十嵐知之, 花岡 淳, 大塩恭彦, 橋本雅之, 片岡瑛子, 堀本かんな, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 寺本晃治, 中野恭幸,
仲川宏昭, 福永健太郎, 大澤 真, 山口将史, 和田 広, 手塚則明

胸壁原発濾胞性リンパ腫の1切除例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月23日, 名古屋

仲川宏昭, 柏木裕美子, 行村瑠里子, 内田泰樹, 樋上雄一, 福永健太郎, 和田 広, 山口将史, 大澤 真, 大塩恭彦,
花岡 淳, 中野恭幸

急速進行性の線維化を伴う器質化肺炎に合併した低分化肺癌の1例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月23日, 名古屋

赤澤 彰, 橋本雅之, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 寺本晃治, 手塚則明, 花岡 淳,
中野恭幸, 仲川宏昭, 福永健太郎

右上葉部分切除術後の遷延性肺癆に対し局所麻酔下胸腔鏡下フィブリン糊散布法が奏効した1例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月23日, 名古屋

福永健太郎, 柏木裕美子, 瀬戸瑠里子, 内田泰樹, 樋上雄一, 仲川宏昭, 和田 広, 山口将史, 大澤 真, 中野恭幸,
橋本雅之, 花岡 淳

経気管支肺生検が診断の契機となった原発性マクログロブリン血症に続発した全身性アミロイドーシスの1例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月23日, 名古屋

五十嵐知之, 花岡 淳, 寺本晃治, 醍醐弥太郎

肺扁平上皮癌における PD-L1 の発現と腫瘍微小環境

第14回 日本臨床腫瘍学会学術集会, 2016年7月28日, 神戸

片岡瑛子, 大塩恭彦, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 五十嵐知之, 橋本雅之, 寺本晃治, 花岡 淳

浸潤性肺腺がんにおけるがん間質線維芽細胞の役割

第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月29日, 岡山

寺本 晃治, 片岡 瑛子, 五十嵐 知之, 大塩 恭彦, 醍醐弥太郎

がん関連線維芽細胞の誘導における低酸素の影響について

第75回 日本癌学会学術総会, 2016年10月8日, 横浜

川口 庸, 花岡 淳

アフアチニブによる下痢に対するアドソルビンの使用経験

第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月19日, 福岡

花岡 淳, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明

ALK 融合遺伝子陽性肺癌に対する治療経験

第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月20日, 福岡

〈全国学会 ビデオ〉

花岡 淳, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 寺本晃治, 手塚則明
左主肺動脈原発血管肉腫と鑑別に難渋した縦隔進展型肺癌の1切除例

第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月19日, 福岡

〈地方会・研究会〉

苗村佑樹, 花岡 淳, 赤澤 彰, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之

当科における間質性肺炎合併肺癌症例の術後急性増悪とリスクについての検討

第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年 6月16日, 三重

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
75歳以上の高齢者肺癌における術後PSに関する検討
第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年 6月17日, 三重

花岡 淳
肺癌手術に対する胸腔鏡下手術
第104回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016年7月16日, 大阪

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村祐樹, 堀本かんな, 片岡 瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
気管支内腔をポリープ状に進展した多形癌の2例
第99回 呼吸器内視鏡近畿支部会, 2016年7月23日, 大阪

橋本雅之, 赤澤 彰, 苗村佑樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 花岡 淳
胸腺腫Stage IVaに対して二期的に手術切除を行った1例
第35回 近畿胸腔鏡研究会, 2016年8月27日, 大阪

苗村佑樹, 赤澤 彰, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
当科における間質性肺炎合併肺癌症例の術後急性増悪とリストについての検討
第53回 近江呼吸器疾患研究会, 2016年9月3日, 京都

川口 庸, 花岡 淳
人食いバクテリアによる壊死性筋膜炎
第53回 近江呼吸器疾患研究会, 2016年9月3日, 京都

苗村佑樹, 大塩恭彦, 赤澤 彰, 賀来良輔, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 橋本雅之, 花岡 淳, 中野恭幸
LCNEC 術後再発に対しニボルマブを使用した1例
第105回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年2月25日, 大阪

赤澤 彰
ALK融合遺伝子陽性肺癌に対する治療経験
第1回 近呼研Meeting, 2017年2月18日, 京都

滋賀医科大学 総合外科学講座

【論文】

〈英文学術論文〉

Yamamoto H, Maeda K, Arima H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata E, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Miura K, Kadowaki M, Tani M.

Perioperative Adiponectin Measurement is Useful for Prediction of Postoperative Infection in Patients with Colorectal Cancer.

Ann Surg Oncol. 23(4): 540-545, 2016

Tuy HD, Shiomi H, Mukaisho KI, Naka S, Shimizu T, Sonoda H, Mekata E, Endo Y, Kurumi Y, Sugihara H, Tani M, Tani T.

ABCG2 expression in colorectal adenocarcinomas may predict resistance to irinotecan.

Oncol Lett. 12(4): 2752-2760, 2016

Yamamoto H, Maeda K, Arima H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata E, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Miura K, Kadowaki M, Tani M.

Perioperative Adiponectin Measurement is Useful for Prediction of Postoperative Infection in Patients with Colorectal Cancer.

Ann Surg Oncol. 23(4): 540-545, 2016

Takaoka M, Okuyama A, Mekata E, Masuda M, Otani M, Higashide S, Higashi T.
Staging discrepancies between Hospital-Based Cancer Registry and Diagnosis ProcedureCombination data.
Jpn J Clin Oncol. 46(8) : 788-91, 2016

Takebayashi K, Sonoda H, Shimizu T, Ohta H, Minamiguchi H, Ishida M, Mekata E, Endo Y, Tani T, Tani M.
Pyomyositis at the surgical site in a patient with chronic myeloid leukemia: a case report and literature review.
World J Surg Oncol. 14 : 116, 2016

〈和文学術論文〉

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 井内武和, 東田宏明, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における結腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績
滋賀医科大学雑誌 29(1) : 64-67, 2016

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之,
園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 安 炳九, 飯田洋也, 井内武和, 池添清彦,
一瀬真澄, 宇治祥隆, 熊 洋三, 貝塚真知子, 柿原直樹, 神谷純広, 川崎誠康, 熊野公東, 小林知恵, 佐藤浩一郎,
龍田 健, 田中彰恵, 東田宏明, 土橋洋史, 中村一郎, 西村彰一, 生内一夫, 長谷川均, 林 直樹, 藤田益嗣,
藤野光廣, 水野 文, 八木俊和, 矢澤武史, 山口智弘, 横田 徹, 谷 眞至
原発性胃癌に対する術後抗凝固療法 関連病院におけるアンケート結果報告
滋賀医科大学雑誌 29(1) : 51-54, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡,
山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史,
宇治祥隆, 安 炳九, 池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 熊 洋三,
長谷川均, 熊野公東, 横田 徹, 藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹,
佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵, 小林知恵, 生内一夫, 谷 眞至
胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討 関連病院におけるアンケート調査の結果から
滋賀医科大学雑誌 29(1) : 27-31, 2016

岡内 博, 新田信人, 小島正継, 目片英治
術前CTで診断した鼠径部膀胱ヘルニアの3例
日本臨床外科学会雑誌 77(7) : 1854-1858, 2016

岡内 博, 新田信人, 小島正継, 目片英治
術前CTで診断した鼠径部膀胱ヘルニアの3例
日本臨床外科学会雑誌77(7) : 1854-1858, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士,
村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹膜播種再発の高リスク因子を有する進行大腸癌に対する腹腔内温熱化学療法の有効性についての検討
癌と化学療法 43(12) : 1440-1442, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

太田裕之
腹膜播種を伴う原発性大腸癌に対する術中温熱化学療法の有用性についての検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

瀬戸山 博, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 森田幸代, 居松建治, 諏訪美雪, 目片英治
滋賀県における「5大がん地域連携パス」への取り組み 第6報
第18回 日本医療マネジメント学会学術総会, 2016年4月, 福岡

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子,
竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 飯田洋也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹膜播種再発の高リスク因子を有する大腸癌に対する術中温熱化学療法の有効性の検討
第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

瀬戸山 博, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 森田幸代, 居松建治, 諏訪美雪, 目片英治
 チームで取り組む地域の緩和医療と患者相談支援活動から得たもの
 第21回 日本緩和医療学会学術大会, 2016年6月, 京都

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷 眞至
 消化器癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

目片英治, 谷 徹, 岡内 博, 小島正継, 新田信人, 瀬戸山 博, 梶山隆啓, 島垣昌明
 樹脂性手術器具の開発
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

新田信人, 目片英治, 小島正継, 岡内 博, 瀬戸山 博, 長谷川正人
 当院における高齢者の急性胆嚢炎手術例の検討
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

小島正継, 長谷川正人, 瀬戸山 博, 岡内 博, 新田信人, 目片英治
 OGIBにおいてメッケルシンチと小腸内視鏡が診断に有用であった, 腹腔鏡下に切除したメッケル憩室の1例
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

瀬戸山 博, 目片英治, 東出俊一, 山本秀和, 増山 守, 土屋邦之, 下松谷 匠
 消化器がん医療連携に関する滋賀県の現況について
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

油木純一, 森 毅, 坂井幸子, 加藤久尚, 寺田好孝, 富田 香, 河合由紀, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
 ヘルニア嚢内にVPシャントチューブが迷入した1例
 第14回 日本ヘルニア学会2016, 2016年10月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子,
 大竹玲子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 仲 成幸, 谷 眞至
 関連病院へのアンケート調査による胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
 第24回 日本消化器関連学会週間, 2016年11月4日, 神戸

瀬戸山 博, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 居松建治, 諏訪美雪, 目片英治
 東近江総合医療センターの地域がん診療連携活動
 第70回 国立病院医学会, 2016年11月, 沖縄

太田裕之, 水黒知行, 橋本京三, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 生田大二, 油木純一, 遠藤善裕,
 若林正人, 生内一夫, 小島正継, 目片英治, 谷 眞至
 分娩外傷による直腸腔瘻に対して会陰体修復術を施行した2例
 第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月19日, 三重

油木純一, 森 毅, 富田 香, 加藤久尚, 竹林克士, 坂井幸子, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
 当院におけるCTによる鼠径ヘルニア術前診断
 第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

太田裕之, 新田信人, 小島正継, 瀬戸山博, 長谷川正人, 郭 翔志, 井上貴至, 目片英治
 卵巣嚢腫を伴うイレウスに対して腹腔鏡手術を施行した1例
 第29回 日本内視鏡外科学会総会 DP51-1, 平成28年12月, 横浜

目片英治, 園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 眞至, 谷 徹
 腫瘍先進部における免疫浸潤細胞(CD10陽性)を用いた病期分類
 第86回 大腸癌研究会, 2017年1月, 岩手

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院におけるMSI検査を施行した大腸癌症例の検討
第85回 大腸癌研究会, 2016年7月, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 北村直美,
赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
大腸癌術後の抗凝固療法と臨床経過の関連性
第15回 癒着・血栓制御研究会, 2016年12月, 大津

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 小島正継, 長谷川正人, 大竹玲子, 森谷鈴子
Xelox + Bevacizumabによる直腸癌術前化学療法について
第27回 滋賀癌化学療法研究会, 2017年2月, 草津

岡山千尋, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦, 辻川知之, 五月女隆男, 小島正継
切除不能腭線扁平上皮癌に対し化学療法が奏功し外科的切除しえた1例
日本消化器病学会近畿支部第106回例会, 2017年2月, 大阪

岩切悦子, 朝日信一, 宮城暢子, 坂野祐司, 瀬戸山 博, 森田幸代, 川崎順子, 福井久美子, 本田富得, 田中 巧
疼痛管理に関する意識調査と今後の展望
第38回 日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2017年2月, 大阪

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 山本 寛, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
The clinical significance of procalcitonin and microbial factors following gastrointestinal surgery
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

太田裕之
大腸癌化学療法におけるチーム医療の実践
南加賀大腸癌診療セミナー, 2016年7月, 石川

太田裕之, 新田信人, 小島正継, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
当院における閉塞性大腸癌の治療戦略(2015年大腸癌登録データの報告とともに)
第34回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2016年8月, 東近江

目片英治
病診連携—大学病院とがん支援病院の経験—
がん診療連携セミナー, 2016年9月, 福井

菊地克久
実際の整形外科診療～骨粗鬆症・リウマチ・疼痛治療を中心に～
福知山地区第9回学術講演会, 2017年2月, 福知山

油木純一
ソケイヘルニア嵌頓症例の検討
第35回臨床談話会, 2017年2月, 東近江

【プロジェクト】

目片英治(副総括事業代表者)
研究開発課題名 日本医療研究開発機構委託 医工連携事業化推進事業「軽量樹脂製手術器具の開発・事業化」
2016年4月1日～2017年3月31日

滋賀医科大学 臨床看護学講座

【論文】

〈英文学術論文〉

Tuy H D, Shiomi H, Mukaisho K I, Naka S, Shimizu T, Sonoda H, Mekata E, Endo Y, Kurumi Y, Sugihara H, Tani M, Tani T.

ABCG2 expression in colorectal adenocarcinomas may predict resistance to irinotecan.
Oncol Lett., 2016/10

Takebayashi K, Sonoda H, Shimizu T, Ohta H, Minamiguchi H, Ishida M, Mekata E, Endo Y, Tani T, Tani M.
Pyomyositis at the surgical site in a patient with chronic myeloid leukemia.
World J Surg Oncol., 2016/4

Thomas Ming Swi Chang, Yoshihiro E, Volodymyr G Nikolaev, Tohru T, Yaoting Yu, Wen-Hui Zheng.
Hemoperfusion, Plasmapheresis and Other Clinical Uses of General, Biospecific, Immuno and Leucocyte Adsorbents.
Regenerative Medicine, Artificial Cells and Nanomedicine 4

〈和文学術論文〉

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹膜播種再発の高リスク因子を有する進行大腸癌に対する腹腔内温熱化学療法の有効性についての検討
癌と化学療法 43(12): 440-442

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 井内武和, 東田宏明, 遠藤善裕, 谷 眞至
当院における結腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績
滋賀医科大学雑誌 29(1): 64-67, 2016

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 安 炳九, 飯田洋也, 井内武和, 池添清彦, 一瀬真澄, 宇治祥隆, 籠 洋三, 貝塚真知子, 柿原直樹, 神谷純広, 川崎誠康, 熊野公東, 小林知恵, 佐藤浩一郎, 龍田 健, 田中彰恵, 東田宏明, 土橋洋史, 中村一郎, 西村彰一, 生内一夫, 長谷川 均, 林 直樹, 藤田益嗣, 藤野光廣, 水野 文, 八木俊和, 矢澤武史, 山口智弘, 横田 徹, 谷 眞至
原発性胃癌に対する術後抗凝固療法 関連病院におけるアンケート結果報告
滋賀医科大学雑誌 29(1): 51-54, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史, 宇治祥隆, 安 炳九, 池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籠 洋三, 長谷川 均, 熊野公東, 横田 徹, 藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹, 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵, 小林知恵, 生内一夫, 谷 眞至
胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討 関連病院におけるアンケート調査の結果から
滋賀医科大学雑誌 29(1): 27-31, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 田畑貴久, 森 治樹, 山口 剛, 竹林克士, 貝田佐知子, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 江口 豊, 遠藤善裕, 谷 眞至
大腸穿孔症例における予後予測因子の検討
第53回 日本腹部救急医学会, 2017年3月, 横浜

園田寛道, 清水智治, 三宅 亨, 植木智之, 太田裕之, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
瘻孔、膿瘍形成を伴うクローン病手術における術後合併症の予測
第53回 日本腹部救急医学会, 2017年3月, 横浜

關連病院業績

赤穂市民病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

白井太郎, 安 炳九, 高原秀典, 松川浩之, 松本卓也, 菅原安章, 三井康裕, 勝谷 誠, 高尾雄二郎, 森永友紀子, 榎木英介, 横山 正

上行結腸癌に起因した成人腸重積症の1例

日本腹部救急医学会雑誌, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

高石 侑, 松川浩之, 吉田真也, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正

地方中核病院の緩和医療における外科医の役割

第78回 日本臨床外科学会総会, 東京

田中麗子, 松川浩之, 吉田真也, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正

Paragangliomaの2切除例

第78回 日本臨床外科学会総会, 東京

松川浩之, 吉田真也, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正

絞扼性イレウス術後, 膿胸を合併したKlebsiella pneumoniae敗血症の1例

日本外科感染症学会総会, 東京

高原秀典, 松川浩之, 吉田真也, 松本卓也, 横山 正

開心術後縦隔炎に対し腹腔鏡下に大網充填術を行った4例

日本内視鏡外科学会総会, 横浜

東城夏香, 松川浩之, 吉田真也, 松本卓也, 高原秀典, 横山 正

小腸憩室穿孔により急性汎発性腹膜炎を呈した1例

第73回 日本腹部救急医学会総会, 横浜

医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

板野秀樹, 長野心太, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 金児 潔, 陳 孟鳳, 久保田良浩, 仲井 理,

増田道彦

呼吸器外科における低侵襲医療の新たな展開 肺癌リンパ節郭清における新手法VATS肺癌手術に先んじて縦隔鏡下

リンパ節郭清(VAMLA)を施行した症例の検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

永薺和也, 久保田良浩, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 陳 孟鳳, 金児 潔, 仲井 理

盲腸捻転の1例

第52回 日本小児外科学会近畿地方会, 2016年8月, 大阪

永薺和也, 久保田良浩, 長野心太, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 陳 孟鳳, 金児 潔, 仲井 理

保存的治療で軽快しなかった外傷性気胸の1例

第52回 日本小児外科学会近畿地方会, 2016年8月, 大阪

陳 孟鳳, 梶原正章, 日並淳介, 仲原英人, 永薺和也, 久保田良浩

膣空腸吻合を安定させるための3点の工夫

第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

板野秀樹, 永藪和也, 仲原英人, 高岸智子, 日並淳介, 梶原正章, 金児 潔, 陳 孟鳳, 久保田良浩, 仲井 理, 増田道彦

間質性肺炎合併肺癌切除術の検討

第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

永藪和也, 陳 孟鳳, 梶原正章, 仲原英人, 日並淳介, 久保田良浩

ダブルバルーン内視鏡(DBE)–ERCPで生じた十二指腸後腹膜穿孔に対して大網被覆を行い救命した1例

第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

日本赤十字社 大津赤十字病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

内藤大輔, 高橋憲一, 若月悠佑, 山本裕子, 嶋 一樹, 伏屋芳紀, 高橋珠紀, 荻原雄一, 庄司 剛, 片倉浩理, 酒井直樹, 山中 晃

FAX吸入指導導入によるBA患者とCOPD患者への効果の検討

第56回 日本呼吸器学会学術講演会, 2016年4月, 京都

伊達直樹, 若月悠佑, 庄司 剛, 片倉浩理, 山中 晃

多発肋骨骨折に伴う大動脈損傷により術中心停止に陥るも救命し得た外傷性血胸の1例

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

片倉浩理, 若月悠佑, 庄司 剛, 山中 晃

Salvage Surgery～自験例の検討～

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

若月悠佑, 庄司 剛, 片倉浩理, 山中 晃

当院における小細胞肺癌手術症例の検討

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

高橋珠紀, 若月悠佑, 山本裕子, 伏屋芳紀, 庄司 剛, 片倉浩理, 山中 晃

緩徐な経過をとり気管支鏡直視下生検で診断に至った前立腺癌リンパ節転移の2例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋

西川慶一, 酒井直樹, 高橋珠紀, 伏屋芳紀, 西岡慶善, 嶋 一樹, 内藤大輔, 片倉浩理, 庄司 剛, 若月悠佑, 水本智咲, 西田未由, 山中 晃

肺腺癌治療中に発症した貧血の1例

第87回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年7月, 大阪

若月悠佑, 片倉浩理, 内藤大輔, 嶋 一樹, 伏屋芳紀, 高橋珠紀, 西岡慶善, 庄司 剛, 酒井直樹, 山中 晃

治療方針決定にRe-biopsyを行った重複癌合併非小細胞肺癌症例

第104回 日本肺癌学会関西支部会, 2016年7月, 大阪

畑野翔太郎, 片倉浩理, 若月悠佑, 庄司 剛, 山中 晃

右上葉気管支分岐異常合併肺癌の切除経験

第23回 滋賀内視鏡手術研究会, 2016年11月, 草津

前田振一郎, 嶋 一樹, 若月悠佑, 内藤大輔, 八木由生, 伏屋芳紀, 高橋珠紀, 西岡慶善, 庄司 剛, 片倉浩理, 山中 晃, 水本智咲, 奥野知子, 酒井直樹

初診時に気道狭窄症状を伴っていた成人T細胞性白血病の1例

第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

黒住香織, 酒井直樹, 高橋珠紀, 伏屋芳紀, 内藤大輔, 嶋一樹, 西岡慶善, 若月悠佑, 庄司剛, 片倉浩理,
稗田信弘, 白瀬智之, 山中晃
膝サルコイドーシスの1例
第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

庄司剛, 若月悠佑, 高橋珠紀, 西岡慶善, 片倉浩理, 酒井直樹, 山中晃
非小細胞肺癌の術後再発時期・形式・症状からみた予後と術後診療期間の検討
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

濱田健太郎, 西岡慶善, 内藤大輔, 若月悠佑, 嶋一樹, 伏屋芳紀, 八木由生, 高橋珠紀, 庄司剛, 片倉浩理,
山中晃, 酒井直樹
当院における既治療EGFR T790M陽性非小細胞癌に対するオシメルチニブ使用経験
第105回 日本肺癌学会関西支部会, 2017年2月, 大阪

前田振一郎, 片倉浩理, 若月悠佑, 八木由生, 高橋珠紀, 西岡慶善, 庄司剛, 酒井直樹, 山中晃
肺転移を来した虫垂粘液癌(mucinous adenocarcinoma)の1例
第105回 日本肺癌学会関西支部会, 2017年2月, 大阪

医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院 心臓血管外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

小林綾香, 関千雅, 木脇恵子, 小池雅人, 白石昭一郎, 鈴木友彰, 浅井徹
術後せん妄発症リスクが高い腹部大動脈瘤切除術を受けた身寄りがいない高齢患者に対して看護師中心のチーム医療
が有効であった1例
第81回 日本循環器学会学術集会, 2017年3月, 金沢

高木真理子, 清原由希, 廣田智久, 関千雅, 木脇恵子, 小池雅人, 鈴木友彰, 浅井徹
超高齢者でハイリスクな弁膜症透析患者の周手術期管理に対して包括的心臓リハビリテーションが有効であった1例
第81回 日本循環器学会学術集会, 2017年3月, 金沢

清原由希, 関千雅, 木脇恵子, 小池雅人, 鈴木友彰, 浅井徹
超高齢者のAS透析患者に対して看護師中心のチームビルディングが周手術期管理に有効であった1例
第44回 日本集中治療医学会学術集会, 2017年3月, 札幌

小林綾香, 吉川千香子, 清原由希, 関千雅, 木脇恵子, 小池雅人, 鈴木友彰, 浅井徹
家族支援が得られずに心臓手術を受けた高齢者に対する周手術期意思支援の1例
第44回 日本集中治療医学会学術集会, 2017年3月, 札幌

木曾田昌江, 佐藤千春, 木脇恵子, 小池雅人, 鈴木友彰, 浅井徹
慢性心不全連合弁膜症の超高齢者透析患者に対する周手術期管理にチームで行う栄養管理が有効であった1例
第32回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2017年2月, 岡山

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋實, 鈴木友彰, 浅井徹
85歳以上の超高齢者胸部大動脈瘤に対して開胸で大動脈瘤切除術を行いfast-track recoveryを成し得た2症例
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月, 東京

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋實, 鈴木友彰, 浅井徹
後期高齢者に対する待機的腹部大動脈瘤開腹手術の治療成績
第79回 滋賀県循環器疾患研究会, 2016年6月, 草津

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
超高齢者大動脈弁狭窄症に対して大動脈弁置換術を行いfast-track recoveryを成し得た2症例
第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年6月, 三重

小池雅人, 白石昭一郎, 青嶋 實, 鈴木友彰, 浅井 徹
80歳以上の高齢者大動脈弁狭窄症に対する大動脈弁置換術の治療成績
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

近江八幡市立総合医療センター 心臓血管外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

宮下史寛, 木下 武, 森本政憲, 南館直志, 藤野 晋, 坂倉玲欧, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
Loeys Diets症候群患者に発症した急速に拡大傾向を認める胸腹部大動脈瘤に対して連続する大動脈手術を要した1例
第44回 日本血管外科学会学術総会, 2016年5月, 東京

宮下史寛, 平松範彦, 松林景二
冠動脈バイパス術後に発生した右冠動脈瘤に対して瘤切除と冠動脈バイパス術を行った1例
第30回 日本冠疾患学会学術集会, 2016年12月, 東京

松林景二, 平松範彦, 宮下史寛
カテーテルでは治せない心臓と血管の病気
第4回 近江八幡市立総合医療センター心臓血管外科市民公開講座, 2016年9月, 滋賀

松林景二
心臓血管外科手術で治る疾患とは?
第106回 三方よし研究会, 2016年9月, 滋賀

宮下史寛, 藤野 晋, 森本政憲, 南館直志, 坂倉玲欧, 木下 武, 乃田浩光, 鈴木友彰, 浅井 徹
感染性心膜炎による僧帽弁閉鎖不全症に対する手術の1例
第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年6月, 三重

松林景二
大動脈緊急症とは?
東近江医師会定例会, 2017年2月, 滋賀

宮下史寛, 平松範彦, 松林景二
自己心膜を用いた大動脈弁形成
近江八幡心疾患カンファレンス, 2017年3月, 滋賀

洛和会 音羽病院 呼吸器外科

【論文】

〈和文学術論文〉

岡本圭伍, 元石 充, 賀来良輔, 澤井 聡, 花岡 淳
fimAII型線毛を有するPorphyromonas gingivalis肺化膿症の1切除例
日本呼吸器外科学会雑誌 30(6): 686-689, 2016

鈴木雄治, 橋本雅之, 一瀬増太郎
胸郭内に進展した急性特発性胸壁血腫の1例
日本臨床外科学会雑誌 77(6): 1353-1357, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

岡本圭伍，一瀬増太郎

多発肋骨骨折遅発的血気胸に対して胸腔鏡下に骨片切除を行った症例

第33回 日本呼吸器外科学会総会，2016年5月，京都

一瀬増太郎，岡本圭伍，堀 哲雄，西山聖也，森川 昇，林 康之，中西陽祐，味水 瞳，坂口 才，土谷美知子，長坂行雄

肺癌との鑑別に難渋し縦隔鏡検査で診断した播種性非結核性抗酸菌症の1例

第33回 日本呼吸器外科学会総会，2016年5月，京都

岡本圭伍，一瀬増太郎，西山聖也，林 康之，森川 昇，味水 瞳，中西陽祐，坂口 才，土谷美知子，長坂行雄

乳癌術後再発との鑑別を要した特発性線維性縦隔炎の1例

第33回 日本呼吸器外科学会総会，2016年5月，京都

堀 哲雄，山下直己，一瀬増太郎，岡本圭伍

びまん性肺動静脈ろうに対し，術中経食道コントラスト心エコーが有用であった1例

第33回 日本呼吸器外科学会総会，2016年5月，京都

岡本圭伍，一瀬増太郎

外傷後遅発性血気胸に対して遊離骨片除去を行った1例

第199回 近畿外科学会，2016年5月，大阪市

岡本圭伍，一瀬増太郎

縦隔型気管支性嚢胞と気管支閉鎖症が独立して存在した1例

第20回 気胸・嚢胞性疾患学会，2016年9月，東京

岡本圭伍，一瀬増太郎

Chance骨折による大量血胸

第53回 近江呼吸器疾患研究会，2016年9月，京都

岡本圭伍，一瀬増太郎

外傷性ショック後にCorynebacterium striatumによる膿胸を発症した1例

第54回 近江呼吸器疾患研究会，2017年3月，京都

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科

【論文】

〈和文学術論文〉

薦岡成年，東上震一，畔柳智司，降矢温一，榎本匡秀，小島三郎，若林尚宏

破裂により心タンポナーデをきたした左室仮性瘤の1例

胸部外科70(3)，2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Masatoshi K, Shinichi H, Satoshi K, Onichi F, Masahide E, Saburo K, Naohiro W.

Our treatment result of emergent TEVER for ruptured and impending ruptured thoracic aortic aneurysm.

ASCVTS2016, 2016年4月，台湾

薦岡成年，東上震一，畔柳智司，降矢温一，榎本匡秀，小島三郎，若林尚宏

Thoracic endovascular repair for Stanford type B aortic dissection with a disease-specific device.

ASVS2016，2016年10月，シンガポール

降矢温一，東上震一，畔柳智司，薦岡成年，榎本匡秀，小島三郎，若林尚宏

Emergent debranching TEVAR to treat ruptured Stanford type B acute aortic dissection.
ASVS2016, 2016年10月, シンガポール

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
The PETTICOAT technique for Stanford type B aortic dissection with a new disease-specific device.
ASCVT2017, 2017年3月, 韓国

若林尚宏, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎
Strategy to reduce the risk of spinal cord ischemia in patients with TAA and AAA.
ASCVT2017, 2017年3月, 韓国

〈全国学会・地方会・その他〉

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
弓部大動脈瘤に対するdebranch TEVARとその適応
第44回 日本血管外科学会学術集会, 2016年5月, 東京

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
A型急性大動脈解離の手術成績と長期生存評価
第44回 日本血管外科学会学術集会, 2016年5月, 東京

若林尚宏, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎
TAA・AAA合併例にみる脊髄梗塞に対するstaged approachの有用性
第44回 日本血管外科学会学術集会, 2016年5月, 東京

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
B型大動脈解離に対するZenith TXdの使用経験
第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年6月, 三重

榎本匡秀, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
超高齢者の急性大動脈解離StanfordAに対する手術成績の検討
第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年6月, 三重

若林尚宏, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎
大動脈損傷を伴うショックバイタルの多発外傷に対し、集約的加療後にTEVARを施行し、良好な結果を得た1例
第59回 関西胸部外科学会学術集会, 2016年6月, 三重

畔柳智司, 東上震一, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
CABGの予後から考えるASを合併した冠動脈疾患の治療戦略
第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月, 福岡

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
CABGにおけるEVHの有用性
第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月, 福岡

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
低左新機能例に対するCABGにおけるmild-moderate MRの治療戦略
第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月, 福岡

榎本匡秀, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 小島三郎, 若林尚宏
冠血行再建を要した急性大動脈解離StanfordAの遠隔成績の検討
第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月, 福岡

若林尚宏, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎
 当院における心筋梗塞後左室瘤に対する左室形成術の検討
 第21回 日本冠動脈外科学会学術大会, 2016年7月, 福岡

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
 III b型大動脈解離に対するZenith TXdの使用経験
 第22回 日本血管内治療学会学術集会, 2016年7月, 東京

若林尚宏, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎
 Strategy to reduce the risk of spinal cord ischemia in patients with TAA and AAA
 第9回 日独血管外科, 2016年8月, 広島

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
 Stanford B型大動脈解離に対するZenith TXdの使用経験
 第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月, 岡山

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
 The long term result of CABG for patients with low ventricular function in our hospital
 第69回 日本胸部外科学会定期学術集会, 2016年9月, 岡山

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
 偽腔開存型III b型大動脈解離に対するZenith TXdでの治療経験
 第57回 日本脈管学会総会, 2016年10月, 奈良

薦岡成年, 東上震一, 畔柳智司, 降矢温一, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
 弓部大動脈瘤に対するTEVARとその成績
 第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月, 東京

降矢温一, 東上震一, 畔柳智司, 薦岡成年, 榎本匡秀, 小島三郎, 若林尚宏
 LMT例に対するCABGにおける術式別遠隔成績の検討
 第47回 日本心臓血管外科学会学術総会, 2017年2月, 東京

医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院 腹膜播種外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Takeshita K, Liu Y, Ishibashi H, Yonemura Y.

Laparoscopic hyperthermic intraperitoneal chemotherapy for peritoneal carcinomatosis from gastric cancer; its beneficial effects on reduction and exact evaluation of the peritoneal cancer index.

The American Surgeon, in press/accepted on 2016/10/1

きづきクリニック

【論文】

木築野百合

女性外科医の活躍について—開業医の立場から—

日本外科学会誌117(5)

日本赤十字社 岐阜赤十字病院 麻酔科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

野竹純平, 山田忠則

AT3欠損症を合併した骨盤臓器脱患者に全身麻酔を施行した1症例
第52回 日本赤十字社医学会総会, 2016年10月, 宇都宮

山田忠則

植物状態患者に施行した全身麻酔の経験

第52回 日本赤十字社医学会総会, 2016年10月, 宇都宮

山田忠則

頸髄症に対する頸椎椎弓形成術と巨大甲状腺腫瘍摘出術を一期的に施行した麻酔経験

日本麻酔科学会東海・北陸支部第14回 学術集会, 2016年9月, 津

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

賀来良輔, 元石 充, 林 一喜, 澤井 聡

胸腺に発生したコレステリン肉芽腫の1切除例

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

林 一喜, 賀来良輔, 元石 充, 澤井 聡

永久気管孔よりDumon Y-stentを留置した1例

第39回 呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋

元石 充, 林 一喜, 賀来良輔, 澤井 聡

全身性血管腫症に合併した肺海綿状血管腫の1切除例

第39回 呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋

元石 充, 堀本かんな, 林 一喜, 澤井 聡

高齢で再発した非小細胞肺癌術後症例の検討

第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

林 一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡, 賀来良輔, 大塩麻友美

肋間神経および交感神経幹由来の腫瘍が隣接していた神経鞘腫の1切除例

第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

堀本かんな, 元石 充, 林 一喜, 澤井 聡, 大塩麻友美

セミノーマを合併した多房性胸腺嚢胞の1切除例

第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

堀本かんな, 元石 充, 林 一喜, 澤井 聡

セミノーマを合併した多房性胸腺嚢胞の1切除例

第53回 近江呼吸器疾患研究会, 2016年9月, 京都

澤井 聡, 堀本かんな, 林 一喜, 元石 充

当院のT790M変異検索におけるliquid biopsyの状況

第53回 近江呼吸器疾患研究会, 2016年9月, 京都

日本赤十字社 京都第一赤十字病院 乳腺外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

張 弘富, 本田晶子, 小谷達也, 李 哲柱

当院における健康保険適用後のインプラント再建の現状

第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

岸本拓磨, 名西健二, 本田晶子, 張 弘富, 小谷達也, 李 哲柱

乳癌術後14年目に同側乳頭部に局所再発した1例

第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

北野早映, 本田晶子, 糸井尚子, 小谷達也, 岸本拓磨, 李 哲柱

3次治療としてペルツズマブ+トラスツズマブ併用療法で長期CRを維持している症例

第14回 日本乳癌学会学術総会, 2016年12月, 大阪

北野早映, 本田晶子, 糸井尚子, 小谷達也, 李 哲柱, 塩津 伸介

mTOR阻害剤の有効性が期待されたが間質性肺炎のため継続が困難であった乳癌多臓器転移の報告

第72回 京滋乳癌研究会, 2016年9月, 京都

公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院 消化器外科

【論文】

〈和文学術論文〉

名嘉山一郎

広背筋皮弁による一次一次的乳房債権術後に発生したChronic Expanding Hematomaの1例

Oncoplastic Breast Surgery, 1(2): 88-91, 2016

鈴木 卓 分担執筆

臨床医マニュアル(『胆管癌, 乳頭部癌』)

臨床医マニュアル(医歯薬出版)第5版; 1243-1250, 2016

名嘉山一郎 分担執筆

臨床医マニュアル(『乳癌』)

臨床医マニュアル(医歯薬出版)第5版; 1993-2002, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

岡本 亮, 名嘉山一郎

患者体験データベース『乳がんに負けないノウハウバンク』づくりを経験して

第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

松田直樹

A L T A注射後排便障害を伴う直腸狭窄の計測と経過

第22回 大腸肛門機能障害研究会, 2016年9月, 東京

岡本 亮

直腸肛門術後出血予防に対するきゅう婦膠がい湯の効果についての検討

第24回 日本消化器関連学会集会(J D D W), 2016年11月, 神戸

松田直樹

内痔核術前・肛門内圧痛点の分析

第71回 大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

岡本 亮

高齢者大腸肛門疾患患者に対する当院の術前外来と高齢者総合機能評価(CGA)の現状について
第71回 大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

川島市郎

肛門縁に発生したBowen病の1例
第71回 大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

村澤哲也

P T P シートの誤飲により直腸穿孔を来し緊急開腹手術となった1例
第71回 大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 伊勢

川島市郎

当院の超高齢者大腸癌の周術期管理について
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

岡田春太郎

上部消化管穿孔と鑑別を要し非手術治療にて軽快した子宮留膿腫破裂に伴う汎発性腹膜炎の1例
第29回 日本外科感染症学会総会学術集会, 2016年11月, 東京

岡本 亮

高齢女性の骨盤臓器脱に対する鏡視下手術導入時のピットフォールについて
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

村澤哲也

腹腔鏡下に摘出し得た無症候性腹膜傍神経鞘腫の1例
第199回 近畿外科学会, 2016年5月, 大阪

岡本 亮

排便機能外来後の治療成績について
第51回 京都病院学会, 2016年6月, 京都

岡本 亮

慢性腎不全患者における急性腹膜炎手術症例の検討
第49回 京都透析懇話会, 2016年8月, 京都

村澤哲也

P T P シートの誤飲により直腸穿孔をきたし緊急開腹術となった1例
第42回 京都医学会, 2016年9月, 京都

岡本 亮

高齢認知症患者に対する直腸脱の治療戦略
第42回 京都医学会, 2016年9月, 京都

公立甲賀病院 呼吸器外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

藤田琢也, 白鳥琢也

子宮筋腫術後, 50年経過後に発見された良性転移性平滑筋種の1例
第57回 日本肺癌学会総会 2016年12月, 福岡

白鳥琢也, 藤田琢也
 肺癌との鑑別を要したメトトレキサート関連リンパ増殖性肺疾患の1例
 第57回 日本肺癌学会総会 2016年12月, 福岡

社会医療法人天神会 古賀病院21

【論文】

〈和文学術論文〉

山口方規, 池添清彦, 宇治祥隆 他
 スtent併用コイル塞栓術を施行した肝切除後胃十二指腸仮性動脈瘤の1例
 日本臨床外科学会雑誌 77(4), 2016

山口方規, 池添清彦他
 幽門側胃切除後, Roux-Y再建術後に内ヘルニアを発症した2例
 臨床と研究 93(9), 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

山口方規, 池添清彦, 宇治祥隆 他
 臍頭十二指腸切除術におけるソマトスタチンアナログ術後予防投与の効果についての検討
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

社会医療法人誠光会 草津総合病院 一般外科・消化器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Yamamoto H, Maeda K, Arima H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata M, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Miura K, Kadowaki M, Tani M.
 Perioperative adiponectin measurement is useful for prediction of postoperative infection in patients with colorectal cancer
 Ann Surg Oncol. 23(Suppl 4): 540-545, 2016/8

Haruta H, Kasama K, Ohta M, Sasaki A, Yamamoto H, Miyazaki Y, Oshiro T, Naitoh T, Hosoya Y, Togawa T, Seki Y, Alan Kawarai Lefor, Tani T.
 Long-Term Outcomes of Bariatric and Metabolic Surgery in Japan: Results of a Multi-Institutional Survey
 Obes Surg. 27(3): 754-762, 2017/3

〈和文学術論文〉

山本 寛
 巻頭トピックス 3.高度肥満症に対する治療
 消化器疾患最新の治療: 2017-2018, 編集・小池和彦・山本博徳・瀬戸泰之・南江 堂

山本 寛, 佐々木 章
 第4章 治療と管理・指導 1.治療法総論 5.外科療法/3.高度肥満症 5.外科療法
 肥満症診療ガイドライン; 編集・日本肥満学会, 2016

山本 寛
 外科治療の効果とそのメカニズム—メタボリックサージェリーへの期待—
 月刊糖尿病 肥満を伴う2型糖尿病のマネージメント; 医学出版, 2016

山本 寛, Trung Vo Nguyen, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
ブドウ糖負荷に対する糖代謝ホルモン動態の消化管の部位による違い
外科と代謝・栄養 50(4); 199-204, 2016

【学会発表】

〈国際学会〉

Yamamoto H.

Medical cost and insurance system for bariatric surgery in Japan.
International congress on obesity and metabolic syndrome, 2016, Seoul

Yamamoto H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata M, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Tani M.
Perioperative adiponectin measurement is useful for prediction of postoperative infection in patients with colorectal cancer.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Yamamoto H, Murata S, Kaida S, Yamaguchi T, Tani M.
]Presence of cancer cells in periarterial tissue from patients with advanced gastric cancer.
40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Yamamoto H, Inoue A, Furukawa A, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Tani M.
Daikenchuto enhances intestinal motility and reduces endotoxin levels.—A novel strategies for the treatment of metabolic syndrome—
DDW 2016, 2016, San Diego

〈全国学会・地方会・その他〉

山本 寛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 村田 聡, 仲 成幸, 谷 眞至
肥満患者に対する消化管手術のマネージメントと血中アディポネクチン測定
第116回 日本外科学会, 2016年4月, 大阪

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 米村 豊
大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除術と温熱化学療法後の術後成績
第116回 日本外科学会, 2016年4月, 大阪

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 米村 豊
腹膜偽粘液腫に対する腹膜切除と温熱化学療法の手術成績
第102回 日本消化器病学会, 2016年4月, 東京

Yamamoto H, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Inoue A, Furukawa A, Kadowak Mi, Obata T, Tani M.
Daikenchuto enhances intestinal motility—Possible strategies for the treatment of metabolic syndrome—
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 米村 豊
P3 大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除術の術後成績の検討
第71回 日本消化器外科学会, 2016年7月, 徳島

山本 寛, 大竹玲子, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 小幡 徹, 卯木 智, 前川 聡, 門脇 真, 古川 顕, 谷 眞至
スリーブ状胃切除術後の糖尿病改善機序におけるメタボリックエンドトキシミアの関与
第34回 日本肥満症治療学会, 2016年7月, 東京

Yamamoto H, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Inoue A, Furukawa A, Kadowak Mi, Obata T, Tani M.
Changes of bacterial flora, circulating endotoxin level and intestinal motility after laparoscopic sleeve gastrectomy.
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 米村 豊
 腹膜切除と温熱化学療法術後合併症
 日本ハイパーサーミア学会 第33回大会, 2016年9月, 筑波

一瀬真澄, 米村 豊, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右, 森河内 豊
 腹腔鏡下HIPEC
 日本ハイパーサーミア学会 第33回大会, 2016年9月, 筑波

山本 寛, 戸川 剛, 小座本雄軌, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 関根 理, 森野勝太郎, 卯木 智, 前川 聡, 谷 眞至
 本邦におけるメタボリックサージェリーの手術適応について
 第37回 日本肥満学会, 2016年10月, 東京

Yamamoto H, Murata S, Tani M.
 Changes of metabolic profile and reconstruction methods of GI tract after gastric cancer surgery.
 JDDW 2016 日本消化器病学会, 2016年11月, 神戸

Yamamoto H, Kadowaki M, Tani M.
 Improvement of metabolic endotoxemia after laparoscopic sleeve gastrectomy.
 JDDW 2016 日本消化器病学会, 2016年11月, 神戸

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 米村 豊
 大腸癌腹膜播種に対する腹膜切除術の術後成績
 JDDW 2016 日本消化器病学会, 2016年11月, 神戸

一瀬真澄, 米村 豊, 平野正満, 水本明良, 高尾信行, 野口耕右, 森河内 豊
 進行再発胃癌に対する集学的治療—腹腔鏡下温熱化学療法後の外科治療の展望—
 第14回 日本消化器外科学会大会, 2016年11月, 神戸

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
 腹部外科手術周術期 アディポネクチン測定の意義—手術翌日に術後感染症のハイリスク患者を抽出する—
 第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
 メタボリックサージェリーの手術適応について
 第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

水本明良, 平野正満, 高尾信行, 一瀬真澄, 野口耕右, 森河内 豊, 米村 豊
 大腸癌腹膜播種に対する完全切除群と減量手術群の比較検討
 第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

山本 寛, 小座本雄軌, 戸川 剛, 大竹玲子, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 谷 眞至
 減量手術による費用対効果を検証する取り組みについて
 第29回 日本内視鏡外科学会, 2016年12月, 横浜

一瀬真澄, 野口耕右, 島本和己, 中村文泰, 境 佐知子, 吉田 敦, 西山順博
 消化器癌終末期の腸閉塞症例に緩和目的にPTEGを施行した4例
 第32回 日本静脈経腸栄養学会学術集会, 2017年2月, 岡山

山本 寛, 貝田佐知子, 山口 剛, 小幡 徹, 古川 顕, 林 周作, 村田 聡, 谷 眞至
 腹部外科手術周術期における大建中湯の効果—大建中湯のメタボリックエンドトキセミアに対する新規治療薬としての可能性—
 平成28年度 富山大学和漢医薬学総合研究所共同研究報告セミナー, 2016年3月, 富山

山本 寛

費用対効果について

肥満・糖尿病外科セミナー，2016年9月，東京

山本 寛

高度肥満症に対する外科治療

第48回 大垣市外科連合会学術講演会，2016年10月，大垣

山本 寛

糖尿病改善にエンドトキシンの低下が関与か—スリーブ状胃切除術による2型糖尿病改善の機序を検討—
Medical Tribune, 2016年11月

山本 寛，貝田佐知子，山口 剛，谷 眞至，小座本雄軌，戸川 剛，萩原明於
メタボリックエンドトキセミアの関与

第10回 日本内視鏡下肥満・糖尿病外科研究会，2016年12月

山本 寛

胃がん切除の術式と再建法で術後に違いメタボリックプロファイルの検討
Medical Tribune, 2017年1月

平野正満

地域包括ケアにおける取り組みについて

平成27年度滋賀県病院大会，滋賀

平野正満

地域におけるがん治療の課題

第26回 滋賀がん化学療法研究会，滋賀

山本 寛

肥満2型糖尿病に対する外科治療

第9回 東播磨糖尿病教育セミナー，2017年3月，加古川

社会医療法人誠光会 草津総合病院 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Y Kawaguchi, J Hanaoka, H Hayashi, N Mizusaki, H Iihara, Y Itoh, T Sugiyama.

Clinical efficacy of afatinib treatment for a patient with leptomeningeal carcinomatosis.

Chemotherapy 62; 147-150, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

川口 庸，赤澤 彰，苗村祐樹，堀本かんな，片岡瑛子，五十嵐知之，大塩恭彦，橋本雅之，花岡 淳
臨床病期 2期～3A期の高齢者肺癌に対する手術療法

第116回 日本外科学会定期学術集会，2016年4月，大阪

川口 庸，赤澤 彰，苗村祐樹，堀本かんな，片岡瑛子，五十嵐知之，大塩恭彦，橋本雅之，花岡 淳

75歳以上の高齢者肺癌における術後PSに関する検討

第59回 関西胸部外科学会学術集会，2016年6月，三重

川口 庸，花岡 淳

自然気胸に対する単孔式手術症例の検討

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会，2016年6月，愛知

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村祐樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
 原発性自然気胸を疑い手術を行った女性気胸症例の検討
 第20回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2016年9月, 東京

川口 庸, 花岡 淳
 アファチニブによる下痢に対するアドソルビンの使用経験
 第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

川口 庸, 赤澤 彰, 苗村祐樹, 堀本かんな, 片岡瑛子, 五十嵐知之, 大塩恭彦, 橋本雅之, 花岡 淳
 気管支内腔をポリープ状に進展した多形癌の2例
 第99回 呼吸器内視鏡近畿支部会, 2016年7月, 大阪

滋賀県立成人病センター 呼吸器内科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

石床 学, 塩田哲広, 野原 淳, 渡邊壽規, 西岡慶喜, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三
 所麻酔下胸腔鏡検査の意義
 第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋

石床 学, 塩田哲広, 岡田健志, 森 菜都美, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 西岡慶喜, 徳野純子, 横山雄平,
 菊地柳太郎, 川上賢三
 確定診断に至らず手術を施行した原発性肺クリプトコッカス症の1例
 第87回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年7月, 大阪

森 菜都美, 岡田健志, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 塩田哲広, 渡邊壽規, 井上賢治
 CTガイド下生検で器質化肺炎と診断した新生児クローン病の1例
 第87回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年7月, 大阪

野原 淳, 岡田健志, 森 菜都美, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 間質性肺炎によりニボルマブの投与中止後も腫瘍の縮小が継続してみられた1例
 第87回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年7月, 大阪

橋本健太郎, 森 菜都美, 岡田健志, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 山本喜啓, 新宅雅幸, 三原 悠
 ACTH産生小細胞肺癌の1例
 第87回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年7月, 大阪

野原 淳, 岡田健志, 森 菜都美, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎,
 川上賢三
 当院におけるALK融合遺伝子陽性肺癌の治療経験
 第104回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016年7月, 大阪

石床 学, 塩田哲広, 岡田健志, 森 菜都美, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎,
 川上賢三
 ニボルマブが奏功した4例
 第104回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016年7月, 大阪

橋本健太郎, 森 菜都美, 岡田健志, 渡邊壽規, 野原 淳, 石床 学, 塩田哲広, 山本喜啓
 治療方針決定にRe-biopsyが有用であった2例
 第104回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016年7月, 大阪

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三
診断に難渋した右下葉孤立性陰影を呈した54歳女性
第104回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2016年7月, 大阪

橋本健太郎, 塩田哲広
pseudoprogressionを疑って2nd biopsyを施行した1例
がん免疫療法カンファレンス in 滋賀, 2016年7月, 草津市

森 菜都美, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
ニボルマブ投与後pseudoprogressionを疑って2nd biopsyを施行した1例
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成28年度夏季学術集会, 2016年7月, 神戸

橋本健太郎, 森 菜都美, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
CTガイド下生検の可能性
NPO法人西日本呼吸器内科医療推進機構 平成28年度夏季学術集会, 2016年7月, 神戸

石床 学, 塩田哲広
先生ならどうする? ~非小細胞肺癌の治療方針を考える~
Meet the Expert on Lung Cancer, 2016年9月, 草津市

塩田哲広
ニボルマブが肺癌治療に与えたインパクト
腎がんカンファレンスin Shiga, 2016年9月, 草津市

橋本健太郎, 塩田哲広
CTガイド下生検の可能性
第4回 滋賀胸部医会学術講演会, 2016年10月, 大津市

塩田哲広
どうする? 肺扁平上皮癌の治療薬
第2回 滋賀肺癌Round Table Meeting, 2016年11月, 草津市

塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 土肥 誠, 山本喜啓, 河野文彦, 新宅雅幸
胸膜生検で小細胞癌, 胸水細胞診で腺癌と診断された1例
第55回 日本臨床細部学会秋季大会, 2016年11月, 別府

石床 学, 塩田哲広, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三
CTガイド下生検の診断率をあげるための当院の取り組み
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

渡邊壽規, 野原 淳, 石床 学, 塩田哲広, 徳野純子, 菊地柳太郎, 川上賢三
ニボルマブの治療効果とPSの関係ならびに投与継続期間に関する検討
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
気管支鏡, CTガイド下生検検体では十分な検体が得られず局所麻酔下胸腔鏡検査を施行した1例
第100回 日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2016年12月, 京都

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
胸水細胞診陰性で局所麻酔下胸腔鏡検査施行し肺癌の胸膜播種と診断した1例
第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

森 菜都美, 西本光希, 平 拓実, 中田侑吾, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
ニボルマブ投与後Pseudoprogressionを疑いセカンドバイオプシーを施行した肺腺癌の1例
第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

中田侑吾, 西本光希, 森 菜都美, 平 拓実, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 低血糖発作を繰り返したSFTの1切除例
 第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

平 拓実, 西本光希, 中田侑吾, 森 菜都美, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 CTガイド下生検で診断し定位放射線治療を施行した小型肺癌の1例
 第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 開心術後に急性増悪を来した気管支・肺結核の1例
 第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

西本光希, 森 菜都美, 平 拓実, 中田侑吾, 橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 ナスメントが奏功した閉塞性睡眠時無呼吸症候群の1例
 第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 2016年12月, 京都

橋本健太郎, 塩田哲広
 CTガイド下生検の可能性
 第7回 がん診療グランドセミナー, 2016年12月, 京都

橋本健太郎, 塩田哲広
 肺胞低換気症に対して急性期NIPPVを使用した1例
 滋賀NPPVスモールミーティング, 2017年1月, 大津市

塩田哲広
 「息苦しい！その正体は？」—肺の生活習慣病, COPDを防ぐには—
 野洲市健康づくり研修会, 2017年1月, 野洲市

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 肺癌における気道狭窄にAEROハイブリッドステントを留置した1例
 NPO法人西日本呼吸器内科推進機構 平成29年度12回 総会, 2017年2月, 京都

野原 淳, 橋本健太郎, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 ニボルマブにて原発巣は著明に縮小したが新たな気道内病変や多発脳転移が出現した2例
 第105回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年2月, 京都

橋本健太郎, 野原 淳, 石床 学, 渡邊壽規, 塩田哲広
 CTガイド下生検で確定診断に至った小型肺癌の3例
 第105回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年2月, 京都

石床 学, 橋本健太郎, 野原 淳, 渡邊壽規, 塩田哲広, 徳野純子, 横山雄平, 菊地柳太郎, 川上賢三
 Re-biopsyにてT790Mを検出した肺癌10例の検討
 第105回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年2月, 京都

橋本健太郎, 塩田哲広
 ミリ肺癌の診断に向けて～当院の挑戦～
 第57回 京都呼吸器研究会, 2017年3月, 京都

静岡県立静岡がんセンター 大腸外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Tomioka H, Kagawa H.

Robotic-assisted laparoscopic versus open lateral lymph node dissection for advanced lower rectal cancer. *Surgical Endoscopy*. 30(2); 8-721, 2016

Hino H, Kagawa H, Kinugasa Y, Shiomi A, Yamaguchi T, Yamakawa Y, Numata M, Sugiura T, Uesaka K.

Long-term survival with surgery for metachronous retroperitoneal lymph node and pancreatic metastases after curative resection of rectal cancer: a case report.

Surgical Case Reports. 2(1); 49, 2016

Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi, Tomioka H, Kagawa, Yamakawa.

Robotic-assisted vs. conventional laparoscopic surgery for rectal cancer: short-term outcomes at a single center.

Surgery Today 46(8); 62-957, 2016

Shiomi A, Kinugasa Y, Yamaguchi T, Kagawa H, Yamakawa.

Robot-assisted versus laparoscopic surgery for lower rectal cancer: the impact of visceral obesity on surgical outcomes.

International journal of Colorectal disease. 31(10); 10-1701, 2016

Ogi Y, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Abe M.

A case of small intestinal endometrioid adenocarcinoma.

Surgical Case Reports. 2(97); 1-5, 2016

〈和文学術論文〉

沼田正勝, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士

特集 直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清のすべて ロボット手術による側方郭清術
手術 70(5); 649-54

山口智弘, 絹笠祐介

V.下部直腸癌に対する剥離授動 3.直腸切離におけるピットフォール・偶発症の対応 ②leak test陽性への対応

Knack & Pitfalls 腹腔鏡下大腸癌手術の要点と盲点; 156-157, 2016

沼田正勝, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士

直腸癌に対する腹腔鏡下側方郭清のすべて ロボット手術による側方郭清術

手術70(5); 649-654, 2016年4月

内田恒之, 賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士

cT1大腸癌に対する内視鏡治療後の追加腸切除症例におけるリンパ節転移・遠隔転移再発の検討

日本大腸肛門病会誌70; 9-13, 2017

【学会発表】

〈国際学会〉

Furutani A, Yamaguchi T, Kinugasa Y, Shiomi A, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Sugiura T, Bando E, Terashima M, Uesaka K.

Laparoscopic Colectomy for Obstructive Right-sided Colon Cancer without Decompression of Small Bowel.

40th International College of Surgeons World Congress of the 2016, Kyoto

Yamaguchi T, Konishi T, Ito M, Yatsuoka T, Shiozawa M, Hasegawa J, Yamaguchi T, Hida K, Kinugasa Y, Watanabe M.

Laparoscopic versus Open Lateral Lymph Node Dissection for Locally Advanced Low Rectal Cancer: A Large Multicenter Cohort Study in Japan.

40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Shiomi A, Kinugasa Y, Yamaguchi T, Kagawa H, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Hino H, Terashima M, Uesaka K.

Robotic Surgery for Rectal Cancer; Surgical Outcomes for 462 Consecutive Patients.

40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Hino H, Shiomi A, Kinugasa Y, Yamaguchi T, Kagawa Y, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A, Bando E, Terashima M, Uesaka K.

Robotic-assisted Abdominoperineal Resection: Short-term Outcomes for 43 Consecutive Patients.

40th World Congress of the International College of Surgeons, 2016, Kyoto

Matsumiya Y, Kagawa H, Kinugasa Y, Shiomi A, Yamaguchi T, Yamakawa Y, Numata M, Furutani A.

Laparoscopic surgery for rectal gastroin.

15th World Congress of Endoscopic Surgery, 2016, China

〈全国学会・地方会・その他〉

古谷晃伸, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 仲井 希, 桐上由利子, 眞部祥一, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 大木悠輔, 長澤芳信, 日野仁嗣, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦

若年者大腸癌の臨床病理学的検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 桐上由利子, 眞部祥一, 日野仁嗣, 長澤芳信, 大木悠輔, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦

術前側方リンパ節転移陽性症例に対する治療戦略

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 仲井 希, 古谷晃伸, 桐上由利子, 眞部祥一, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 長澤芳信, 大木悠輔, 日野仁嗣, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦

IIEFを用いた直腸癌術後性機能障害の検討

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 仲井 希, 山岡雄祐, 村田飛鳥, 眞部祥一, 桐上由利子, 日野仁嗣, 長澤芳信, 大木悠輔, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦

ロボット支援下直腸癌手術の有用性

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

長澤芳信, 賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 仲井 希, 古谷晃伸, 桐上由利子, 眞部祥一, 村田飛鳥, 山岡雄祐, 大木悠輔, 日野仁嗣, 坂東悦郎, 寺島雅典, 上坂克彦

当科での大腸内分泌細胞癌9例の治療成績

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

山口智弘

ロボット支援下直腸癌手術の実際と今後の展望

第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

賀川弘康, 絹笠祐介, 楠原正俊, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 日野仁嗣, 堀内泰江, 浄住佳美, 浦上研一, 大島啓一, 山口 建

生殖細胞系列変異の全エクソン解析によるLynch症候群 大腸癌切除症例の網羅的探索

第85回 大腸癌研究会, 2016年7月, 大阪

賀川弘康, 絹笠祐介, 塩見明生, 山口智弘, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸, 松宮由利子, 眞部祥一, 山岡雄祐, 長澤芳信, 日野仁嗣, 大木悠輔, 加藤俊一郎, 鈴木卓弥, 鳥居 翔

直腸授動におけるラパロガーゼを多用した愛護的操作

第35回 東海大腸外科治療研究会, 2016年7月, 名古屋

古谷晃伸, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝
右側結腸癌イレウスに対する非減圧腹腔鏡下大腸切除術の検討
静岡内視鏡外科研究会, 2016年7月, 静岡

眞部祥一, 塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術
静岡内視鏡外科研究会, 2016年7月, 静岡

塩見明生, 絹笠祐介, 山口智弘, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸
直腸癌に対するロボット支援下手術
静岡内視鏡外科研究会, 2016年7月, 静岡

日野仁嗣, 山口智弘, 絹笠祐介, 塩見明生, 賀川弘康, 山川雄士, 沼田正勝, 古谷晃伸
腹腔鏡下手術における結腸ストーマ造設時の腹膜外経路の有用性
静岡内視鏡外科研究会, 2016年7月, 静岡

社会医療法人高井会 高井病院 乳腺外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

徳川奉樹, 蜂須賀 崇, 辻 純子, 金井奈緒子

Trastuzumab/Perutuzumab併用療法・TDM-1療法が短期にPD後Lapatinib/Capecitabine療法の長期奏功症例
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京ビッグサイト

辻 純子, 徳川奉樹, 蜂須賀 崇, 金井奈緒子

患者アンケート調査による検診率向上への技師ができることの模索
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京ビッグサイト

徳川奉樹, 蜂須賀 崇, 米田勝晃, 生川賀代, 徳永奈都子, 松下節子, 北村正美, 田本博美
ドセタキセルの継続投与を目指したチームでの浮腫への取り組み
第54回 日本癌治療学会学術総会, 2016年10月, パシフィコ横浜

藤田隼也, 石田圭佑, 松本みゆき, 小林厚, 徳川奉樹

がんリハビリテーションがギアチェンジに役立った悪性リンパ腫の1例
第21回 日本緩和医療学会学術大会, 2016年6月, 国立京都国際会館

【講演会】

徳川奉樹

「乳がんと身近に遭遇する乳腺の良性疾患」

浪速区医師会 学術講演会 2016年7月 浪速区医師会館

徳川奉樹

「在宅でむくみに向き合うとき役立つ研修」

奈良県訪問看護支援センター事業, 2016年11月, 大和郡山市民交流会館

医療法人医仁会 武田総合病院 呼吸器外科

【論文発表】

〈和文学術論文〉

鈴木雄治, 橋本雅之, 一瀬増太郎

胸郭内に進展した急性特発性胸壁血腫の1手術例

日本臨床外科学会雑誌 77(6) : 1353-1357

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

北村将司, 石田恵子, 鈴木雄治

当科におけるCO2送気を用いた胸腔鏡下縦隔腫瘍手術の工夫

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

北村将司, 石田恵子, 鈴木雄治

自然気胸に対する胸腔鏡下肺部分切除施行後に縫合補強材による胸水貯留を認めた1例

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

鈴木雄治, 北村将司, 石田恵子

特発性胸壁血腫の1手術例

第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都

鈴木雄治, 北村将司, 石田恵子

気管支鏡下腫瘍切除後に導入化学療法および根治術を施行した右上葉肺癌の1例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋

北村将司, 石田恵子, 鈴木雄治

当科における単孔式胸腔鏡下肺部分切除術の工夫

第35回 近畿胸腔鏡研究会, 2016年8月, 大阪

北村将司, 石田恵子, 鈴木雄治

左乳がん手術と左胸腔アプローチでの胸腺手術を同時に行った1症例

第57回 日本肺癌学会総会, 2016年12月, 福岡

北村将司, 石田恵子, 鈴木雄治

N2腺癌に対してAfatinib投与後に手術を施行した1例

第57回 日本肺癌学会総会, 2016年12月, 福岡

帝京大学医学部附属溝口病院 外科

【論文発表】

〈和文学術論文・その他〉

藤野昇三

専門医の意義は何なのか？

川崎市医師会会報 350 : 69

藤野昇三

万華鏡—他都市医師会から—専門医の意義は何なのか？

札医通信 595 : 40

【学会発表】

〈国際学会〉

藤野昇三, 渡部真人, 奥村武弘

Hand Assisted Thoracoscopic Surgery (HATS) for Metastatic Lung Tumors-Improved Technique for More Safety and Accuracy

17th wawaord conference on lung cancer, 2016/12/4-7, Vienna, Austria

〈全国学会・地方会・その他〉

丸野 要, 水野真広, 渡部真人, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 谷口桂三, 藤野昇三, 小松保則, 小嶋真千子, 室伏利久, 高橋美紀子, 川本雅司

乳房転移と甲状腺転移をきたした卵巣原発の非小細胞型神経内分泌癌の1例

第24回 日本乳癌学会, 2016年6月, 東京

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 金 俊行, 小山ひかり, 幸山 正, 高橋美紀子, 川本雅司, 安田一郎

超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)により診断した大腸癌術後縦隔リンパ節転移の1例

第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋

谷口桂三, 内藤善久, 水野真弘, 伊藤希, 瀧端康博, 春日井 尚, 丸野 要, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三

内視鏡手術のトラブルシュート 上腹部内視鏡手術のトラブルシュート 大血管・気管損傷の経験から

第71日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

藤野昇三

呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント

日総研セミナー, 2016年7月, 東京

藤野昇三

呼吸器外科領域における疾患・病態の理解と術前・術後のケアポイント

日総研セミナー, 2016年7月, 名古屋

小林紀子, 南部敦史, 川本雅司, 阿曾達也, 高橋美紀子, 林 貴菜, 多湖正夫, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三, 岡部友吾, 小山ひかり, 幸山 正

特発性自然気胸患者の肺尖部の画像所見と病理所見の検討

第20回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会, 2016年9月, 東京

藤野昇三, 渡部真人, 奥村武弘, 岡部友吾, 小山ひかり, 幸山 正, 高橋美紀子, 川本雅司

同一肺葉にいわゆる混合型大細胞神経内分泌癌2個と定型カルチノイドを認めたアスベスト暴露歴を有する1例

第48回 日本臨床分子形態学会, 2016年9月, 熊本

奥村武弘, 水野真広, 藤田正博, 渡部真人, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 春日井尚, 丸野要, 谷口桂三, 藤野昇三

肺癌肺切除後に声門下気管狭窄と胃潰瘍穿孔を発症した1例

第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

丸野 要, 藤田正博, 原田 学, 水野真弘, 渡部真人, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 谷口桂三, 藤野昇三, 高橋美紀子, 川本雅司

男性に発生した嚢胞内非浸潤性乳託癌の1例

第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

谷口桂三, 原田 学, 藤田正博, 水野真弘, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 渡部真人, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 藤野昇三

腹腔鏡下胃切除における標準的幽門下リンパ節郭清

第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

宮澤光男, 合川公康, 渡邊幸博, 岡田克也, 岡本光順, 春日井 尚, 小林隆司, 内藤善久, 渡部真人, 奥村武弘, 平能康充, 丸野 要, 谷口桂三, 藤野昇三
 腹腔鏡下肝胆脾手術 困難性評価 腹腔鏡下肝切除術の困難性評価 術中出血量からの検討
 第78回 日本臨床外科学会, 2016年11月, 東京

内藤善久, 谷口桂三, 水野真広, 春日井 尚, 藤田正博, 平能康充, 小林隆司, 渡部真人, 奥村武人, 藤野昇三
 大腸穿孔19例の臨床的検討
 第71回 日本大腸肛門病学会, 2016年11月, 三重

水野真広, 谷口桂三, 春日井 尚, 内藤善久, 小林隆司, 平能康充, 渡部真人, 奥村武弘, 丸野要, 藤野昇三
 腎細胞癌術後フォローのCTで偶然発見された骨盤内腫瘤を的確に診断し治療した1例
 第71回 日本大腸肛門病学会, 2016年11月, 三重

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘, 岡部友吾, 小山ひかり, 幸山 正
 肺癌診療における中心静脈ポートの有用性についての検討
 第57回 日本肺癌学会, 2016年12月, 横浜

谷口桂三, 藤田正博, 原田 学, 山崎健司, 水野真弘, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 渡部真人, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 藤野昇三
 腹腔鏡下胃全摘D2とその再建
 第29回 日本内視鏡外科学会, 2016年12月, 横浜

谷口桂三, 原田 学, 山崎健司, 藤田正博, 水野真弘, 渡部真人, 平能康充, 小林隆司, 内藤善久, 奥村武弘, 春日井 尚, 丸野 要, 藤野昇三
 腹腔鏡下脾温存脾体尾部切除術～胃の挙上と脾臓脱転～
 第29回 日本内視鏡外科学会, 2016年12月, 横浜

渡部真人, 藤野昇三, 奥村武弘
 転移性肺腫瘍に対する当院での手術法(Hand Assisted Thoracic Surgery HATS)による病変の同定と切除における工夫について
 第26回 日本呼吸器外科医会冬季学術集会, 2017年2月, 長野

水野真広, 谷口桂三, 伊藤 希, 春日井 尚, 丸野 要, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三
 Ball valve synoromeを呈した粘膜下腫瘍を腹腔鏡下にて整復した1例
 第88回 日本胃癌学会, 2016年3月, 別府

谷口桂三, 内藤善久, 水野真弘, 春日井 尚, 丸野 要, 渡部真人, 奥村武弘, 藤野昇三
 腹腔鏡下胃全摘後の新しい再建の工夫 Circular stapler吻合に管腔内からのLinaer staplerを付加して
 第88回 日本胃癌学会, 2016年3月, 別府

社会医療法人信愛会 暇生会脳神経外科病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

村上耕一郎, 仲 成幸, 赤堀浩也, 北村直美, 飯田洋也, 清水智治, 山口 剛, 森 毅, 山田篤史, 谷 徹, 谷 眞至
 レイトレース法に基づく3D標的シミュレータの肝癌症例への使用経験
 第116回 日本外科学会総会, 2016年4月, 大阪

村上耕一郎, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 前平博充, 塩見尚礼, 仲 成幸, 谷 眞至
 肝切除術後のSSI予防における皮下ドレーンの必要性
 第28回 日本肝胆膵外科学会学術集会, 2016年6月, 大阪

村上耕一郎, 仲成幸, 徳田淳一, 山田篤史, 赤堀浩也, 油木純一, 貝田佐知子, 山口剛, 太田裕之, 園田寛道,
清水智治, 波多伸彦, 谷徹, 谷眞至
肝癌局所療法における3D治療誘導システムの導入
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

村上耕一郎, 仲成幸, 山田篤史, 徳田淳一, 波多伸彦, 谷徹, 谷眞至
肝癌マイクロ波凝固療法における3D治療誘導システム導入
第35回 Microwave Surgery研究会, 2016年9月, 熊本

村上耕一郎, 仲成幸, 山田篤史, 飯田洋也, 前平博充, 北村直美, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 谷眞至, 谷徹
3Dシミュレーションによる腹腔鏡下肝部分切除術におけるアプローチ法決定の試み
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

村上耕一郎, 森本瑞代, 井之上佐由利, 松尾彩加, 桑島知代, 竹采京子, 上里千枝, 跡地春仁
難治性褥瘡の経過中, 境界域亜鉛欠乏に対し補充療法を行った治療経験
第27回 日本静脈経腸栄養学会学術総会, 2017年2月, 岡山

村上耕一郎, 龍田健, 瀬戸伸一, 跡地春仁, 板垣成彦, 村尾佳則, 小玉正智
S状結腸内にCT検査における通常の階調処理では描出困難な異物を認めた1例
第53回 腹部救急医学会総会, 2017年3月, 横浜

医療法人東和会 第一東和会病院 内視鏡外科

【学会発表】

〈国際学会〉

Fujimura M, Sato I, Mizutani M, Tabata T.
Standardizations of totally extraperitoneal (TEP) laparoscopic inguinal hernia repair using tumescent anesthesia.
The12th International Congress of the APHS(Asia Pacific Hernia Society), 2016/10, Tokyo

〈全国学会・地方会・その他〉

藤村昌樹, 佐藤功, 水谷真, 田畑智丈, 田儀知之, 高山昇一, 鳶岡成佳
腹腔鏡下総胆管切石術で技術認定医を取得するために一当院の標準術式と成績—
近畿内視鏡外科学会, 2016年9月, 京都

千野佳秀

外科医が広げようLCBDEの輪—フレキシブルスコープが拓く一期的切石—
第78回 臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

藤村昌樹, 佐藤功, 水谷真, 田畑智丈, 田儀知之, 高山昇一, 鳶岡成佳
腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術は果たして王道となり得るか? TEPの標準化に向けての当院
の取り組みとその成績
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

藤村昌樹, 佐藤功, 水谷真, 田畑智丈, 田儀知之, 高山昇一, 鳶岡成佳
病態生理を考慮した腹腔鏡下総胆管切石術の手法と工夫—7年間の症例から考えるdescision tree と今後の展望—
第6回 腹腔鏡下胆道手術研究会, 2017年2月, 仙台

公益財団法人 豊郷病院 外科

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

井内武和, 児玉泰一, 山口 剛, 藤野光廣
 幽門側胃切除Roux-Y再建後に通過障害をきたした1例
 第20回 琵琶湖消化器外科懇話会, 2016年6月, 守山市

藤野光廣

豊郷病院 外科紹介—腹腔鏡下手術を中心に—
 愛知犬上医師連絡会, 2019年9月, 犬上郡

長浜市立湖北病院

【論文】

〈和文学術論文〉

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡,
 山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村 一郎, 藤野光廣, 土橋洋史,
 宇治祥隆, 安 炳九, 池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籠 洋三,
 長谷川 均, 熊野公東, 横田 徹, 藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹,
 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵, 小林知恵, 生内一夫, 谷 眞至
 胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
 滋賀医大雑誌 29, 2016

井内武和, 児玉泰一, 清水智治, 蔦本慶裕, 三宅 亨, 望月慶子, 佐藤浩一郎, 東田宏明, 谷 眞至
 豊郷病院における腹腔鏡下大腸癌手術の現状と課題
 滋賀医大雑誌 29, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

佐藤浩一郎
 湖北地域メディカルコントロール専門部会 委員

佐藤浩一郎

湖北保険医療圏地域ガン予防診療推進協議会 委員

佐藤浩一郎

湖北地域救急医療高度化推進協議会 委員

日本赤十字社 長浜赤十字病院

【論文】

〈英文学術論文〉

Tuy HD, Shiomi H, Mukai-sho KI, Naka S, Shimizu T, Sonoda H, Mekata E, Endo Y, Kurumi Y, Sugihara H, Tani M,
 Tani T.
 ABCG2 expression in colorectal adenocarcinomas may predict resistance to irinotecan.
 Oncol Lett. 12(4); 2752-2760, 2016/10

Maehira H, Shiomi H, Murakami K, Akabori H, Naka S, Ishida M, Tani M.
 Lymphoepithelial cyst with sebaceous glands of the pancreas: a case report.
 Surg Case Rep. 2(1); 98, 2016/12

Fujimoto T, Imaeda H, Takahashi K, Nishida A, Shioya M, Inatomi O, Bamba S, Shiomi H, Tani M, Andoh A. Eotaxin-3 (CCL26) Expression in Human Pancreatic Myofibroblasts. *Pancreas*. 45(3); 4-420, 2016/3

〈和文学術論文〉

谷口正展, 東口貴之, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
吊り上げ式腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した小児胆嚢結石症の2例
日本内視鏡外科学会雑誌 22(1), 2017

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 安 炳九, 飯田洋也, 井内武和, 池添清彦, 一瀬真澄, 宇治祥隆, 籾 洋三, 貝塚真知子, 柿原直樹, 神谷純広, 川崎誠康, 熊野公東, 小林知恵, 佐藤浩一郎, 龍田 健, 田中彰恵, 東田宏明, 土橋洋史, 中村一郎, 西村彰一, 生内一夫, 長谷川 均, 林 直樹, 藤田益嗣, 藤野光廣, 水野 文, 八木俊和, 矢澤武史, 山口智弘, 横田 徹, 谷 眞至
原発性胃癌に対する術後抗凝固療法 関連病院におけるアンケート結果報告
滋賀医科大学雑誌 29(1): 51-54, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史, 宇治祥隆, 安 炳九, 池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籾 洋三, 長谷川 均, 熊野公東, 横田 徹, 藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹, 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵, 小林知恵, 生内一夫, 谷 眞至
胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討 関連病院におけるアンケート調査の結果から
滋賀医科大学雑誌 9(1): 27-31, 2016

谷 徹, 仲 成幸, 村上耕一郎, 東口貴之, 谷 総一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼
新規マイクロ波手術支援機器と市販エネルギー機器との動物実験による機能比較
胆と膵 37(6): 581-588, 2016

生田大二, 前平博充, 塩見尚礼, 赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹腔鏡下胆嚢摘出術直後に発症した感染性肝嚢胞の1例
日本臨床外科学会雑誌 77(1): 148-153, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

塩見尚礼, Tuy Hoang Dinh, 清水智治, 植木智之, 貝田佐知子, 三宅 亨, 村上耕一郎, 北村直美, 赤堀浩也, 太田裕之, 山口 剛, 森 毅, 園田寛道, 村田 聡, 山本 寛, 目片英治, 仲 成幸, 遠藤善裕, 向所賢一, 杉原洋行, 谷 眞至
大腸癌組織におけるABCG2の発現とイリノテカンベースの化学療法に対する抵抗性
第84回 大腸癌研究会, 2016年1月, 熊本

中村誠昌, 松原峰生
滋賀県の新しい災害医療体制
—保健所+災害医療コーディネーター+DMAT活動拠点本部=災害医療地方本部—
第21回 日本集団災害医学会総会・学術集会, 2016年2月, 東京

中村誠昌, 丸山嘉一(日本赤十字社医療センター)
日本赤十字社の原子力災害における救護活動体制とその研修への取り組み
第21回 日本集団災害医学会総会・学術集会, 2016年2月, 東京

中村誠昌, 松原峰生(大津赤十字病院)
原子力災害における滋賀県の医療対応と訓練
第21回 日本集団災害医学会総会・学術集会, 2016年2月, 東京

丹後泰久, 東口貴之, 谷口正展, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院における胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術症例の検討
 第5回 腹腔鏡下胆道手術研究会, 2016年2月, 福井

塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
 歩行型耕運機による腹部外傷の1例
 第52回 日本腹部救急医学会, 2016年3月, 新宿

塩見尚礼, Hoang Dinh Tuy, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 目片英治, 仲 成幸, 谷 徹,
 谷 眞至
 Ko143によるABCG2の阻害が大腸癌細胞におけるイリノテカンの効果を増強する
 第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
 出血性肝嚢胞の1例
 第28回 日本肝胆膵外科学会, 2016年6月, 大阪

丹後泰久, 塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 中村一郎, 中村, 誠昌, 下松谷 匠
 胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術症例の検討
 第28回 日本肝胆膵外科学会, 2016年6月, 大阪

下松谷 匠, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
 StageIV胃癌に対するConversion Therapy
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

丹後泰久, 東口貴之, 谷口正展, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院における胆嚢癌に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術症例の検討
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

瀬戸山 博(東近江総合医療センター), 目片英治, 東出俊一, 山本秀和, 増田 守, 土屋邦之, 下松谷 匠
 消化器がん医療連携に関する滋賀県の現状について
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
 急性膵炎で発症した十二指腸乳頭部癌の1例
 第52回 日本胆道学会, 2016年9月, 横浜

塩見一徳, 塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 乳癌治療中に妊娠が判明した1例
 第52回 日本赤十字社医学会総会(研修医症例発表), 2016年10月, 宇都宮

林谷俊和, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 乳腺脂肪分泌癌の1例
 第52回 日本赤十字社医学会総会(研修医症例発表), 2016年10月, 宇都宮

谷口正展, 東口貴之, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
 当院での膀胱浸潤大腸癌症例の検討
 第24回 消化器関連学会週間 JDDW2016, 2016年11月, 神戸

塩見尚礼, 中村一郎, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 下松谷 匠
 予防的局所陰圧閉鎖療法は穿孔性腹膜炎手術後のSSI発生を予防し創傷治癒を早めるか?
 第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
StageIV胃癌に対するConversion Therapy
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
胃癌穿孔症例の検討
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京
塩見一徳, 塩見尚礼, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
若年性骨粗鬆症で発症しサブクリニカルクッシング症候群を呈した副腎過形成の1例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

下松谷 匠, 東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
早期胃癌に対する噴門側胃切除-Double-Tract再建
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

中村一郎, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
腹腔鏡(補助)下胃切除術後における合併症発生に関する因子の検討
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

塩見尚礼, 丹後泰久, 東口貴之, 谷口正展, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 仲 成幸, 谷 眞至
当院における腹腔鏡下肝臓手術の導入における問題点と対策
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

塩見尚礼, 後藤彰彦, 高井由桂, 村上耕一郎, 太田裕之, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 清水智治, 濱田泰以,
谷 眞至
内視鏡外科手術指導における効果的学習システムの構築～内視鏡手術シミュレーターを用いた指導から
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

東口貴之, 長門優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
巨大後腹膜脂肪肉腫の3例
第110回 滋賀県外科医会, 2016年12月, 大津

塩見尚礼
米韓腸外科見学記
第4回 びわこ腸癌フォーラム, 2016年2月, 草津

下松谷 匠, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼
StageIV胃癌に対するConversion Therapy
第26回 滋賀化学療法研究会, 2016年2月, 草津

下松谷 匠, 長門 優, 谷口正展, 中村誠昌, 佐藤祐斗, 中田俊朗, 新谷修平, 井上博登, 今井隆行, 田辺浩喜,
馬場弘道, 土井久和, 駒井康伸
十二指腸腫瘍に対し腹腔鏡・内視鏡合同手術を施行した2例
日本消化器内視鏡学会近畿支部第96回 支部例会, 2016年6月, 京都

中村一郎, 塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 下松谷 匠
腹腔鏡下胃切除術後1日目におけるドレーン排液アミラーゼ値の意義
第109回 滋賀県外科医会, 2016年6月, 大津

塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠
急性膵炎を契機に診断された十二指腸乳頭部癌の1切除例
滋賀消化器研究会第77回 学術講演会, 2016年7月, 大津

塩見尚礼, 佐藤祐斗, 新谷修平, 井上博登, 今井隆行, 田辺浩喜, 馬場弘道, 駒井康伸, 東口貴之, 長門 優,
谷口正展, 丹後泰久, 塩見一徳, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 下松谷 匠, 楠井隆行, 岡 直哉
腓尾部病変の1例
滋賀肝胆膵勉強会, 2016年7月, 草津

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠, 原田吉将,
草場拓人
当院で経験した緑膿菌性PD腹膜炎の2例
第37回 滋賀腎・透析研究会, 2016年9月, 大津

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠,
食道裂孔ヘルニアに対しメッシュを用いて腹腔鏡下修復術を施行した1例
第29回 近畿内視鏡外科研究会, 2016年9月, 京都

中村一郎, 塩見尚礼, 東口貴之, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村誠昌, 下松谷 匠
腹腔鏡下(補助下)下幽門側胃切除術(L(A)DG)後における合併症発生に関与する因子の検討
第29回 近畿内視鏡外科研究会, 2016年9月, 京都

谷口正展, 東口貴之, 長門 優, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
傍ストマヘルニアに対するメッシュを用いた腹腔鏡下手術の治療経験
第23回 滋賀内視鏡手術研究会, 2016年11月, 草津

東口貴之, 長門 優, 谷口正展, 丹後泰久, 張 弘富, 中村一郎, 中村誠昌, 塩見尚礼, 下松谷 匠
巨大後腹膜脂肪肉腫の3例
第110回 滋賀県外科医会, 2016年12月, 大津

医療法人社団医神会 のじまバスキュラーアクセスクリニック

【論文】

〈和文学術論文〉

野島武久, 本宮康樹
端側patachute techniqueでのAVF作製手術
腎と透析 81 ; 23-25, 2016

野島武久, 本宮康樹
直達の内膜摘除によるシャント再建手術
腎と透析 81 ; 40-42, 2016

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

野島武久
内シャントの作製・修復・合併症治療—シャントケアのtips & tricks—
第27回 播但透析従事者研究会, 2016年7月, 兵庫県

野島武久
バスキュラーアクセスを共に考え, 共に守る
兵庫県腎友会丹播ブロック学習会, 2016年7月, 兵庫県

野島武久
より低侵襲で行うシャント治療
第11回 日本クリアランスギャップ研究会学術集会, 2016年8月, 岡山市

野島武久

シャント作製と合併症治療 ～シャントケアとpitfalls～
奈良透析合同勉強会，2016年9月，奈良県

野島武久

VAの周術期ケア ～術中・術後から修復まで～
第9回 血液浄化 Step Upsセミナー，2016年10月，大阪市

野島武久

～すべて見せます！！ノーカット，無修正AVF～
第4回 究道会，2016年10月，大阪市

野島武久，本宮康樹

バスキュラーアクセス治療時の疼痛対策についての検討
第20回 日本アクセス研究会学術集会・総会，2016年11月，熊本市

野島武久，本宮康樹

動静脈血栓除去を要したシャント再建手術
第20回 日本アクセス研究会学術集会・総会，2016年11月，熊本市

野島武久

透析シャントトラブル・仮性瘤・感染
第5回 地域のシャントを考える会，2016年11月，神戸市

野島武久

バスキュラーアクセスを共に考え，共に守る
兵庫県腎友会丹播ブロック学習会，2016年7月，兵庫県

野島武久，本宮康樹

VAIVTとOPEの相補領域・限界領域
第22回 バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会，2017年3月，東京都

はえうち診療所

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

生内一夫，清水智治，園田寛道，植木智之，三宅 亨，生田大二，谷 眞至，目片英治，太田裕之，遠藤善裕
回盲弁より脱出して発見された小腸癌の1例

第71回 日本大腸肛門病学会学術集会，2016年11月，伊勢市

生内一夫

私の痔核診療 肛門疾患診療ガイドラインをふまえて
滋賀県肛門疾患勉強会，2017年3月，草津市

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Yamamoto H, Maeda K, Arima H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata E, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Miura K, Kadowaki M, Tani M.
 Perioperative Adiponectin Measurement is Useful for Prediction of Postoperative Infection in Patients with Colorectal Cancer.
 Ann Surg Oncol. 23(4): 540-545, 2016

Tuy HD, Shiomi H, Mukaisho KI, Naka S, Shimizu T, Sonoda H, Mekata E, Endo Y, Kurumi Y, Sugihara H, Tani M, Tani T.
 ABCG2 expression in colorectal adenocarcinomas may predict resistance to irinotecan.
 Oncol Lett. 12(4): 2752-2760, 2016

Yamamoto H, Maeda K, Arima H, Sonoda H, Shimizu T, Mekata E, Kaida S, Yamaguchi T, Murata S, Miura K, Kadowaki M, Tani M.
 Perioperative Adiponectin Measurement is Useful for Prediction of Postoperative Infection in Patients with Colorectal Cancer.
 Ann Surg Oncol. 23(4): 540-545, 2016

Takaoka M, Okuyama A, Mekata E, Masuda M, Otani M, Higashide S, Higashi T.
 Staging discrepancies between Hospital-Based Cancer Registry and Diagnosis Procedure Combination data.
 Jpn J Clin Oncol. 46(8): 788-91, 2016

Takebayashi K, Sonoda H, Shimizu T, Ohta H, Minamiguchi H, Ishida M, Mekata E, Endo Y, Tani T, Tani M.
 Pyomyositis at the surgical site in a patient with chronic myeloid leukemia: a case report and literature review.
 World J Surg Oncol. 14: 116, 2016

〈和文学術論文〉

三宅 亨, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 目片英治, 井内武和, 東田宏明, 遠藤善裕, 谷 眞至
 当院における結腸癌に対する腹腔鏡手術の長期成績
 滋賀医科大学雑誌 29(1): 64-67, 2016

貝田佐知子, 山口 剛, 大竹玲子, 村田 聡, 山本 寛, 植木智之, 三宅 亨, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 太田裕之, 園田寛道, 清水智治, 塩見尚礼, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 安 炳九, 飯田洋也, 井内武和, 池添清彦, 一瀬真澄, 宇治祥隆, 籠 洋三, 貝塚真知子, 柿原直樹, 神谷純広, 川崎誠康, 熊野公東, 小林知恵, 佐藤浩一郎, 龍田 健, 田中彰恵, 東田宏明, 土橋洋史, 中村一郎, 西村彰一, 生内一夫, 長谷川均, 林 直樹, 藤田益嗣, 藤野光廣, 水野 文, 八木俊和, 矢澤武史, 山口智弘, 横田 徹, 谷 眞至
 原発性胃癌に対する術後抗凝固療法 関連病院におけるアンケート結果報告
 滋賀医科大学雑誌 29(1): 51-54, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 貝田佐知子, 山口 剛, 村田 聡, 山本 寛, 村上耕一郎, 赤堀浩也, 塩見尚礼, 仲 成幸, 一瀬真澄, 川崎誠康, 中村一郎, 藤野光廣, 土橋洋史, 宇治祥隆, 安 炳九, 池添清彦, 八木俊和, 龍田 健, 東田宏明, 井内武和, 神谷純広, 西村彰一, 籠 洋三, 長谷川均, 熊野公東, 横田 徹, 藤田益嗣, 林 直樹, 山口智弘, 飯田洋也, 水野 文, 貝塚真知子, 柿原直樹, 佐藤浩一郎, 矢澤武史, 田中彰恵, 小林知恵, 生内一夫, 谷 眞至
 胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討 関連病院におけるアンケート調査の結果から
 滋賀医科大学雑誌 29(1): 27-31, 2016

岡内 博, 新田信人, 小島正継, 目片英治
 術前CTで診断した鼠径部膀胱ヘルニアの3例
 日本臨床外科学会雑誌 77(7): 1854-1858, 2016

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹膜播種再発の高リスク因子を有する進行大腸癌に対する腹腔内温熱化学療法の有効性についての検討
癌と化学療法 43(12): 1440-1442, 2016年11月

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

腹膜播種を伴う原発性大腸癌に対する術中温熱化学療法の有効性についての検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

瀬戸山 博, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 森田幸代, 居松建治, 諏訪美雪, 目片英治
滋賀県における「5大がん地域連携パス」への取り組み 第6報
第18回 日本医療マネジメント学会学術総会, 2016年4月, 福岡

岩切悦子, 朝日信一, 上田桂子, 宮城暢子, 坂野祐司, 瀬戸山 博, 森田幸代, 本田富得, 田中 巧
オピノイドスイッチングを工夫することで速やかな疼痛の改善が得られた1例
第10回 日本緩和医療薬学会年会, 2016年6月, 浜松

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 生田大二, 目片英治, 遠藤善裕, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 村田 聡, 山本 寛, 赤堀浩也, 飯田洋也, 仲 成幸, 谷 眞至
腹膜播種再発の高リスク因子を有する大腸癌に対する術中温熱化学療法の有効性の検討
第38回 日本癌局所療法研究会, 2016年6月, 東京

瀬戸山 博, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 森田幸代, 居松建治, 諏訪美雪, 目片英治
チームで取り組む地域の緩和医療と患者相談支援活動から得たもの
第21回 日本緩和医療学会学術大会, 2016年6月, 京都

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 貝田佐知子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 谷 眞至
消化器癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

目片英治, 谷 徹, 岡内 博, 小島正継, 新田信人, 瀬戸山 博, 梶山隆啓, 島垣昌明
樹脂性手術器具の開発
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

新田信人, 目片英治, 小島正継, 岡内 博, 瀬戸山 博, 長谷川正人
当院における高齢者の急性胆嚢炎手術例の検討
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

小島正継, 長谷川正人, 瀬戸山 博, 岡内 博, 新田信人, 目片英治
OGIBにおいてメッケルシンチと小腸内視鏡が診断に有用であった, 腹腔鏡下に切除したメッケル憩室の1例
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

瀬戸山 博, 目片英治, 東出俊一, 山本秀和, 増山 守, 土屋邦之, 下松谷 匠
消化器がん医療連携に関する滋賀県の現況について
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

瀬戸山 博, 大石和美
地域で支える「がん治療から看取りまで」への取り組み
第40回 日本死の臨床研究会年次大会, 2016年10月, 札幌

油木純一, 森 毅, 坂井幸子, 加藤久尚, 寺田好孝, 富田 香, 河合由紀, 清水智治, 仲 成幸, 谷 眞至
ヘルニア嚢内にVPシャントチューブが迷入した1例
第14回 日本ヘルニア学会2016, 2016年10月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 植木智之, 三宅 亨, 目片英治, 山本 寛, 村田 聡, 山口 剛, 貝田佐知子, 大竹玲子, 赤堀浩也, 村上耕一郎, 北村直美, 飯田洋也, 竹林克士, 仲 成幸, 谷 眞至
 関連病院へのアンケート調査による胃癌および大腸癌術後に発症したClostridium difficile感染症の検討
 第24回 日本消化器関連学会週間, 2016年11月, 神戸

瀬戸山 博, 坂野祐司, 朝日信一, 宮城暢子, 居松建治, 諏訪美雪, 目片英治
 東近江総合医療センターの地域がん診療連携活動
 第70回 国立病院医学会, 2016年11月, 沖縄

朝日信一, 岩切悦子, 宮城暢子, 坂野祐司, 瀬戸山博, 森田幸代, 本田富得, 田中 巧
 リファブチン中止後フェンタニルによる傾眠が疑われた1例
 第70回 国立病院医学会, 2016年11月, 沖縄

太田裕之, 水黒知行, 橋本京三, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 生田大二, 油木純一, 遠藤善裕, 若林正人, 生内一夫, 小島正継, 目片英治, 谷 眞至
 分娩外傷による直腸腔瘻に対して会陰体修復術を施行した2例
 第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 三重

油木純一, 森 毅, 富田 香, 加藤久尚, 竹林克士, 坂井幸子, 山口 剛, 園田寛道, 清水智治, 谷 眞至
 当院におけるCTによる鼠径ヘルニア術前診断
 第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

太田裕之, 新田信人, 小島正継, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 郭 翔志, 井上貴至, 目片英治
 卵巣嚢腫を伴うイレウスに対して腹腔鏡手術を施行した1例
 第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

目片英治, 園田寛道, 清水智治, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 遠藤善裕, 谷 眞至, 谷 徹
 腫瘍先進部における免疫浸潤細胞(CD10陽性)を用いた病期分類
 第86回 大腸癌研究会, 2017年1月, 岩手

植村明美, 瀬戸山 博
 MRSAアウトブレイク制圧に向けた感染対策チーム(ICT)の取り組み
 第32回 日本環境感染学会学術大会, 2017年2月, 神戸

油木純一, 清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 植木智之, 三宅 亨, 山口 剛, 北村直美, 赤堀浩也, 貝田佐知子, 村上耕一郎, 谷 眞至
 腹腔鏡下で修復した子宮広間膜ヘルニアの1例
 第52回 日本腹部救急医学会総会, 2017年3月, 東京

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 貝田佐知子, 北村直美, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 眞至
 当院におけるMSI検査を施行した大腸癌症例の検討
 第85回 大腸癌研究会, 2016年7月, 大阪

太田裕之, 清水智治, 園田寛道, 三宅 亨, 植木智之, 竹林克士, 貝田佐知子, 山口 剛, 飯田洋也, 北村直美, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 仲 成幸, 谷 眞至
 大腸癌術後の抗凝固療法と臨床経過の関連性
 第15回 癒着・血栓制御研究会, 2016年12月, 大津

瀬戸山 博, 目片英治, 太田裕之, 小島正継, 長谷川正人, 大竹玲子, 森谷鈴子
 Xelox + Bevacizumabによる直腸癌術前化学療法について
 第27回 滋賀癌化学療法研究会, 2017年, 草津

岡山千尋, 水田寛郎, 神田暁博, 伊藤明彦, 辻川知之, 五月女隆男, 小島正継
 切除不能膀胱扁平上皮癌に対し化学療法が奏功し外科的切除しえた1例
 日本消化器病学会近畿支部第106回 例会, 2017年, 大阪

岩切悦子, 朝日信一, 宮城暢子, 坂野祐司, 瀬戸山 博, 森田幸代, 川崎順子, 福井久美子, 本田富得, 田中 巧
疼痛管理に関する意識調査と今後の展望
第38回 日本病院薬剤師会近畿学術大会, 2017年, 大阪

菊地克久, 米田真悟, 中村暁子, 藤野能久, 森 幹士
硬膜外麻酔後の胸髄硬膜外血腫による対麻痺患者のリハビリテーションの経験
第42回 日本リハビリテーション医学会近畿地方会学術集会, 2017年, 大津

清水智治, 園田寛道, 太田裕之, 三宅 亨, 植木智之, 山本 寛, 赤堀浩也, 目片英治, 遠藤善裕, 谷 真至
The clinical significance of procalcitonin and microbial factors following gastrointestinal surgery
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

太田裕之
大腸癌化学療法におけるチーム医療の実践
南加賀大腸癌診療セミナー, 2016年7月, 石川

太田裕之, 新田信人, 小島正継, 瀬戸山 博, 長谷川正人, 目片英治
当院における閉塞性大腸癌の治療戦略(2015年大腸癌登録データの報告とともに)
第34回 東近江総合医療センター臨床談話会, 2016年8月, 東近江

目片英治
病診連携—大学病院とがん支援病院の経験—
がん診療連携セミナー, 2016年9月, 福井

菊地克久
実際の整形外科診療～骨粗鬆症・リウマチ・疼痛治療を中心に～
福知山地区第9回 学術講演会, 2017年2月, 福知山

油木純一
ソケイヘルニア嵌頓症例の検討
第35回 臨床談話会, 2017年2月, 東近江

【プロジェクト】

目片英治【副総括事業代表者】
日本医療研究開発機構委託 医工連携事業化推進事業「軽量樹脂製手術器具の開発・事業化」
2016年4月1日～2017年3月31日

独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター 呼吸器外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Ohuchi M, Inoue S, Ozaki Y, Ueda K.

Platelet count and mean platelet volume are associated with not only bone, soft tissue, and lymph node metastases but also with malignant pleural effusion in lung cancer patients.

Neoplasms. 64(1): 140-147

〈和文学術論文・その他〉

上田桂子, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣

衝突癌を含む同一肺葉内同時性多発肺癌の1例

日本呼吸器外科学会雑誌 30(7): 882-887

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子, 和田 広, 坂下拓人
結核性胸膜炎に合併した線維形成型胸膜中皮腫の1例
日本呼吸器学会誌 6(2); 104-108

井上修平
東近江総合医療センターの3年間の足跡と今後の展望!!
「大風」独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター院内報 132; 2

井上修平
院長新年度あいさつ～東近江総合医療センターとなって3年が経過しました!
独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター広報誌「つながり」22; 1-2

井上修平
2016年度 滋賀医科大学外科同門会誌「巻頭言」
滋賀医科大学外科同門会誌2016年度; 9

井上修平
2017年新年挨拶～外来・管理棟の建て替えの予算申請は55億円!～
大風(独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター院内報) 141; 1-2

井上修平
時代の流れの速さに温故知新が追いつかない!!
滋賀県医師会報 69(1); 29-30

井上修平
Hummerが壊れた!
東近江医師会報 12; 21-22

井上修平
新しい病院の理念・基本方針について(2017年3月) 何のための病院理念・基本方針かをもう一度考えて欲しい!!
大風(独立行政法人国立病院機構東近江総合医療センター院内報)143; 1-2

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
微小胸腔内転移の検出における肺胸膜捺印細胞診の意義
第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都市

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
急性膿胸に対する胸腔洗浄中に空気塞栓症を発症した1例
第33回 日本呼吸器外科学会総会, 2016年5月, 京都市

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
巨大胸腺嚢胞の1切除例
第199回 近畿外科学会, 2016年5月, 大阪府

上田桂子, 尾崎良智, 大内政嗣, 井上修平
当院での結核性胸膜炎の診断における局所麻酔下胸腔鏡検査の有用性
第91回 日本結核病学会総会, 2016年5月, 金沢市

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子, 小熊哲也, 坂下拓人
乳び胸水で発症し局所麻酔下細径胸腔鏡検査で診断したMALTリンパ腫再発の1例
第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋市

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 小熊哲也, 坂下拓人
当施設で軟性気管支鏡下に摘出し得た気道異物症例の検討
第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋市

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
核性胸膜炎に合併した線維形成型胸膜中皮腫の1例
第39回 日本呼吸器内視鏡学会学術集会, 2016年6月, 名古屋市

上田桂子, 大内政嗣, 尾崎良智, 井上修平
当施設における肺悪性腫瘍による続発性気胸の検討
第53回 近江呼吸器疾患研究会, 2016年9月, 京都市

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
当施設における悪性腫瘍による続発性気胸の検討
第20回 日本気胸・嚢胞性肺疾患学会総会, 2016年9月, 東京都

西尾公祐, 大内政嗣, 五月女隆男
相対的血流増加が原因と思われる腹腔内臓動脈瘤破裂の2症例
第44回 日本救急医学会総会・学術集会, 2016年11月, 東京都

五月女隆男, 大内政嗣, 陌間大輔
精神科を有しない二次救急医療機関での自損症例への対応と滋賀県の取り組み
第44回 日本救急医学会総会・学術集会, 2016年11月, 東京都

大内政嗣, 五月女隆男, 陌間大輔
滑車神経麻痺を伴った後頭部外傷の1例
第44回 日本救急医学会総会・学術集会, 2016年11月, 東京都

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子, 和田 広, 坂下拓人
オクトレオチド, 胸膜癒着療法と内視鏡的経鼻膈管ドレナージで治療した膈管胸膜癒の1例
第100回 日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会, 2016年11月, 大阪市

和田 広, 坂下拓人, 井上修平, 尾崎良智, 大内政嗣, 上田桂子
多剤併用にて治療を行ったMycobacterium fortuitumによる肺非結核性抗酸菌症の1例
第88回 日本呼吸器学会近畿地方会, 第118回 日本結核病学会近畿地方会, 2016年12月, 京都市

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
癌性胸膜炎の胸水貯留に対するタルクおよびOK432とミノサイクリンによする胸膜癒着療法の比較検討
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡市

尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣, 上田桂子
当院における新TNM分類(UICC第8版)に対応した肺癌切除例の検討
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡市

大内政嗣, 井上修平, 尾崎良智, 上田桂子
進行再発肺扁平上皮癌に対するNedaplatin+Docetaxel療法とCaeboplatin+Nab-paclitaxel療法の後方視的検討
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月, 福岡市

上田桂子, 尾崎良智, 大内政嗣, 井上修平
Gefitinib不応後にBevacizumabとErlotinib併用療法が有効であった肺腺癌の1例
第27回 滋賀癌化学療法研究会, 2017年2月, 草津市

上田桂子, 尾崎良智, 井上修平, 大内政嗣
縦隔腫瘍を機に発見された多発骨病変を伴う多発性形質細胞腫の1例
第105回 日本肺癌学会関西支部学術集会, 2017年2月, 大阪市

上田桂子, 尾崎良智, 大内政嗣, 井上修平
 二期の手術後に有茎広背筋皮弁による胸壁再建を要した悪性末梢神経鞘腫の1例
 第54回 近江呼吸器疾患研究会, 2017年3月, 京都市

大内政嗣
 検体採取の現状と今後の方針
 滋賀エリア肺癌セミナー「EGFR陽性肺癌治療の現状と展望」, 2017年3月, 草津市

医療法人社団昂会 日野記念病院 外科

【論文】

〈英文学術論文〉

Kodama H, Murata S, Ishida M, Yamamoto H, Yamaguchi T, Kaida S, Miyake T, Takebayashi K, Kushima R, Tani M.

Prognostic impact of CD44-positive cancer stem-like cells at the invasive front of gastric cancer.
 Br J Cancer. 116(2); 186-194, 2017/1/17

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

Hirokazu Kodama, Satoshi Murata, Mitsuaki Ishida MD, Hiroshi Yamamoto, Tsuyoshi Yamaguchi, Sachiko Kaida, Tohru Miyake, Katsushi Takebayashi, Ryoji Kushima, Masaji Tani.

Prognostic impact of CD44-positive cancer stem-like cells at the invasive front of gastric cancer.

第89回 日本胃癌学会総会, 2017年3月, 広島

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, Pham Minh Ngoc, 三宅 亨, 梅田朋子, 北村直美, 河合由紀, 山口 剛,
 貝田佐知子, 竹林克士, 山本 寛, 谷 眞至
 胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の存在と臨床的意義
 第75回 日本癌学会総会, 2016年10月, 横浜

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, Minh Ngoc Pham, 三宅 亨, 梅田朋子, 北村直美, 河合由紀, 山口 剛,
 貝田佐知子, 大竹玲子, 山本 寛, 谷 眞至
 胃がんにおける予後予測因子の探索 胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の存在と臨床的意義
 第54回 日本癌治療学会学術集会, 2016年10月, 横浜

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 梅田朋子, 谷 眞至
 胃癌原発巣におけるCD44s, CD44v6, CD44v9の発現の局在と臨床的意義の関連
 第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, Pham Minh Ngoc, 三宅 亨, 梅田朋子, 山口 剛, 貝田佐知子, 竹林克士, 山本 寛,
 谷 眞至
 胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞の臨床的意義
 Clinical significance of CD44-positive cancer stem cells at invasion front of gastric cancer
 第29回 日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2016年12月, 久留米

児玉泰一, 村田 聡, 石田光明, 山本 寛, 山口 剛, 貝田佐知子, 三宅 亨, 竹林克士, 九嶋亮治, 谷 眞至
 胃癌浸潤最深部におけるCD44陽性癌幹細胞様細胞の予後への影響
 第33回 滋賀医大シンポジウム, 2017年2月, 滋賀医科大学

児玉泰一, 東田宏明, 迫 裕孝, 花澤一芳
 巨大な乳腺悪性葉状肉腫の1例
 第110回 滋賀県外科医会, 2016年12月, 徳島

東田宏明, 児玉泰一, 花澤一芳
Larrey孔ヘルニアに対し腹壁外結紮法を併用した腹腔鏡下ヘルニア修復術の1例
第29回 近畿内視鏡外科研究会, 2016年9月, 京都

特定医療法人正長会 ベルランド総合病院 外科

【論文】

〈和文学術論文〉

川崎誠康, 豊田 翔, 山本堪介, 今川敦夫, 前平博充, 小川雅生
ヘルニア門先行アプローチによる腹腔鏡下腹壁ヘルニア修復手術
日本外科系連合学会誌 42(1): 19-23, 2017

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

川崎誠康, 奥村 哲, 革島洋志, 豊田 翔, 山本勘介, 伊藤 文, 水村直人, ゆう賢, 前平博充, 今川敦夫, 小川雅生, 亀山雅男
再発からみた腹腔鏡下大腸癌手術適応の検討
第85回 大腸癌研究会, 2016年7月, 大阪

川崎誠康, 今川敦夫, 奥村 哲, 革島洋志, 豊田 翔, 山本勘介, 水村直人, 前平博充, 小川雅生, 亀山雅男
複数回 再発大腸癌症例に対する外科治療の意義
第71回 日本消化器外科学会総会, 2016年7月, 徳島

川崎誠康

がんについて正しく知ろう 大腸癌
堺市健康倶楽部, 2016年7月, 大阪

川崎誠康, 奥村 哲, 革島洋志, 豊田翔, 山本勘介, 伊藤 文, 水村直人, ゆう 賢, 前平博充, 今川敦夫, 小川雅生, 亀山雅男
腹腔鏡下大腸癌手術の再発形式の検討
第71回 日本大腸肛門病学会学術集会, 2016年11月, 三重

川崎誠康, 奥村 哲, 革島洋志, 豊田 翔, 山本勘介, 伊藤 文, 水村直人, ゆう 賢, 前平博充, 今川敦夫, 小川雅生, 亀山雅男
梨状筋下孔から骨盤腔へ進展した左大臀筋下巨大脂肪肉腫の1切除例
第78回 日本臨床外科学会総会, 2016年11月, 東京

川崎誠康, 奥村 哲, 革島洋志, 豊田 翔, 山本勘介, 水村直人, ゆう 賢, 前平博充, 今川敦夫, 小川雅生, 亀山雅男
腹腔鏡・経仙骨アプローチを併用して摘出した仙骨前面から臀部皮下に進展した巨大epidermoid cystの1例
第29回 日本内視鏡外科学会総会, 2016年12月, 横浜

川崎誠康

大腸癌 腹膜播種治療の臨床
第616回 大阪外科集談会, 2017年3月, 大阪

特定医療法人正長会 ベルランド総合病院 乳腺外科

【論文】

〈和文学術論文〉

阿部 元
乳がんと漢方薬 Mebio 33(2): 83-90, 2016

【学会発表】

〈国際学会〉

Abe H, Keramoto A, Yamasaki K, Yoneda K, Ogawa M, Kawasaki M, Kameyama M.
The combination of preoperative computed tomography lymphography and intraoperative fluorescence imaging navigation for sentinel lymph node biopsy of early breast cancer patients
2016 San Antonio Breast Cancer Symposium, 2016/12, Henry B.Gonzalez Convention Center

〈全国学会・地方会・その他〉

阿部 元, 山崎圭一, 寺本敦子, 米田光里, 小川雅生, 川崎誠康, 亀山雅男
I C G 蛍光法およびC T-lymphographyによる乳癌センチネルリンパ節固定の比較検討
第116回 日本外科学会定期学術集会, 2016年4月, 大阪

阿部 元, 寺本敦子, 山崎圭一, 米田光里, 小川雅生, 川崎誠康, 米田玄一郎, 吉村道子
HER2陽性乳癌に対するPertuzumabを用いた術前化学療法の検討
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

山崎圭一, 阿部 元, 寺本敦子
術前術後にFEC100療法を受ける患者の栄養状態の実際
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

寺本敦子, 山崎圭一, 米田光里, 阿部 元, 吉村道子
急速に増大した過誤腫の1例
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

米田光里, 寺本敦子, 山崎圭一, 阿部 元
乳腺原発MALTリンパ腫の1例
第24回 日本乳癌学会学術総会, 2016年6月, 東京

阿部 元
ホルモン陽性閉経前乳癌の治療
乳腺・甲状腺外科フォーラム, 2016年11月, 京都

阿部 元
地域で取り組む地域連携パス 乳がん術後フォローアップパス
第2回 がん地域連携クリニカルパス研修会, 2016年12月, 堺市

阿部 元
Best of SABCS2016
中外製薬社内研修会, 2017年1月, 中外製薬

阿部 元
乳がん—正しい知識を持って検診を受けましょう—
中区ピンクリボンフェスタ, 2016年11月, 中区役所

独立行政法人国立病院機構 **南京都病院 呼吸器外科**

【学会発表】

〈全国学会・地方会・その他〉

林 一喜, 堀本かんな, 元石 充, 澤井 聡, 賀来良輔, 大塩麻友美
肋間神経及び交感神経幹由来の腫瘍が隣接していた神経鞘腫の1切除例
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月19-21日, 福岡

堀本かんな, 林一喜, 元石充, 澤井聡, 大塩麻友美
セミノーマを合併した多房性胸腺嚢胞の1切除例
第57回 日本肺癌学会学術集会, 2016年12月19-21日, 福岡

特定医療法人社団御上会 **野洲病院**

【論文】

〈和文学術論文〉

生田大二, 西村彰一, 園田寛道, 清水智治, 渡邊信介, 谷 眞至
腹腔鏡下大腸癌手術に日本内視鏡外科学会技術認定医の指導が及ぼす影響
滋賀医大誌 30(1); 18-21, 2017

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

■ 役 員

■ 定 款

■ 賛助会員

■ 広告掲載ご協力

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会役員・委員

〔理事 長〕 ・小 玉 正 智

〔副 理 事 長〕 ・加 藤 弘 文

〔理 事〕 ・谷 徹 ・浅 井 徹
 ・谷 眞 至 (2017 年度会長)
 ・花 澤 一 芳 (会計・総務) ・平 野 正 満 (会計・総務)
 ・来 見 良 誠 (教育・学術) ・井 上 修 平 (教育・学術)
 ・遠 藤 善 裕 (広報) ・白 石 昭 一 郎 (広報)

〔監 事〕 ・寺 田 信 國 ・山 本 明

〔代 議 員〕 ・一 瀬 増 太 郎 ・井 上 修 平 ・江 口 豊
 ・遠 藤 善 裕 ・岡 藤 太 郎 ・尾 崎 良 智
 ・木 下 武 ・来 見 良 誠 ・澤 井 聡
 ・清 水 智 治 ・白 石 昭 一 郎 ・鈴 木 友 彰
 ・寺 本 晃 治 ・花 岡 淳 ・花 澤 一 芳
 ・平 野 正 満 ・藤 野 昇 三 ・水 黒 知 行
 ・目 片 英 治

〔委 員 会 委 員〕

(会計・総務) ・大 塩 恭 彦 ・森 毅
 (選挙管理委員会) ・鈴 木 友 彰 ・目 片 英 治 ・大 塩 恭 彦
 (企画(教育・学術)) ・村 田 聡 ・花 岡 淳 ・河 合 由 紀
 (広報) ・山 口 剛 ・木 下 武
 (事務局) ・花 岡 淳 ・鈴 木 友 彰 ・清 水 智 治

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会定款

第1章 総則

(名称)

第1条 当法人は、一般社団法人滋賀医科大学外科同門会と称する。

(主たる事務所の所在地)

第2条 当法人は、主たる事務所を滋賀県大津市に置く。

2. この法人は、理事会の決議により前項のほか、従たる事務所を必要な場所に置くことができる。

(目的)

第3条 当法人は、外科に関する学術の研鑽、普及及び滋賀医科大学外科学講座の発展と向上及び地域における外科医療の充実を目的とする。

(事業)

第4条 当法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術振興及び研究援助
- (2) 滋賀医科大学外科学講座の拡充と設備の強化及びその助成
- (3) 外科を志す人材勧誘活動とその支援
- (4) 関連病院及び地域医療機関との連携強化
- (5) 会員相互の親睦をはかるための行事
- (6) その他この法人の目的達成に必要と認められる事業

(公告方法)

第5条 当法人の公告方法は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

(機関)

第6条 当法人の機関として、社員総会及び理事以外に理事会及び監事を置く。

第2章 会員及び社員

(会員の資格及び社員)

第7条 当法人の会員は、次の3種とし、当法人の目的に賛同するものは、当法人の会員になることができる。

- (1) 正会員 滋賀医科大学外科学講座の過去または現在の在籍者、および希望者
- (2) 特別会員 滋賀医科大学外科学講座の非常勤講師、あるいはこれに準じるもの
- (3) 賛助会員 法人の事業を賛助する団体及び個人

2. 当法人に第3章の規定に基づき正会員の中から選出された代議員を置き、代議員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(正会員の権利)

第8条 正会員は、第3章に定める代議員選挙の選挙権及び被選挙権を等しく有するほか、法人法に規定された次に掲げる権利を代議員（社員）と同様に当法人に対して行使することができる。

- (1) 法人法第14条第2項に定める権利（定款の閲覧等）
- (2) 法人法第32条第2項に定める権利（社員名簿の閲覧等）
- (3) 法人法第50条第6項に定める権利（社員の代理権証明書等の閲覧等）
- (4) 法人法第52条第5項に定める権利（電磁的方法による議決権行使記録の閲覧等）
- (5) 法人法第57条第4項に定める権利（社員総会の議事録の閲覧等）
- (6) 法人法第129条第3項に定める権利（計算書類等の閲覧等）
- (7) 法人法第229条第2項に定める権利（清算法人の貸借対照表の閲覧等）
- (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項に定める権利（合併契約等の閲覧等）

(入会)

第9条 当法人の会員となるには、当法人所定の入会申込書により入会の申し込みをし、理事会の承認を得なければならない。

(入会金及び会費)

第10条 会員は、当法人の目的を達成するため、それに必要な経費を支払う義務を負う。

2. 会員は、社員総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

(会員名簿)

第11条 当法人は、会員の氏名又は名称及び住所を記載した会員名簿（この名簿は、法人法上の「社員名簿」を兼ねるものとする。）を作成し、当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき
- (2) 成年被後見人又は被補佐人になったとき
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は解散したとき
- (4) 正当な理由無く3年以上会費を滞納し、催告を受けてもそれに応じず、納入しないとき
- (5) 除名されたとき

(退会)

第13条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第14条 当法人の会員が、当法人の名誉を棄損し、若しくは当法人の目的に反する行為をしたとき、又は社員としての義務に違反したときは、法人法第49条第2項に定める社員総会の特別決議により除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。

(提出金品の不返還)

第15条 既納の入会金、会費及びその他の提出金品は、返還しない。

第3章 代議員

(代議員)

第16条 当法人に代議員を置き、概ね正会員数の7%の割合で選出された代議員をもって、法人法上の社員とする（端数の取扱いについては理事会で定める。）。

2. 代議員は、第12条に掲げる事由により退会した場合は、法人法上の社員としての地位を喪失し、退社するものとする。

(代議員の選出)

第17条 代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。代議員の選挙を行うために必要な細則は理事会において定める。

2. 正会員は、他の正会員と等しく代議員選挙に立候補し又は代議員を選挙する権利を有する。理事及び理事会は、代議員を選出することはできない。

(任期)

第18条 代議員の任期は、選出後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会（定時代議員総会）の終結の時までとする。

ただし、任期満了後においても後任者が選出されるまではその職務を行わなければならない。

2. 任期満了前に退任した代議員の補欠として選出された者の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。
3. 増員により選出された代議員の任期は、他の代議員の任期の残存期間と同一とする。

(補欠代議員の予選)

第19条 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えてあらかじめ補欠の代議員を選出することができる。この場合の代議員の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。

2. 補欠の代議員を予選する場合には、次に掲げる事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の代議員である旨
- (2) 当該候補者を1人又は2人以上の特定の代議員の補欠の代議員として選出するときは、その旨及び当該特定の代議員の氏名
- (3) 同一の代議員(2人以上の代議員の補欠として選出した場合にあっては、当該2人以上の代議員)につき2人以上の補欠の代議員を選出するときは、当該補欠の代議員相互間の優先順位

3. 第1項の補欠代議員の予選に係る決議が効力を有する期間は、当該決議後3年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会(定時代議員総会)の終結の時までとする。

第4章 社員総会

(招集等)

第20条 社員総会は、第3章の代議員をもって組織する。

2. 前項の社員総会をもって法人上の社員総会とする。

3. 当法人の社員総会は、定時社員総会と臨時社員総会とし、定時社員総会は毎事業年度終了後2ヶ月以内に、臨時社員総会は必要がある場合に臨時開催する。

4. 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事長が招集する。

5. 総社員の5分の1の議決権を有する社員は、理事長に対し、社員総会の目的である事項及び招集の理由を示して社員総会の招集を請求することができる。

6. 社員総会の議長は、理事長がこの任に当たる。ただし、理事長に事故若しくは支障があるときは副理事長がこれに代わる。

7. 社員総会の招集は、法令に別段の定めがある場合を除き、開催日の1週間前までに、その会議の日時、場所、及び目的である事項を記載した書面又は電磁的方法によって通知しなければならない。

(権限)

第21条 社員総会は、当法人の最高議決機関として、次の事項について決議する。

- (1) 事業報告
- (2) 役員を選任又は解任
- (3) 定款の変更
- (4) 役員報酬等の額及び規定
- (5) 法人法第113条に規定する役員の一部免除
- (6) 会員の除名
- (7) 解散及び残余財産の処分
- (8) 理事会において社員総会に付議した事項
- (9) その他重要な事項

(議決権)

第22条 社員総会における議決権は、社員1人につき1個とする。

(定足数及び決議の方法)

第23条 社員総会は、総社員の過半数の出席がなければ開催することができない。

2. 社員総会の決議は、法令又はこの定款に定めがある場合を除き、総社員の議決権の過半数を有する社員が出席し、出席した当該社員の議決権の過半数をもって行う。

3. 前項に規定にかかわらず、次の決議は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 役員等の責任の一部免除
- (4) 定款の変更
- (5) 解散
- (6) その他法令で定められた事項

(書面表決等)

第24条 やむを得ない理由のために社員総会に出席できない社員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって又は電磁的方法により表決し、若しくは他の会員を代理人として委任することができる。

2. 前項の場合における前条の規定については、その社員は出席したものとみなす。

3. 理事又は社員が社員総会の決議の目的である事項について提案した場合において、その提案について社員の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(社員総会議事録)

第25条 社員総会の議事については、法令の定めるところにより議事録を作成し、社員総会の日から10年間主たる事務所に据え置く。

2. 議長は、前項に議事録に記名押印する。

第5章 役員等

(役員設置等)

第26条 当法人に次の役員を置く。理事3名以上15名以内 監事2名以内

2. 理事のうち1名を代表理事とする。

3. 代表理事を理事長とし、理事のうち1名を副理事長、2名以内を常任理事、1名を事務局長とすることができる。

(事務局及び職員)

第27条 当法人に、事務を処理するため事務局を設け、事務局長及び必要な職員を置く。

2. 事務局長は、理事会の議決を経て理事長が委嘱し、職員は理事長が任免する。

3. 事務局の組織及び運営に関する必要な事項は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

(選任等)

第28条 理事及び監事は、社員総会の決議によって選任する。

2. 理事長、副理事長、常任理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務権限)

第29条 理事長は、当法人を代表し、その業務を執行する。

2. 副理事長は理事長を補佐し、常任理事は、当法人の業務を分担執行する。

3. 事務局長は当法人の事務を執行する。

4. 理事長、常任理事及び事務局長は、毎事業年度毎に4ヶ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務権限)

第30条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2. 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、当法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(任期)

第31条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2. 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会終結の時までとし、再任を妨げない。

3. 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

4. 役員は、辞任又は任期の満了後において、定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

(解任)

第32条 役員は、社員総会の決議によって解任することができる。ただし、監事を解任する場合は、総社員の半数以上であって、総社員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(報酬)

第33条 役員は、無報酬とする。

2. 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3. 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(取引の制限)

第34条 理事が次に掲げる取引をしようとする場合は、理事会において、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

(1) 自己又は第三者のためにする当法人の事業の部類に属する取引

(2) 自己又は第三者のためにする当法人との取引

(3) 当法人がその理事の債務を保証することその他理事以外の者との間における当法人とその理事との利益が相反する取引

(責任の一部免除又は限定)

第35条 理事または監事は一般法人法第111条第1項の賠償責任について、法令に定める要件に該当する場合には、理事会の決議によって、賠償責任額から法令に定める最低責任限度額を控除して得た額を限度として免除することができる。

第6章 理事会

(構成)

第36条 当法人に理事会を置く。

2. 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第37条 理事会は、次の職務を行う。

(1) 当法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長、副理事長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第38条 理事会は、理事長が招集する。

2. 理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第39条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。ただし、理事長が欠けた時又は理事長に事故あるときは、理事長があらかじめ理事会の決議を経て定めた順位により他の理事がこれに代わるものとする。

(決議)

第40条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第41条 理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案に異議を述べた場合を除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。

(理事会議事録)

第42条 理事会の議事については、法令で定めるところにより議事録を作成する。

2. 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名又は記名押印し、10年間当法人の主たる事務所に据え置くものとする。

(理事会規則)

第43条 理事会に関する事項は、法令又はこの定款に定めるもののほか、理事会において定める理事会規則による。

第7章 決算

(事業年度)

第44条 当法人の事業年度は、毎年1月1日から12月31日までの年1期とする。

(事業計画及び収支予算)

第45条 当法人の事業計画及び収支予算については、毎事業年度開始日の前日までに理事長が作成し、理事会の決議を経て社員総会の承認（理事会の承認）を受けなければならない。

2. 前項の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、社員総会の決議に基づき、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入を得又は支出することができる。

3. 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第46条 当法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経て定時社員総会に提出し、第1号、第2号についてはその内容を報告し第3号から第5号の書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告書

(2) 事業報告書の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 損益計算書（正味財産増減計算書）

(5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書

2. 第1項の書類のほか、監査報告の書類を主たる事務所に5年間据え置くとともに、定款及び会員名簿を主たる事務所に据え置くものとする。

(剰余金の処分制限)

第47条 この法人は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることができない。

(残余財産の帰属)

第48条 清算をする場合において、この法人の残余財産は、類似の事業を目的とする公益社団法人又は公益財団法人に帰属させるものとする。

2. 前項に規定する他の公益社団法人又は公益財団法人は、第17条に規定する社員総会の決議により定めるものとする。

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 賛助会員一覧

2017年6月1日現在

赤穂市民病院
一般財団法人真和会 京都大橋総合病院
医療法人医仁会 武田総合病院
医療法人恭昭会 彦根中央病院
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
医療法人弘正会 西京都病院
医療法人社団浅ノ川 心臓血管センター 金沢循環器病院
医療法人社団昂会 日野記念病院
医療法人社団昂会 湖東記念病院
医療法人社団美松会 生田病院
医療法人社団洛和会 音羽病院
医療法人仁生会 甲南病院
医療法人総心会 長岡京病院
医療法人東和会グループ 第一東和会病院
医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院
医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院
医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
医療法人芙蓉会 南草津病院
医療法人マキノ病院
医療法人友仁会 友仁山崎病院
医療法人よつば会 くろづ外科医院
近江八幡市立総合医療センター
公益財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
公益財団法人 豊郷病院
公立甲賀病院
国民健康保険 小松市民病院
社会医療法人畿内会 岡波総合病院
社会医療法人誠光会 草津総合病院
社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院
社会医療法人天神会 古賀病院 21
社会医療法人天神会 新古賀病院
特定医療法人社団御上会 野洲病院
独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター
独立行政法人国立病院機構 南京都病院
独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
長浜市立湖北病院
日本赤十字社 長浜赤十字病院
三菱京都病院
守山市民病院

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会の活動に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございました。
会員相互の親睦活動に加え、外科に関する学術の研鑽、若手外科医の育成、及び地域の外科医療の発展になお一層尽力する活動を行っていく所存でございます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

一般社団法人 滋賀医科大学外科同門会 広告掲載ご協力

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 エチコン事業部

エドワーズライフサイエンス株式会社

センチュリーメディカル株式会社

持田製薬株式会社

中外製薬株式会社

エーザイ株式会社

小野薬品工業株式会社

アストラゼネカ株式会社

EA ファーマ

武田薬品工業株式会社

日本イーライリリー株式会社

ノバルティス ファーマ株式会社

アステラス製薬株式会社

大鵬薬品工業株式会社

一般社団法人 日本血液製剤機構

サノフィ(株)

田辺三菱製薬株式会社

MSD 株式会社

株式会社ツムラ

ファイザー株式会社

科研製薬

大日本住友製薬株式会社

帝人ファーマ株式会社

(申し込み順)

平成29年5月31日現在

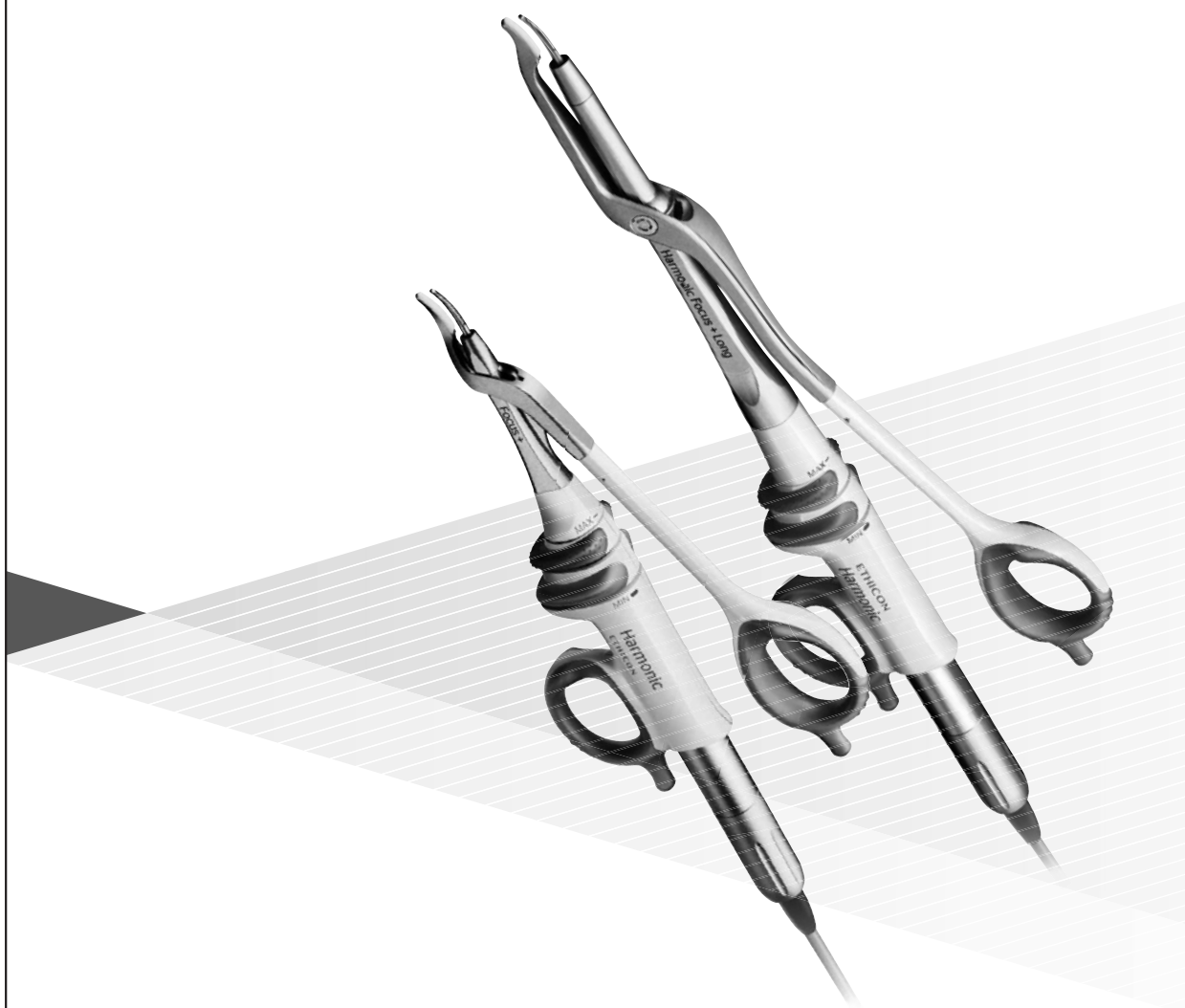
一般社団法人滋賀医科大学外科同門会同門会誌発行にあたり、多くの皆様からご協力をいただきました。
ここに深く御礼申し上げます。

一般社団法人滋賀医科大学外科同門会

HARMONIC FOCUS[®]+ HARMONIC FOCUS[®]+ LONG

Empowers Surgeons to Handle Multiple Jobs
with Superior Precision.

快適で多機能な操作性により、開創手術における
繊細な操作をサポートします。

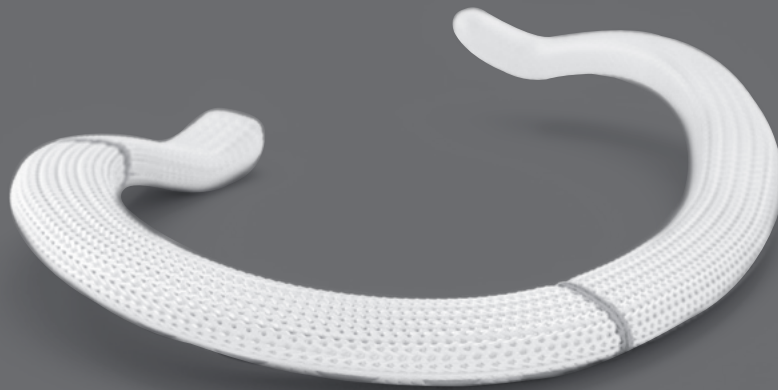


ETHICON
PART OF THE **Johnson & Johnson** FAMILY OF COMPANIES

製造販売元: ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 メディカルカンパニー 〒101-0065 東京都千代田区西神田3丁目5番2号
高度管理医療機器 販売名: ハーモニック FOCUS プラス 承認番号: 22700BZX00411000
高度管理医療機器 販売名: ハーモニック ブルーハンドピース 承認番号: 22100BZX00831000

071721-170425
©J&J KK 2017

Precise design
Built-in confidence



CARPENTIER - EDWARDS
PHYSIO TRICUSPID
ANNULOPLASTY RING

Invented by Alain F. Carpentier, MD, PhD

三尖弁のための PHYSIO Ring
Basic & Evolution

Professor Carpentier のリモデリング理論を三尖弁用リングの形状に踏襲し、デザインに近年の解剖学的構造を反映。さらに、独自の金属加工により Flexibility も併せ持つことに成功しました。カフの縫いやすさ、ホルダーデザインなど、カーペンターエドワーズフィジオリングIIの開発で培った使いやすさも継承しています。



販売名 : カーペンターエドワーズ
フィジオ三尖弁用リング
承認番号 : 22700BZX00261

製造販売元 エドワーズライフサイエンス株式会社
本社 : 東京都新宿区西新宿6丁目10番1号 Tel.03-6894-0500
edwards.com/jp
© 2015 Edwards Lifesciences Corporation. All rights reserved. EW2015091



Edwards



Formerly known as ATS mechanical heart valve

OPHV

Open Pivot Heart Valve AP360

リーフレットの稼動に頼らず血流の力で洗浄される、Open Pivotヒンジを採用。
従来のATS Advanced Performanceシリーズの大きな弁口面積を引き継ぐ、Medtronic社の新しい狭小用人工弁です。
機械弁に求められる性能を、どの角度（360度）から見ても高い次元（Advanced Performance）で
兼ね備える事から、“AP360”と名づけられました。

【本 社】〒141-8588 東京都品川区大崎1-11-2 TEL.03-3491-1551 【大 阪 支 店】TEL.06-6263-3760 【札幌営業所】TEL.011-241-3737 【仙台営業所】TEL.022-213-0040 【大宮営業所】TEL.048-783-2791
【名古屋営業所】TEL.052-220-3660 【広島営業所】TEL.082-542-1535 【福岡営業所】TEL.092-752-5653

〈販売名〉ATSハイリーフレット人工心臓弁 〈製造販売元〉センチュリーメディカル株式会社 〈外国製造元〉Medtronic, Inc. (米国) 〈医療機器承認番号〉20800BZY00332000

G-CSF 製剤 処方箋医薬品^(注)

フィルグラスチムBS注 75µg シリンジ「モチダ」
Filgrastim BS 75µg/150µg/300µg Syringe for Inj. MOCHIDA

薬価基準収載

フィルグラスチム (遺伝子組換え) [フィルグラスチム後続1]・注射液
 (注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細は
 添付文書をご参照ください。

MOCHIDA BIO SIMILAR
 持田の品質と信頼をより多くの人に

販売<資料請求先>
持田製薬株式会社
 東京都新宿区四谷1丁目7番地
 TEL 0120-189-522 (くすり相談窓口)

製造販売元
持田製薬販売株式会社
 東京都新宿区四谷1丁目7番地

2016年3月作成(N7)

人々に驚きと喜びをもたらす新しい価値は、
 想像を超えたところで、発見される。
 常識の枠にとらわれることのない発想と
 アプローチが、世界を変えてゆく。
 中外製薬は、
 世界トップクラスの研究開発力と創造性で、
 まだ有効な治療法がない領域で新薬を生み出し、
 待ち望んでいた多くの人々の新しい時間を
 生み出しつづける。

**新薬が生まれる。
 世界が変わってゆく。**

すべての革新は患者さんのために
 創造で、想像を超える。

CHUGAI 中外製薬

Roche ロシュグループ



Eisai

hvc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病气とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病气を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ


EISEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
www.eisai-pharm.co.jp

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。




選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤 薬価基準収載

イメント[®]

カプセル 125mg
カプセル 80mg
カプセルセット

アプレピタントカプセル EMEND[®]
処方箋医薬品^{※1} 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

© Registered Trademark of Merck Sharp & Dohme Corp., a subsidiary of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

■ 効能・効果、用法・用量、及び禁忌を含む使用上の注意等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤 薬価基準収載

プロイメント[®]

点滴静注用 150mg

注射用ホスアプレピタントメグルミン PROEMEND[®]
処方箋医薬品^{※1} 注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

© Registered Trademark of Merck Sharp & Dohme Corp., a subsidiary of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, N.J., U.S.A.

■ 効能・効果、用法・用量、及び禁忌を含む使用上の注意等、詳細は製品添付文書をご参照ください。

資料請求先
ONO 小野薬品工業株式会社
〒541-8564 大阪市中央区久太郎町1丁目8番2号 2014年10月作成



FASLODEX[®]
fulvestrant

抗エストロゲン剤 / 閉経後乳癌治療剤

薬価基準収載

フェソロデックス[®]筋注250mg

FASLODEX[®] Intramuscular Injection 250mg フルベストラント注射剤

劇薬 / 処方箋医薬品^(注)
注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。


製造販売元(資料請求先)

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号
メディカルインフォメーションセンター ☎0120-189-115

AstraZeneca
Oncology

2015年1月作成

 Eisai Group



成分栄養剤

エンタル[®]配合内用剤

ELENENTAL[®] ●薬価基準収載

★「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等、詳細は製品添付文書をご参照ください。



製造販売元

EAファーマ株式会社
東京都中央区入船二丁目1番1号

〔資料請求先〕

EAファーマ株式会社 ぐすり相談
☎0120-917-719

2016年4月作成
ED-D02A-B52-TP

Better Health, Brighter Future



タケダから、世界中の人々へ。より健やかで輝かしい明日を。

一人でも多くの人に、かけがえない人生をより健やかに過ごしてほしい。タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来、革新的な医薬品の創出を通じて社会とともに歩み続けてきました。

私たちは今、世界のさまざまな国や地域で、予防から治療・治癒にわたる多様な医療ニーズと向き合っています。その一つひとつに添えていくことが、私たちの新たな使命。よりよい医薬品を待ち望んでいる人々に、少しでも早くお届けする。それが、いつまでも変わらない私たちの信念。

世界中の英知を集めて、タケダはこれからも全力で、医療の未来を切り拓いていきます。

www.takeda.co.jp

武田薬品工業株式会社



CYRAMZA[®]

(ramucirumab)

抗悪性腫瘍剤 ヒト型抗VEGFR-2^注モノクローナル抗体
生物由来製品、創薬、処方箋医薬品*

サイラムザ[®] 点滴静注液 100mg
点滴静注液 500mg

CYRAMZA[®] Injection ラムシルマブ(遺伝子組換え)注射液

注) VEGFR-2: Vascular Endothelial Growth Factor Receptor-2(血管内皮増殖因子受容体2)

*注意-医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

RAM-A019(RO)
2015年5月作成

製造販売元(資料請求先)
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

Lilly Answers リリーアンサーズ
日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口
0120-360-605 (医療関係者向け)
受付時間: 月～金 8:45～17:30



 NOVARTIS

抗悪性腫瘍剤 (mTOR阻害剤)

アフィニートル[®] 錠2.5mg
錠5mg

AFINITOR tablets

エベロリムス錠

創薬 処方箋医薬品

薬価基準収載

注意 - 医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む
使用上の注意等については、製品添付文書
をご参照ください。

製造販売

(資料請求先)

ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

NOVARTIS DIAGNOSTICS
0120-003-293
受付時間：月～金 9:00～17:30
休日の受付は別途お申し込みください
www.novartis.co.jp

2016年12月作成

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。



明日は変えられる。

 **astellas**
アステラス製薬

www.astellas.com/jp/

Abraxane®

抗悪性腫瘍剤

薬価基準収載

特定生物由来製品、毒薬、処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

アブラキサン® 点滴静注用 100mg

Abraxane® I.V. Infusion 100mg

パクリタキセル注射剤（アルブミン懸濁型）

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告、禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元
資料請求先
(医薬品情報課)



大鵬薬品工業株式会社
〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
TEL:0120-20-4527 FAX:03-3293-2451
<http://www.taiho.co.jp/>

提携先 **Abraxis** 米国
BioScience

2015年2月作成

善意と医療のかけ橋

善意の献血による血液製剤を通じ、高い倫理観と使命感をもって人びとの健康に貢献します

血漿分画製剤（液状・静注用免疫グロブリン製剤）

献血ヴェノグロブリン®H5%静注

0.5g/10mL・1g/20mL・2.5g/50mL・5g/100mL・10g/200mL

(生物学的製剤基準 ポリエチレングリコール処理免疫グロブリン) **献血**

血漿分画製剤〔静注用免疫グロブリン製剤（液状）〕

献血ポリグロビン®N5%静注

0.5g/10mL
2.5g/50mL
5g/100mL

献血ポリグロビン®N10%静注

2.5g/25mL
5g/50mL
10g/100mL

生物学的製剤基準「pH4処理酸性人免疫グロブリン」 **献血**

血漿分画製剤（血液凝固防止剤）

ノイアート®静注用 500単位・1500単位

(生物学的製剤基準 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ) **献血**

血漿分画製剤

クロスエイトMC®静注用

250単位・500単位
1000単位・2000単位

生物学的製剤基準「乾燥濃縮人血液凝固第Ⅷ因子」 **献血**

血漿分画製剤

献血アルブミン5%静注 5g/100mL 12.5g/250mL **〔JB〕**

献血アルブミン25%静注 5g/20mL 12.5g/50mL **〔ベネシス〕**

(生物学的製剤基準 人血清アルブミン) **献血**

献血アルブミン20%静注 4g/20mL 10g/50mL **〔JB〕**

赤十字アルブミン25%静注 12.5g/50mL

薬価基準収載 特定生物由来製品 処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

※効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元

一般社団法人

JB 日本血液製剤機構

2016年12月作成

〔資料請求先〕 日本血液製剤機構 くすり相談室 〒105-6107 東京都港区浜松町2-4-1 医療関係者向け製品情報サイト <http://www.jbpo.or.jp/med/di/>



© Elle Bernager / Stone / Getty Image

サノフィは、グローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーとして
患者さんのニーズにフォーカスしています。

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー www.sanofi.co.jp



THE KAITEKI COMPANY
三菱ケミカルホールディングスグループ

目の前の
あなたのために。
世界の
みんなのために。

一人を愛する気持ちで、世界も愛したい。そして田辺三菱製薬は、国際創薬企業へ。



田辺三菱製薬

<http://www.mt-pharma.co.jp>



※外函のイメージはアジア・パシフィック地域で使用されている外函であり、日本で発売されるものとは異なります。

■「効能・効果」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。



製造販売元 (総代理店) MSD株式会社

2015年2月作成
CAN15ADO16-0220

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

カンディン系抗真菌剤 薬価基準収載

カンサイダス®

点滴静注用50mg,70mg
注射用カスポファンギン酢酸塩

劇薬 / 処方箋医薬品 (注意 - 医師等の処方箋により使用すること)

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



自然と健康を科学する
漢方の **ツムラ**

<http://www.tsumura.co.jp/>

●資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

Pfizer Oncology



抗悪性腫瘍剤 / キナーゼ阻害剤

創薬、処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

薬価基準収載

スーテント®カプセル 12.5mg
SUTENT® Capsule スニチニブリンゴ酸塩カプセル



「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」及び「副作用」の詳細は、添付文書をご参照ください。

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
資料請求先：製品情報センター

SUT72C003B

2015年11月作成



高度管理医療機器 保険適用

sepra/film®
ADHESION BARRIER

癒着防止吸収性バリア
セプラ/フィルム®

ヒアルロン酸ナトリウム/カルボキシメチルセルロース癒着防止吸収性バリア

- 禁忌・禁止を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) **サノフィ株式会社**
〒163-1488 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 SAJP.SEP.16.03.0570

発売元
〔資料請求先〕 **科研製薬株式会社**

〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8
医薬品情報サービス室

SPF03CP
(2016年4月作成)



 大日本住友製薬

ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤 ————— 薬価基準収載
毒薬・処方箋医薬品 (注意—医師等の処方箋により使用すること)

アムビゾム[®] 点滴静注用50mg
注射用アムホテリシンBリボソーム製剤 (略号:L-AMB) *AmBisome[®]*

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等
については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 (資料請求先)
大日本住友製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉
くすり情報センター
TEL 0120-034-389
受付時間 / 月～金 9:00～18:30 (祝・祭日を除く)
【医療情報サイト】 <https://ds-pharma.jp/>

提携
 **GILEAD**

2015.9作成

持続性ソマトスタチンアナログ徐放性製剤 薬価基準収載

ソマチュリン[®] 皮下注 **60mg 90mg 120mg**

Somatuline[®] 60mg・90mg・120mg for s.c. Injection

ランレオチド酢酸塩徐放性製剤 劇薬 処方箋医薬品[※]

* 注意—医師等の処方箋により使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書
をご参照ください。

商標
ソマチュリン[®]/Somatuline[®] is the registered trademark of Ipsen Pharma, Paris, France.

製造販売元 (輸入元)
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
資料請求先: メディカル情報部 ☎ 0120-189-315
SML002-CD-1602-3
2016年2月作成

滋賀医科大学外科同門会 2017年度

発行日 2017年7月

連絡先 滋賀医科大学 外科学講座内
外科同門会事務局
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
電話:077-548-2238 / 077-548-2244
